

特集

せっけん使おう！7月はシャボン玉月間
行政からのメッセージ2025



●ポスターは全国の応募者から選ばれた、グリーンコープ生協ひょうご組合員の
淡路谷博美さんの作品が選ばれました。
※キャッチコピーは、生活クラブ生活協同組合東京組合員から「提案いただいたものを採用させていただきました」。

せっけん運動ネットワーク（旧協石連）は、
せっけん使用を入り口に、水環境を守る視点
から幅広く暮らしを見直そうと活動する漁
協、農協、生協など全国 50 団体の協同組合
によって構成される組織です。



発行:せっけん運動ネットワーク
代表幹事:加瀬和美

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 3-13-13 3F
生活クラブ生活協同組合・東京
TEL: 070-1437-5553
URL: <https://sekkennet.org/>

北海道

厚岸町	5
石狩市	5
岩見沢市	5
恵庭市	5
江別市	6
小樽市	6
北広島市	6
釧路市	6
札幌市	7
当別町	7
南幌町	7

宮城県

宮城県	8
石巻市	8
岩沼市	8
大崎市	8
大郷町	9
大衡村	9
加美町	9
栗原市	9
塩竈市	10
七ヶ浜町	10
仙台市	10
大和町	10
多賀城市	11
富谷市	11
登米市	11
名取市	11
東松島市	12
松島町	12
美里町	12
山元町	12
利府町	13
涌谷町	13
亘理町	13

栃木県

栃木県	14
足利市	14
大田原市	14
小山市	14
鹿沼市	15
上三川町	15
佐野市	15
塩谷町	15
下野市	16
高根沢町	16
那珂川町	16
那須塩原市	16

日光市	17
益子町	17
壬生町	17
真岡町	17
茂木町	18
矢板市	18

茨城県

茨城町	18
笠間市	18
東海村	19
利根町	19
取手市	19
那珂市	19
ひたちなか市	20
水戸市	20
守谷市	20
龍ヶ崎市	20

埼玉県

埼玉県	21
朝霞市	21
入間市	21
小鹿野町	21
小川町	22
桶川市	22
越生町	22
春日部市	22
加須市	23
川口市	23
川越市	23
北本市	23
行田市	24
久喜市	24
熊谷市	24
鴻巣市	24
越谷市	25
さいたま市	25
坂戸市	25
幸手市	25
狭山市	26
志木市	26
杉戸町	26
草加市	26
秩父市	27
鶴ヶ島市	27
ときがわ町	27
所沢市	27
長瀬町	28
滑川町	28
新座市	28
鳩山市	28

羽生市	29
飯能市	29
東秩父市	29
東松山市	29
日高市	30
深谷市	30
富士見市	30
ふじみ野市	30
松伏町	31
三郷市	31
皆野町	31
宮代町	31
三芳町	32
毛呂山町	32
八潮市	32
横瀬町	32
吉川市	33
吉見町	33
寄居町	33
嵐山町	33
和光市	34
蕨市	34

千葉県

千葉県	34
市川市	34
市原市	35
印西市	35
浦安市	35
御宿町	35
柏市	36
勝浦市	36
鎌ヶ谷市	36
栄町	36
佐倉市	37
山武市	37
白井市	37
匝瑳市	37
袖ヶ浦市	38
千葉市	38
成田市	38
船橋市	38
松戸市	39
八街市	39
八千代市	39
四街道市	39

東京都

昭島市	40
あきる野市	40
足立区	40
荒川区	40

板橋区	41
稲城市	41
江戸川区	41
青梅市	42
大田区	42
葛飾区	42
北区	42
清瀬市	43
国立市	43
江東区	43
小金井市	43
国分寺市	44
小平市	44
狛江市	44
品川区	44
渋谷区	45
新宿区	45
杉並区	45
墨田区	45
世田谷区	46
台東区	46
立川市	46
多摩市	46
中央区	47
調布市	47
千代田区	47
豊島区	47
中野区	48
西東京市	48
練馬区	48
八王子市	48
羽村市	49
東久留米市	49
東村山市	49
東大和市	49
日野市	50
日の出町	50
檜原村	50
府中市	51
福生市	51
文京区	51
町田市	51
三鷹市	52
瑞穂町	52
港区	52
武蔵野市	52
武蔵村山市	53
目黒区	53

神奈川県

厚木市	53
綾瀬市	53

伊勢原市	54
海老名市	54
大磯町	54
小田原市	54
開成町	55
相模原市	55
座間市	55
寒川町	56
茅ヶ崎市	56
中井町	56
二宮町	56
葉山町	57
平塚市	57
藤沢市	57
松田町	57
南足柄市	58
山北町	58
大和市	58

山梨県

甲斐市	59
甲府市	59
昭和町	59
中央市	59
道志村	60
西桂町	60
韭崎町	60
笛吹市	60
富士川町	61
富士河口湖町	61
富士吉田市	61
北杜市	61
南アルプス市	62

愛知県

尾張旭市	62
瀬戸市	62
東郷町	63
豊明市	63
豊田市	63
長久手市	63
日進市	64
みよし市	64

滋賀県

滋賀県	64
近江八幡市	64
大津市	65
草津市	65
東近江市	65
日野町	65
守山市	66

野洲市	66
栗東市	66
竜王町	66

大阪府

和泉市	67
泉大津市	67
泉佐野市	67
茨木市	67
大阪狭山市	68
貝塚市	68
柏原市	68
交野市	68
門真市	69
河南町	69
河内長野市	69
岸和田市	69
熊取町	70
四條畷市	70
島本町	70
吹田市	70
摂津市	71
泉南市	71
太子町	71
大東市	71
高石市	72
田尻町	72
忠岡町	72
千早赤阪村	72
豊能町	73
富田林市	73
寝屋川市	73
羽曳野市	73
東大阪市	74
藤井寺市	74
枚方市	74
松原市	74
岬町	75
守口市	75
八尾市	75

奈良県

橿原市	76
葛城市	76
天理市	76
奈良市	76

兵庫県

兵庫県	77
明石市	77
芦屋市	77
尼崎市	77

伊丹市	78
猪名川町	78
加古川市	78
川西市	78
神戸市	79
三田市	79
高砂市	79
宝塚市	79
西宮市	80
三木市	80

岡山県

赤磐市	80
浅口市	80
岡山市	81
鏡野町	81
笠岡市	81
吉備中央町	81
里庄町	82
瀬戸内市	82
総社市	82
高梁市	82
津山市	83
早島町	83
備前市	83
真庭市	83
美咲町	84
美作市	84
和気町	84

広島県

呉市	85
廿日市市	85
東広島市	85
広島市	85
府中町	86
三原市	86

山口県

岩国市	86
宇部市	86
上関町	87
下松市	87
山陽小野田市	87
下関市	87
周南市	88
周防大島町	88
田布施町	88
長門市	88
萩市	89
光市	89
平生町	89

防府市	89
美祢市	90
柳井市	90
山口市	90
和木町	90

福岡県

赤村	91
朝倉市	91
芦屋町	91
飯塚市	91
糸島市	91
うきは市	92
宇美町	92
大川市	92
大木町	92
大任町	92
大野城市	93
大牟田市	93
岡垣町	93
小郡市	93
遠賀町	93
春日市	94
嘉麻市	94
川崎町	94
荏田町	94
北九州市	95
鞍手町	95
久留米市	95
桂川町	95
上毛町	96
古賀市	96
新宮町	96
添田町	96
田川市	97
太宰府市	97
大刀洗町	97
筑後市	97
筑紫野市	97
築上町	98
東峰村	98
那珂川市	98
中間市	98
直方市	98
久山町	98
広川町	99
福岡市	99
福智町	99
福津市	99
豊前市	100
水巻町	100
みやこ町	100

みやま市	100
宮若市	100
宗像市	101
柳川市	101
八女市	101
行橋市	101
吉富町	102

佐賀県

有田町	102
伊万里市	102
上峰町	103
神埼市	103
佐賀市	103
鳥栖市	103
みやき町	104

長崎県

雲仙市	104
大村市	104
佐世保市	105
島原市	105
時津町	105
長崎市	105
長与町	106
南島原市	106

熊本県

阿蘇市	106
天草市	106
荒尾市	107
宇城市	107
宇土市	107
大津町	107
嘉島町	108
上天草市	108
菊池市	108
菊陽町	108
玉東町	109
熊本市	109
合志市	109
玉名市	109
長洲町	110
和水町	110
南関町	110
氷川町	110
益城町	111
南阿蘇村	111
南小国町	111
御船町	111
八代市	112
山鹿市	112
苓北町	112

大分県

大分県	113
宇佐市	113
臼杵市	113
大分市	113
杵築市	114
玖珠町	114
国東市	114
九重町	114
佐伯市	115
竹田市	115
津久見市	115
中津市	115
日出町	116
日田市	116
姫島村	116
豊後大野市	116
豊後高田市	117
別府市	117
由布市	117

宮崎県

国富町	118
小林市	118
高原町	118
日南市	118
延岡市	119
三股町	119
都城市	119
宮崎市	119

鹿児島県

鹿児島県	120
大崎町	120
鹿児島市	120
徳之島町	120
日置市	121
南さつま市	121

※首長名は 2025 年 7 月現在ですが、選挙の実施期間などにより一部入れ替わりがあります。ご了承ください。

シャボン玉月間の活動に取り組みました

せっけん運動ネットワーク代表幹事 加瀬和美

今年は 7 月のシャボン玉月間に寄せて、24 都道府県 460 自治体(昨年は 24 都道府県 452 自治体)の首長の皆様よりメッセージをいただきました。私たちの呼びかけに温かい励ましと共感のメッセージをお寄せくださった皆様に、心よりお礼を申し上げます。

2025 年のシャボン玉月間のテーマは、「考えよう！流した水のその先を～せっけんを使って地球を元気に～」。各地で生協の組合員が中心となり、合成洗剤ではなくせっけんを使おうと内外によびかけ活動しました。私たちが毎日の暮らしで流す排水が、巡り巡って自然環境や人の健康に大きな影響を与えます。海底や川底からは合成洗剤を起因とする有害化学物質が発見されています。流して終わりでないことを多くの人に知ってもらいたいと思います。

また、合成洗剤や柔軟剤、消臭除菌スプレーなどから発生する「香害」の問題も深刻で、化学物質過敏症を引き起こす要因となっています。香りを長続きさせるために使われているプラスチック素材は、環境汚染の一因ともなっています。私たちせっけん運動ネットワークは、いのちの源である水や空気などの環境を守るために、プラスチック汚染問題も視野に入れながらせっけん運動をすすめて参ります。

全国から寄せていただいた各自治体のメッセージには、ふるさとの水環境を大切にしている思いがあふれています。これを機に各地の行政を担う皆さんには、事業者や生活者との協同による取り組みを行っていただけることに期待いたします。せっけんを選択する人が増えることを願い、この冊子をお届けします。

北海道

「シャボン玉月間」に寄せて

厚岸町長 若狭 靖

厚岸町は、厚岸湾・湖など水辺を中心に発展してきた自然豊かな町です。

厚岸湖・別寒辺牛湿原はラムサール条約登録湿地であり、その周辺地域を含め、「厚岸霧多布昆布森国定公園」に指定されています。

本町では、自然環境を保全する活動として、別寒辺牛湿原、厚岸湖内及び海岸の清掃活動を実施しているとともに、名産品の牡蠣や牛乳、厚岸ウイスキーの生産にも不可欠な「きれいな水」の保全に係る取組として、「合成洗剤」から「せっけん」への切り替えを推奨する購入助成事業を行っています。

水環境保全のため、「せっけん運動」に取り組まれてきた貴会に敬意を表するとともに、運動のさらなるご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

石狩市長 加藤 龍幸

石狩市は、一級河川「石狩川」が日本海に注ぐ最下流域に位置し、清らかな水環境をはじめとするこの地の自然から多くの恩恵を受け発展してきました。

本市は、この豊かな自然環境を適切に保全し、将来の世代に継承することを目的に「石狩市環境基本計画」を策定し、大気環境や水環境の汚染がなく、誰もが安心・安全な環境の中で、健康で快適に暮らすことができるまちを目指しています。また、本市は令和2年12月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和4年4月には「脱炭素先行地域」に選定されるなど、積極的に地球環境保全に対する取り組みを進めています。

そのような中、せっけんの普及活動を通じて、水環境保全に長年取り組まれている貴会に改めて敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がることを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

岩見沢市長 松野 哲

岩見沢市は、広大な石狩平野に位置し、市内に利根別川や幾春別川などが流れる水と緑が共存した自然豊かな街です。その素晴らしい環境を守るために、「岩見沢における優れた環境と市民の生活を守り高める条例」が定められ、毎年、利根別川沿いのごみ拾いを行うクリーン・グリーン作戦や、サケの稚魚放流などの環境保全活動が、市民団体を中心に活発に行われています。

豊かな自然環境を保全し、次世代に継承するためには、私たち一人ひとりの環境に関する意識と行動の積み重ねが重要です。

貴会の「せっけん運動」が、水環境保全への意識の醸成に向け取り組まれてきたことに心から敬意を表するとともに、今後のますますのご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

恵庭市長 原田 裕

恵庭市は、恵庭岳とその裾野に広がる恵庭溪谷の有する緑の森林地帯に覆われ、漁川やラルマナイ川の清流などの良質な水源をはじめ、豊かな自然に囲まれた住み良いまちです。

本市では、第3次恵庭市環境基本計画に基づき、本市の恵み豊かな自然が次世代に受け継がれ、市民ひとり一人が将来に渡り自然豊かな環境の下で安心してくらすことができるよう、環境保全等の活動への取り組みを行っております。

こうした中で、貴会の環境にやさしい石けん使用を広める運動は、「水環境」を保全していくうえで大変意義深いものであり、長年にわたる貴会の運動に改めて敬意を表しますとともに、この運動の更なる発展を心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

江別市長 後藤 好人

江別市は石狩平野のほぼ中央に位置しており、市内に広がる「野幌森林公園」は、大都市近郊に残されている平地林としては世界的に珍しく、市民の憩いの場にもなっています。また、北海道遺産に選定されている「石狩川」に囲まれた、緑と水に恵まれた豊かな街です。

この豊かな環境という財産を将来の世代に引き継ぐため、令和6年度を初年度とする「江別市環境管理計画」を改めて策定し、市民・事業者・市が協働し、環境の保全及び創造に取り組んでいます。

長年にわたり、水環境の保全に尽力されている貴会の活動に敬意を表しますとともに、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

小樽市長 迫 俊哉

小樽市は、青い海と緑豊かな山々などの恵まれた自然と、歴史的建造物や文化が織りなすレトロな雰囲気が調和した詩情あふれる港まちです。

この豊かな自然と歴史や文化を後世に残していくためには、環境問題について真剣に向き合い、環境にやさしい生活を心がけることが必要であると考えます。

本市では「小樽市環境基本計画」を策定し、市民・事業者・市が一体となって、自然と共生し快適に暮らすことのできる良好な環境づくりに取り組んでいます。

こうした中で、長年にわたり環境保全活動に取り組まれている貴会に深く敬意を表しますとともに、「せっけん運動」により、環境問題に対する活動の輪が、今後ますます広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

北広島市長 上野 正三

北広島市は、石狩平野の南部に位置し、特別天然記念物「野幌原始林」をはじめとする緑豊かな自然に囲まれ、輪厚川等を中心とした親水空間は市民からも親しまれるなど、身近に触れ合える自然や心と和む景観が数多く残るまちです。

このような豊かな環境と都市機能が調和した住みよいまちを維持し、次世代に引き継いでいけるよう、環境への負荷が少ない社会の実現に向けた取り組みを進めているところです。

貴会が長年にわたり取り組まれている水環境保全の活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪が更に広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

釧路市長 鶴間 秀典

釧路市は、ラムサール条約に登録された多様な動植物が暮らす「釧路湿原」と、世界で唯一の大型球状マリモが生息する阿寒湖を有する「阿寒摩周」の二つの国立公園に抱かれた雄大な自然と豊かな水環境に恵まれたまちです。

この類まれなる豊かな自然環境を守りつつ 2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて、令和5年12月に脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を釧路町・釧路信用金庫と連携し一斉に宣言をしました。市民・事業者・行政が一体となり、環境保全活動に取り組んでまいります。

同じく環境保全に取り組む皆様の活動の輪が、益々広がりますことを心からご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

札幌市長 秋元 克広

札幌市は、支笏洞爺国立公園の緑豊かな山々が南西部に広がり、豊平川をはじめとした約 600 の川が流れる自然の宝庫です。この素晴らしい自然環境を守り、未来に引き継ぐために、平成 30 年 3 月に「第 2 次札幌市環境基本計画」を策定しました。このように本市では、市民・事業者・活動団体などが一丸となって環境保全に取り組み、環境問題の解決と持続可能な未来を目指しています。

貴会が長年にわたり水環境保全活動に取り組まれておりますことは、次世代に豊かな自然環境を継承するうえで大変意義のあるものであります。貴会の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

当別町長 後藤 正洋

当別町は、札幌市の都心部から約 15～25 km の距離に位置し、豊かな田園風景と緑輝く山々など、自然に恵まれたまちです。

また、治水、利水、河川環境の保全を目的として完成した当別ダムでは「当別ふくろう湖」が豊かな水を湛えており、その鏡のような水面に映える雄大な景色を一目見ようと多くの方々が訪れています。

こうした恵まれた水資源と緑を未来につないでいけるように、自然環境の保全に取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、みなさまの活動の輪が広がり、石けん運動がさらに発展されますことをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

南幌町長 大崎 貞二

南幌町は札幌市から東に 25 km 圏域に位置し、千歳川・夕張川・旧夕張川の 3 つの川に囲まれた緑豊かな田園文化の町です。

本町では「地球温暖化対策実行計画」に基づき、温室効果ガスの削減をはじめ、ゴミの減量化やリサイクルの推進、環境負担の少ないエコマーク製品を購入するなど省資源の取り組みに努めています。また、令和 5 年に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、2050 年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。

その中で貴会が取り組まれている「せっけん運動」は身近な環境保全活動として大変意義深い活動であり、長きに亘る取り組みに対し、心より敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がることをご期待申し上げます。



宮城県

シャボン玉月間によせて

宮城県知事 村井 嘉浩

宮城県では、自然の水循環がもたらす恵みが現在から将来にわたって持続的に享受されるよう、「みんなでつなぐ命の水～守り、育て、未来へ～」を基本理念として、水循環保全基本計画を策定し、「清らかな流れ、豊かな流れ、安全な流れ及び豊かな生態系」を重要な要素として取上げ、県民、事業者、民間団体等と協働・連携した取組を推進しているところです。

貴会の「せっけん運動」は、せっけんの使用を入口に、環境への負荷削減、水環境保全の意識を育むものであり、より良い自然の水循環の確保につながるものと認識しております。これまでの長きにわたる取組に敬意を表しますとともに、今後、運動の輪がますます広がることを祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

石巻市長 齋藤 正美

石巻市は、東北最大の河川である北上川の河口に位置しており、世界三大漁場の一つである金華山沖漁場を抱えるなど、豊富な水環境に恵まれた自然豊かなまちです。

この豊かな自然を次世代に継承していくため、「水と緑の大地 新たなふるさとに」を目指すべき環境像として、自然と調和したまちづくりを進めております。

また、本市では令和6年2月に2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し、市民・事業者・地域とともに環境保全活動に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取組に心より敬意を表するとともに、この活動の輪がますます広がりますことを心より御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

岩沼市長 佐藤 淳一

岩沼市は東に貞山運河、南に那須連山に源を発する阿武隈川が流れる水環境に恵まれた街です。また、JR東北本線・常磐線、国道4号・6号の合流点であり、東北の玄関口である仙台空港が所在するなど、交通の便に優れた住みやすさが特徴です。

本市では、かけがえのない豊かな自然を守り、安心して住み続けられるまちを次世代につないでいくため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、地球温暖化対策への取り組みとして太陽光発電システム等導入費用の一部を補助するほか、市民・事業者とともに行う一斉清掃事業「早朝クリーンいわぬま」等により環境保全に取り組んでいます。

貴会が長年にわたり取り組んでいる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、更なるご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

大崎市長 伊藤 康志

本市は、ラムサール条約湿地の蕪栗沼・周辺水田や化女沼をはじめとする豊富な自然環境に恵まれ、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が世界農業遺産に登録されております。

また、「SDGs 未来都市」として世界農業遺産と連動した、持続可能な地域づくりの実現に向けて取り組んでいるところです。

これら先人から受け継いだ良好な水環境を市民協働で保全し、人と自然が共生する地域として、大崎耕土の恵みを次世代へ継承していかなければなりません。

貴会が長年取り組まれている「せっけん運動」に、心から敬意を表しますとともに、この運動が消費者意識の変革と豊かな自然環境を未来へ継ぐ活動になりまうことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大郷町長 田中 学

大郷町は、宮城県のほぼ中央「宮城のへそ」に位置し、町土の7割を森林と農地が占め、町中央部には一級河川吉田川が流れる自然に恵まれた町です。

豊かな広がりを見せる水田地帯には、春の田植え後の緑色から、収穫期の秋には黄金色のじゅうたんが夕焼けに映える田園風景を望むことができ、町の宝でもある豊かな自然を、守り育て、次の世代へ繋げていかなければならないと感じております。

本町は今後も「田園と丘陵の織りなす町土を慈しみ、その恵みを町の魅力や活力につなげるまち」を目指し、まちづくりに取り組んでまいります。

貴会の「せっけん運動」を通じた長きに渡る水環境保全に対する取り組みに敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

大衡村長 小川 ひろみ

大衡村は、宮城県のほぼ中央に位置し、村内を流れる善川及び埋川沿いに広がる平坦部から構成されており、森林、原野、農地が広がっている自然豊かな村です。

この豊かな自然を守るためには、皆さん一人ひとりの取り組みはもちろん、地域、事業者等との連帯・協働した取り組みの推進が大切です。

本村では、廃食用油を回収し、軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料のリサイクルに取り組んでおり、今後も様々な環境保全に努め、より良い環境を次世代に引き継ぐための取り組みを続けていきたいと考えております。

今後も貴会のますますのご発展とご活躍を心よりお祈りいたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

加美町長 石山 敬貴

加美町は、宮城県の北西部に位置し、広大で緑豊かな森林と、国内でもめずらしいミズバショウが群生する湿原地や、国の天然記念物鉄魚が生息する魚取沼など、誇るべき自然の宝庫です。

こうした自然環境の中で、加美町薬用植物研究会では、薬用植物「ムラサキ」の本格的な栽培に取り組んでいます。

ムラサキの根には抗ウイルス作用がある「アセチルシコニン」が含まれていることに着目した東北医科薬科大学の佐々木教授が、紫根エキスの抽出方法を開発し、抽出した「シコネクセス」を企業と連携しながら製品開発に取り組み「紫根石鹸」が誕生しました。純粋無添加の石鹸に、お肌に優しいシコネクセスを配合し、すっきりとした洗いあがりに仕上げた石鹸は、皆様にご好評いただいておりますので、ぜひご利用いただければ幸いです。

皆様には、身近な生活排水対策の一つであるせっけん運動を通じて、より良い水環境の保全に取り組んでいただいていることに深く敬意を表しますとともに、取り組みの輪がなお一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」

栗原市長 佐藤 智

栗原市は、国定公園に指定された栗駒山や、ラムサール条約湿地の伊豆沼・内沼を有する、豊富な自然環境に恵まれた地域です。

今年、10町村の合併による市の誕生から20周年という節目の年を迎えました。この間に発生した平成20年岩手・宮城内陸地震をはじめとした自然災害での経験を未来へ伝えるため、栗駒山麓の地形・景観を教育、学術研究、観光、防災などに活用するジオパーク活動に取り組んでおり、平成27年には日本ジオパークとしての認定を受けました。

今年45年目を迎えた貴会の活動に心から敬意を表し、明日を担う子どもたちに豊かな自然環境を引き継げるよう、いっそうこの取り組みが広がりますことを、祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

塩竈市長 佐藤 光樹

塩竈市は、海に囲まれた豊かな自然を有しており、長い歴史と風光明媚な景観を誇るみなとまちです。

近年、地球温暖化をはじめとした様々な環境問題が生じておりますが、本市では、豊かな自然を守り、将来の世代に引き継いでいくために、令和7年3月に「第3次塩竈市環境基本計画」を策定しました。市民、事業者及び行政が連携して地域資源を生かした水辺の保全と創造を含めた環境保全に努め、持続可能な地域社会の実現に向け、引き続き各種施策に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年取り組まれている「せっけん運動」による水環境保全に向けた活動の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

七ヶ浜町長 寺澤 薫

七ヶ浜町は三方を海に囲まれ、町を代表する菖蒲田海水浴場は、明治21年に開設した歴史ある海水浴場で、シーズン中には多くの人で賑わいます。海沿いを歩くと温暖な気候と海風が気持ちよくリゾート気分を味わうことができる町です。

七ヶ浜町は、古くから海と密接に関わり生活が営まれてきた歴史があり、将来にわたり保護、保全し、次世代に引き継いでいかなければなりません。

そのためにも、町民の皆様、関係団体の皆様とともに、環境保全に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、貴会の長きにわたる水環境保全活動に対し深く敬意を表しますとともに、石けん運動の輪が更に広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

仙台市長 郡 和子

仙台市は「杜の都」として、豊かな自然と調和した都市づくりを推進しており、森林や河川の保全、生物多様性の保全、再生可能エネルギーの導入など、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

令和7年度は令和3年3月に策定した「杜の都環境プラン(仙台市基本計画)」の中間評価の時期となります。評価結果を踏まえ、今後の事業に反映させていくとともに自然環境保全、脱炭素政策等を市民・事業者・行政が一体となり、緑豊かな自然環境づくりを推進いたします。

結びに貴会のこれまでの水環境保全活動に敬意を表しますとともに、さらなるご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

大和町長 浅野 俊彦

大和町は宮城県のほぼ中央に位置し、町のシンボル七ツ森や船形山、吉田川に代表される自然豊かなまちです。

良好な自然環境を次世代へ引き継いでいくためには、地域の自然や暮らしを守るだけでなく、将来世代へきれいな水環境の保全が重要です。本町では、町内の河川や湖沼の水質保全を目的に、地域住民の協力を得て定期的に清掃活動や水質モニタリングを実施しています。また、ごみ減量や太陽光由来の電力の利用拡大を通じて、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速し、環境保全に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表し、今後ますます運動の輪が広がることを御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

多賀城市長 深谷 晃祐

本市は、奈良時代初期に陸奥の国府が置かれ、昨年、多賀城創建1300年を迎えた、歴史あるまちです。

市内北部には国宝「多賀城碑」がある特別史跡多賀城跡から続く加瀬沼公園、中心部には砂押川が流れ、自然豊かな環境と、本市ならではの歴史的風致を形成しています。

この自然豊かな環境を守り、持続可能で安心して暮らせるまちを将来の世代にわたって引き継いでいくため、本市では第三次多賀城市環境基本計画を中心とした地球温暖化対策、ごみの減量化等の環境施策を推進してまいります。

結びに、貴会の長きにわたる水環境保全の取組に敬意を表しますとともに、シャボン玉月間の活動を通じ、市民の環境問題への関心が一層高まることを心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

富谷市長 若生 裕俊

富谷市は、豊かな自然と調和しながら発展を続ける、子育て支援や教育の充実に力を入れているまちです。私たちはこの美しい環境を未来の世代へ引継ぐため、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会の実現を推進しています。

貴会が長年にわたり取り組まれている「シャボン玉月間」の運動は、生活に身近なところから環境への配慮を広げる素晴らしい活動です。自然に優しいせっけんの使用は、限りある水資源や生き物を守る行動の第一歩です。

これまでの貴会の水質保全の取り組みに心から敬意を表するとともに、活動の輪がさらに広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

登米市長 熊谷 康信

登米市は、市内を南北に流れる北上川や迫川をはじめ、ラムサール条約湿地に登録されている伊豆沼・内沼など、「水の里」として豊かな水辺環境は本市の魅力の一つであります。

本市は、これらのかげがえのない自然を次の世代に残すため、令和4年2月に「ゼロカーボンシティ」を表明し、2050年までに市内の二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す取り組みを進めております。今後も市民や事業者の皆様と一体となり、様々な環境保全活動に取り組み、自然と共存した持続可能なまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の「せっけん運動」をはじめとする活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますようご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

名取市長 山田 司郎

名取市は、名取川・阿武隈川の両水系に囲まれ、肥沃な名取耕土が広がる自然豊かな地域です。

地域の自然環境を保全する観点から、公共用水域の水質調査の実施や水環境への意識啓発等の取組みを関係機関と連携して推進しているところです。

また、水辺活動として、「ホタル観察会」、「水生生物観察会」を毎年実施し、市民が自然界の「水」とふれあえる機会を増やす活動も行っております。

今後も美しい河川を含む水環境の保全に努め、「愛されるふるさと なとり」を未来の世代へ引き継ぐため、力を尽くしてまいりたいと思っております。今後の貴会の活動がますます発展されますよう心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

東松島市長 渥美 巖

東松島市は宮城県東部、太平洋に面しており、一級河川の鳴湖川・吉田川、二級河川の定川が流れ、日本三景松島の一角を占める「奥松島」を有する、豊かな自然に恵まれたまちです。

本市は、平成30年6月に全国29自治体の一つとして「SDGs 未来都市」に、令和4年6月には環境省から「第1回脱炭素先行地域」に選定され、どちらも宮城県初であります。

2050年カーボンニュートラル実現に向け、被災元地への太陽光パネル設置の推進や、海洋環境保全に取り組む団体への側面支援、市内小学生に対する環境教育等により、市民・団体等と連携した取り組みを進めております。

貴会の長年にわたる水環境保全の活動に、深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

松島町長 櫻井 公一

松島町は、日本三景の一つとして世界に名高く、雄大な自然美や、豊富な農水産物、国の特別名勝にも指定されている文化遺産、多数の観光スポット等、多くの魅力で溢れた町です。

本町では、松島町長期総合計画において循環型のまちづくりを推進し、自然造形美の保全・継承活動に取り組んでおります。

また、町民、事業者、町が一体となって温暖化対策に取り組むため、「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定を進めているとともに、ゼロカーボンシティの実現に向け、ごみの減量化等に取り組んでおります。

貴会の長年にわたる水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

美里町長 相澤 清一

美里町は、宮城県の北部に位置し、奥羽山脈を水源とする江合川と鳴瀬川の二つの河川が流れ、肥沃な大崎平野が広がる地域に位置しています。この豊かな自然と清らかな水に恵まれた環境を次世代へと引き継ぐため、美里町では、ごみの減量や分別、地域ぐるみの清掃活動、さらには再生可能エネルギーの導入促進など、環境保全に日々取り組んでいます。シャボン玉月間のキャッチコピーにあります「あなたの選択で未来が変わる」という言葉のとおり、町民一人の小さな行動が、美しい地球を守る大きな力になると信じています。今後とも町民の皆様とともに、心豊かな地域づくりに努めてまいります。

貴会の長年にわたる環境活動に敬意を表するとともに、活動の輪が広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

山元町長 橋元 伸一

山元町は、宮城県の最東南端に位置し、東は太平洋に面し、西は阿武隈高地の北端をなす丘陵地が南北に連なる自然豊かなまちであり、県の「緑地環境保全地域」「自然環境保全地域」に指定されています。

本町では、令和元年に「第6次山元町総合計画」を策定し、現在、本計画に基づき、本町の貴重な宝である自然環境を次代へ継承するため、環境不可の少ない、自然環境を活用したまちづくりを進めています。

貴会のせっけん運動は、自然を守る取り組みとして大変意義のあるものであり、深く敬意を表するとともに、今後、ますます運動の輪が広がりますよう、心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

利府町長 熊谷 大

利府町は、宮城県のほぼ中央部に位置しており、特別名勝松島、宮城県民の森などの豊かな自然に恵まれています。また、宮城総合運動公園や大型商業施設の立地など、都市と自然が調和・共生している町です。

本町は、令和4年に利府町ゼロカーボンシティを表明し、町民・事業者・行政が協力しながら、環境保全事業に取り組んでおります。今後も、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用を促進しながら、環境負荷の少ないまちづくりを目指してまいります。

貴会の長きにわたる活動に対し、深く敬意を表しますとともに、今後、活動がより一層充実したものになりますよう、心から御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

涌谷町長 遠藤 釈雄

涌谷町は、宮城県北部・大崎平野の東に位置し、南を江合川、北を迫川、東を北上川に囲まれ、中央部には簗岳山と加護坊山を結ぶ丘陵が連なる水利に富んだ地形で、宮城県の「自然環境保全地域」、「緑地環境保全地域」に指定されるなど、豊かな自然環境が残されている町です。

当町ではこの美しい自然環境を保全し、次世代へと受け継いでいくため、公共下水道の整備や合併浄化槽の設置に対する補助事業を実施し、環境保全に関する取組を推進しています。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

亘理町長 山田 周伸

亘理町は、阿武隈川や太平洋の豊かな水資源の恩恵を享受しながら、東北一の生産量を誇る「いちご」を中心とした農業と漁業を基幹産業として発展してまいりました。

本年2月1日に町制施行70周年を迎え、豊かな自然環境と温かい地域の絆を大切にしつつ、先人たちが築き上げた歴史や文化、産業を受け継ぎ、今後も誇り高い故郷であり続けるため、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、水環境を守る「せっけん運動」の輪が更に広がりますよう心からご期待申し上げます。



栃木県

「シャボン玉月間」に寄せて

栃木県知事 福田 富一

栃木県は、雄大な山々を望み、その山並みから清らかに流れる河川と、豊かな里山や田園が四季折々に色彩を変え、人々を魅了しております。

本県では、この美しい自然環境及び水環境のさらなる保全に向け、将来像に「守り・育て・活かす、環境立県とちぎ」を掲げ、栃木県環境基本計画に基づき様々な施策に取り組んでおります。

具体的には、河川や地下水の常時監視、生活排水処理施設の整備等による汚濁負荷対策の推進などを行っており、本県の清らかな水環境を子どもたちの世代へ伝えていけるよう引き続き努めて参ります。

貴会の長きにわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、皆様の活動のより一層の御発展を心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

足利市長 早川 尚秀

足利市は、栃木県の南西部、群馬県との県境に位置し、まちを東西にわたって流れる渡良瀬川の清流とその支流である多くの河川が流れる自然に恵まれたまちです。

本市では、2024年に表明しました「足利市ゼロカーボンシティ宣言」を軸として、脱炭素社会の実現を目指し、持続可能な循環型社会の形成を促進していくため、「豊かな自然と人と歴史が調和する 環境にやさしいまち足利」を目指すべく、市民、事業者、行政が一体となって取り組んでいます。今後も、貴会の活動の輪がさらに広がり、将来にわたって守るべき水環境の保全意識の高揚につながることをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大田原市長 相馬 憲一

大田原市は、那須五峰から広がる那須野が原の扇状地に位置し、水と緑に囲まれた自然環境に恵まれた地域です。また、工業団地を複数有するなど産業も盛んであり、自然環境の保護と産業の振興を両立させたまちづくりを実施しております。

本市の環境政策としては、大田原市総合計画「おおたわら国造りプラン」において、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取組みを、SDGsの理念に沿って進めることとしており、これからも皆さまができるだけSDGsに取り組んでいけるような情報提供や様々な支援を行っていきたいと考えています。

貴会の環境保全活動に敬意を表すとともに、今後より一層活動の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

小山市長 浅野 正富

小山市は、都市環境と田園環境が調和した「田園環境都市」であり、これをより良い形で未来に引き継ぐため、30年後のあるべき市の姿を描く「田園環境都市おやまビジョン」を令和7年3月に策定し、自然の恵み（生態系サービス）を基盤として、より良い暮らし（ウェルビーイング）の実現を目指してまいります。

中でも「水」は、社会生活の根幹をなすものであることから、小山市では、令和8年5月に全国川サミットを開催し、市民や事業者の皆様が、河川や水環境保全への理解を更に深める機会となるよう取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表するとともに、活動の輪が益々広がりますことをご祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

鹿沼市長 松井 正一

清流のまち鹿沼市は、関東一の清流ともいわれる「大芦川」や黒川等の河川に恵まれているだけでなく、市のおよそ7割の面積が森林で、緑豊かな景観が自慢のまちであります。

清流が生み出す、本市の特産品のそばは、地域への結びつき、特性、品質、製法、伝統が高く評価され、農林水産省登録のG1（地理的表示）産品に認定をされています。

本市が古くから育んできた食文化や美しい景観を守り、未来に継承するためにも、市民の皆様や事業者の方と協力しながら環境保全施策の推進を目指してまいります。

貴会の長きにわたる環境保全へのご尽力に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の素晴らしい活動のさらなる広がりを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

上三川町長 星野 光利

上三川町は東に鬼怒川、中央に江川、やや西より田川が流れ、広々とした田園地帯を形成しており、河川や地下水の恩恵を受けた土地であります。

本町は、今年2月に「上三川町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しております。

先人たちから引き継いできた水資源をはじめとした本町の地域資源を後の世代へ引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責務であり、関係機関と連携しながら、自然と共生する環境にやさしいまちづくりを推進してまいります。

貴会が水環境保全のために取り組まれている「せっけん運動」に深い敬意を表するとともに、今後ますますの発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

佐野市長 金子 裕

佐野市は、古く万葉集に詠われた秀麗な三嶋山や国指定史跡の唐沢山城跡、日本名水百選にも選ばれた出流原弁天池に代表される豊富な湧水など、緑豊かな森林と清流、数多くの文化遺産があります。

私たちは、美しい自然環境に恵まれ、歴史あるまちを、将来の世代に引き継いでいく責務があります。本市では、第2次佐野市環境基本計画（改訂版）を策定し、地域環境、地球環境の保全と創造を目指し、環境問題に対して積極的に取り組んでおります。

今後、市民や事業者の皆様と一体となって環境行政を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、貴会の活動の輪が、より一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

塩谷町長 見形 和久

塩谷町は、町のシンボルである高原山の中腹から湧き出る、全国名水百選「尚仁沢湧水群」をはじめ、町の南岸を流れる鬼怒川と東側を流れる荒川など、水の恵みにより栄えてきた自然豊かな町です。

当町では、令和5年11月の新庁舎開庁と共に「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。面積の約70%を占める豊かな森林をはじめ、自然環境や歴史・文化を次世代に継承していくため、町民、事業者一体となって各種施策に取り組んでまいります。

貴会が水環境保全のため長年にわたり取り組まれてこられた「せっけん運動」に深く敬意を表するとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月シャボン玉月間」に寄せて

下野市長 坂村 哲也

下野市は、自然災害が少ない土地であることを背景として古来より多くの人々が連綿と暮らしてきた歴史があり、東国を代表する史跡や遺跡、美しい田園環境が遺るまちです。

本市では、先人達から受け継いできたこの美しい風景を子々孫々にも遺していくため、「豊かな自然と共生し、安全・安心に暮らせる持続可能な環境のまち しもつけ」を目指すべき環境像として掲げ、市民の皆様や事業者の方々とともに環境保全に取り組んでいます。

貴会が長年取り組まれている「せっけん運動」は、水環境の保全に大変意義深いものであり、その活動に深く敬意を表するものであります。今後とも、未来世代への事業継承に向け、益々のご活躍とご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

高根沢町長 神林 秀治

高根沢町は、鬼怒川、五行川、井沼川が流れ、豊かな水資源により広大な水田地帯とそれらを取り巻く平地林や里山に加え、そこに生息する多様な生き物など、豊かな自然環境に恵まれております。

本町では、2025年6月にデコ活宣言を行い「先人から受け継いだ郷土高根沢を、これから生まれてくる子々孫々のために守り、希望の持てる町をつくる」ことを目指し、町民の皆様や事業者の皆様と協力し、自然環境の保全や環境負荷の低減に向けて取り組んでいます。

貴会の推進する「せっけん運動」は、身近な水環境の保全活動として大変意義深い取り組みであり、長年にわたる活動に敬意を表するとともに、今後ますますの環境保全活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月シャボン玉月間」に寄せて

那珂川町長 福島 泰夫

那珂川町を南流する那珂川や緑豊かな森林は、地域が誇りとする大切な資源であり、緑・清流・田園が織りなす景観は「日本の原風景」ともいうべき魅力ある風景です。

このような自然環境や生活環境の保全対策、さらに、地域循環型社会構築を目指し、環境に配慮した施策を推進するため、当町では、2019年3月に策定した「第2次那珂川町環境基本計画」に基づき、自然環境の有する機能、意義を再認識しながら、人と自然が共生できる環境づくりに向け、各事業に取り組んでいます。

貴会が進める水環境保全のための「せっけん運動」に対しまして、敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が一層広がりますよう、ご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月シャボン玉月間」に寄せて

那須塩原市長 渡辺 美知太郎

那須塩原市は、令和5年9月に「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」を行い、ネイチャーポジティブ（生物多様性の回復）、カーボンニュートラル（脱炭素社会の実現）、サーキュラエコノミー（循環社会への移行）の3つを柱とした環境施策を推進し、これらの同時実現を目指しています。

持続可能な社会の実現のためには、市民、事業者及び行政が環境に対する意識の向上を図り、互いに連携・協働した取組を継続していくことが大切です。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による水環境を守る活動は大変意義深いものです。心より敬意を表しますとともに、今後、皆様の活動がより一層広がりますことを御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

日光市長 瀬高 哲雄

日光市は、全国で3番目に広い市域面積を有しており、この広大な市域には、ラムサール条約に登録されている奥日光の湿原や鬼怒川・渡良瀬川水系の源流域等があり、おいしい水などの自然資源に恵まれています。また令和4年7月には日光国立公園・奥日光地域がゼロカーボンパークとして登録されているところです。

当市では、この豊かな自然環境を守り育むため、第2次日光市環境基本計画を定め、目指す環境像を「多彩な環境交流を楽しみ、育む 持続可能な都市・日光」として掲げています。安心・安全な生活環境の確保や自然共生社会の構築を目指し、関係機関と連携して環境にやさしいまちづくりを推進してまいります。

貴会が水環境保全のため取り組まれてきた活動に深く敬意を表するとともに、今後もより一層活動の輪が広がりますよう心から祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

益子町長 広田 茂十郎

益子町は栃木県の南東部に位置し、町の東側には八溝山地が連なり、西側を流れる小貝川の流域には水田地帯が広がっています。豊かな水をたたえる初夏の水田は、鏡のように青空と緑が萌える周囲の山々を映し出しています。

町では、このようなかけがえのない環境を次世代に残していくため、本町の目標とする環境像「自然をいっつくしみ、やすらぎはぐくむ、陶の里」の形成を目指して、様々な取り組みを町民、事業者と一体になって推進しております。

長年にわたり、水環境の保全に尽力されている貴会の活動に敬意を表するとともに、この活動が美しい日本の国土を未来へつなぐ礎になることをご期待申し上げます。

せっけん使おう！7月はシャボン玉月間 2025 寄稿文

壬生町長 小菅 一弥

壬生町は、清流や美しい田園風景、緑豊かな里山が織りなす自然豊かなまちです。この豊かな自然環境を将来にわたって守り、町民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的として、2024（令和6）年3月に「壬生町環境基本条例」を制定し、「壬生町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。さらに、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための「壬生町環境基本計画」を策定し、「人と自然と産業が調和し未来（みらい）へ続く環境にやさしいまちみぶ」を目指すべき環境像としています。

結びに、長年にわたる貴会の活動に深い敬意を表し、活動の輪がさらに広がり、未来へ継続していくことを心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

真岡市長 中村 和彦

真岡市は、栃木県の南東部に位置し、市内を鬼怒川、五行川、小貝川などの河川が流れ、日本一の生産量を誇る「いちご」をはじめとする農作物の生産に適したまちです。

本市では、先人から受け継いだ豊かな自然環境を次の世代に引き継ぎ、持続可能なまちとしてさらなる発展を遂げられるよう、令和6年5月に「真岡市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。市民・事業者・行政の協働により水環境の保全をはじめとした様々な環境保全に関する活動に取り組んでまいります。

貴会が長年にわたり水環境保全のために取り組まれている「せっけん運動」に深い敬意を表するとともに、今後貴会の活動の輪がより一層広がりますことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

茂木町長 古口 達也

茂木町は栃木県東南部に位置し、面積 172.69 m²の南北に細長い町であり、面積の約 65%が森林という自然豊かな町です。

平成 22 年 2 月に環境立町を宣言し、公共施設等の木造、木質化による地域産木材の活用、茂木町有機物リサイクルセンター美土里館を拠点とした間伐材や落ち葉、生ごみ、畜産排泄物を原料とした良質な堆肥を生産、販売する循環型社会づくりに取り組んでおり、令和 6 年 6 月にゼロカーボンシティ宣言を表明し、2050 年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。

また本町では「もてぎの川をきれいにする基金」を設け、必要な事業を実施し、河川の良い環境の形成と保全を推進しております。

貴会が推進する「せっけん運動」は住民が日常生活の中で取り組むことができる身近な水環境保全として大変意義深いものであり、その活動に深く敬意を表するとともに、この活動の輪が一層広がることをご祈念申し上げます。

茨城県

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

茨城町長 小林 宣夫

茨城町は、茨城県のほぼ中央に位置し、ラムサール条約登録湿地「潤沼」をはじめとする水と緑と温暖な気候が織りなす豊かな自然環境に恵まれた田園都市です。

本町では、この貴重な地域資源を将来にわたって継承していくため、令和 5 年 3 月に茨城町第 2 次環境基本計画を策定して、「自然を愛し 人も生きものも 安らげるまち いばらき」を環境将来像として掲げ、その実現に向けて、行政はもとより、町民や団体、事業者が相互に連携協力する協働の取組を実施しているところです。

貴会の「せっけん運動」による水環境の保全は、身近で大変意義ある取組であり、長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

『シャボン玉月間』に寄せて

矢板市長 森島 武芳

矢板市は、北部に八方ヶ原などを有する高原山麓が広がっております。市内には一級河川の内川など、この高原山麓から生まれ出た豊かな水が大地を潤し、良好な水辺環境からなる自然豊かな都市です。

「矢板市環境基本計画」の中には、市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、協力して環境の保全と創造を進めていくことを掲げており、具体的には市民有志の団体に対し、家庭や学校給食で生じた廃油を再利用して、石鹸を製作・販売する事業を支援しています。

貴会が、水環境保全のために長年にわたり取り組んでこられた「せっけん運動」に深く敬意を表すとともに、豊かな自然を守っていくため、今後益々活動の輪が広がりますことを御祈念いたします。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

笠間市長 山口 伸樹

笠間市は、北は八溝山系に属する鶏足山塊につつまれ、中央にはラムサール条約登録湿地「潤沼」に通ずる潤沼川が流れ、農地や平地林が広がる豊かな自然に恵まれた落ち着いたまちとして発展してきました。

この豊かな自然を後世に継承するとともに、快適で住みよい環境づくりを推進するために、人と自然が共生できるまち、やすらぎやゆとりの感じられるまちを目指し、市民や各種団体、事業者と協働で進めてまいりました環境保全施策に引き続き取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後この活動の輪がより一層広がりますことを心からお祈り申し上げます。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

東海村長 山田 修

東海村は、県都水戸市から北東およそ15kmに位置し、北には一級河川の久慈川が流れ、東は洋々たる太平洋に面した、豊かな水環境に恵まれたまちで、今年、村発足70周年を迎えました。

本村では、この豊かな自然環境を守り、後世に引継ぐため、「東海村環境基本計画」に基づき、「3Rの推進」をはじめとする、村民、事業者、行政の協働による環境保全の取組と水環境の意識向上に努めております。

貴会の推進する、「せっけん運動」は、身近な水環境の保全活動として大変意義深い取り組みであり、永年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後、益々の発展をご祈念申し上げます。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

利根町長 佐々木 喜章

利根町は茨城県最南端、都心から約40km圏内に位置し、その名のとおり「利根川」とともに生きてきた水辺の町です。町域はほとんどが平坦で、町の南側に利根川、中央に新利根川、北西部に小貝川が流れ、川沿いには桜並木が整備され、町民の散歩コースとなっております。

利根町では、自然豊かな環境を次世代に引き継いでいくため、環境に配慮した河川での清掃活動ほか、イベント等での意識啓発活動を行うなど、水環境の保全に対する取り組みを進めております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による、水環境の保全に対する取り組みに敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がりますことをご祈念申し上げます。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

取手市長 中村 修

取手市は、茨城県の南端に位置し、利根川とその支流である小貝川の二大河川が流れる水と緑に恵まれた地域です。

本市は、令和2年8月に茨城県内で初めてとなる「取手市気候非常事態宣言」を表明しました。宣言により、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」として、気候変動を防止するための「緩和策」と気候変動への「適応策」に取り組み環境への負荷が少ない持続可能なまちづくりを進めています。

貴会が長年にわたる「石けん運動」を通じた水環境保全への取り組みに敬意を表しますとともに、引き続きこの運動の輪がますます広がりますことをご祈念申し上げます。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

那珂市長 先崎 光

那珂市は、久慈・那珂両河川の恵みを受けた那珂台地にあり、自然豊かな県北の玄関口に位置しています。市内には、「日本さくら名所100選」に選ばれた静峰ふるさと公園があり、さらには古徳沼や一の関ため池親水公園に毎年多くの白鳥が飛来するなど、四季折々の風情が楽しめます。

本市の第3次那珂市環境基本計画では、「自然と共生できるまちづくりの推進」や「安全で快適な都市環境の保全及び創出」を環境目標に掲げ、動植物の適切な保護やその生息及び生育環境の保全、生活排水対策などに取り組んでいます。

長年にわたり「せっけん運動」に取り組まれてきた貴会に敬意を表しますとともに、運動のさらなるご発展を心よりご祈念申し上げます。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

ひたちなか市長 大谷 明

ひたちなか市は、茨城県の中央部からやや北東に位置しています。東は延長 14 kmの海岸線で太平洋に面し、那珂川をはじめとした河川が流れています。

また、多様な動植物が生息し貴重な環境が形成されている沢田湧水地、白亜紀層の地層が露出する地形で様々な生物が生息する平磯海岸、市中心部で水と緑に親しめる親水性中央公園がある自然豊かなまちです。

本市では、これらの自然を未来に残すため「ひとが咲くまち。ひたちなか」居住環境推進計画を作成し、まちづくりに取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後環境への意識・関心が深まり、活動の輪が広がりますことをご祈念申し上げます。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

水戸市長 高橋 靖

水戸市は、那珂川や桜川等の大小様々な河川が流れ、中心部には、多くの市民の憩いの場となっている千波湖を有するなど、地名のとおり水の豊かなまちです。

令和7年は、市内で国の特別天然記念物であるコウノトリが子育てをしており、餌になる水生生物が豊富に生息する、良好な環境が保たれている証拠と考えております。

この豊かな環境を将来世代に継承するため、様々な環境保全対策に取り組んでおり、水環境の保全としては、民官連携による生活排水対策や水質浄化対策を推進し、引き続き、河川・湖沼の保全に努めてまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

守谷市長 松丸 修久

守谷市は、利根川、鬼怒川、小貝川という3つの河川に囲まれ、緑豊かで水辺の自然に恵まれたまちです。7月中旬には、市内の一部地域で幻想的なホテルの光を楽しむことができ、自然の豊かさを肌で感じられます。

本市では、地球温暖化や土や水の汚染など様々な環境問題について、多くの方が環境に関心を持ち、行動を起こすきっかけづくりとなるよう、市内の小中学生を対象に「守りたい守谷の環境、創りたい未来」をテーマとした環境動画コンクールを開催し、環境保全の推進に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますようご祈念申し上げます。

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

龍ヶ崎市長 萩原 勇

龍ヶ崎市は、牛久沼や小貝川などの豊かな水辺環境に恵まれたまちです。これらの水域は周辺の水田を潤す重要な水源であるとともに、多様な生物が生息する貴重な地域資源となっています。

「かけがえのない自然を未来へ人や地球にやさしい環境のまち龍ヶ崎」を環境像に掲げ、市民・団体・事業者と協働しながら、水質浄化キャンペーンや清掃活動などを推進し、水環境の保全に努めております。

今後も龍ヶ崎市としても皆様とともに、この活動の輪を広げていきたいと考えております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境の保全に対するご尽力に深く敬意を表しますとともに、貴会のますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

埼玉県

「シャボン玉月間」に寄せて

埼玉県知事 大野 元裕

去る5月25日に、66年ぶりに本県で開催された第75回植樹祭のテーマは「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」でした。古来、川は上流と下流の地域をつなぎ、人々の暮らしを支える重要な役割を果たしてきました。

かけがえのない貴重な財産である川を、未来に継承していくため、本県では、県民・団体・企業が連携して河川環境の保全に取り組む「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト」を推進し、河川の清掃や環境学習、体験イベントなど河川空間を活用した多彩な活動を展開しています。

美しい自然を未来へ引き継ぐためには、県民一人一人の御理解と御協力が欠かせません。これからも共に頑張っていきましょう。

「シャボン玉月間」に寄せて

朝霞市長 松下 昌代

朝霞市は河川が多く流れる、自然豊かな環境の残るまちです。この特色を活かし、「自然・環境に恵まれたまち」を第5次朝霞市総合計画における将来像に掲げております。

本市の中央を流れる黒目川は、ジョギングや散歩道として多くの市民に親しまれているほか、春には桜の名所にもなっております。

今後も市民の皆さまと協力し合いながら、市の重要な魅力の要素となっている河川・湧水の環境保全に努めてまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、この活動の輪がひろがることを心から祈念いたします。

「シャボン玉月間」に寄せて

入間市長 杉島 理一郎

入間市は、加治丘陵と狭山丘陵が織りなす豊かな緑と、一級河川である入間川や霞川、不老川がもたらす清らかな水環境に恵まれ、歴史と自然が調和した「香り豊かな緑の文化都市」として発展を続けております。

本市では、この貴重な自然環境を保全し、次の世代へ継承するため、本年3月に「第三次環境基本計画」を改定し、「安心して健康に暮らせる生活環境の保全」を目標の一つに掲げ、水環境の保全に向けた各種施策を推進しております。その一環として、不老川流域の自治会を対象に排水対策の啓発を行う「不老川生活排水対策モデル地区事業」をはじめ、市民参加による河川の清掃活動、官民連携による家庭系廃食油の回収・リサイクル事業など、市民・団体・事業者が一体となって取り組んでいるところです。

そのような折、貴会の「せっけん運動」は、日々の暮らしの中で取り組むことのできる水環境を守る活動として、大変意義深いものであり、長年にわたるご尽力に深く敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

小鹿野町長 森 真太郎

小鹿野町は、埼玉県の西北部に位置し、日本百名山の「両神山」、日本の滝百選の「丸神の滝」、平成の名水百選の「毘沙門水」など、多くの百選に選ばれる自然豊かな山間の町です。両神山より流れ出る小森川にはホタルが飛び交い、幽玄な光を放っています。

令和7年5月25日に天皇陛下御参列のもと、第75回全国植樹祭が秩父ミューズパークで行われました。この植樹祭をきっかけに秩父地域から森林・みどりの大切さや森林資源の循環利用に対する理解の輪がより一層全国へと広がっていくことを期待しています。

貴会が推進する「せっけん運動」は、身近な環境保全活動として大変意義深いものがあります。貴会の活動の輪がさらに広がりますことを心からご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

小川町長 島田 康弘

小川町には、笠山・堂平山を源とする槻川をはじめ、市街地を貫流して槻川に注ぐ兜川、八和田地区を潤す市野川と、三つの清らかな河川が流れています。これらの豊かな水資源は、古くから紙漉きや酒造りなどの地場産業を支えてきました。町では令和3年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」、令和5年5月には「オーガニックビレッジ宣言」を行い、森林整備やSDGsの推進を通じて、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す取組を進めています。

貴会の継続的な活動が、より多くの方々に環境への意識を広げ、未来の世代へと豊かな水と自然を確かに引き継ぐ力となることを、心より願っております。今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

桶川市長 小野 克典

桶川市は、脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」として取り組んでいくことを宣言しております。

また、本市は、環境にやさしいまちづくりに向けて、再生可能エネルギーの普及促進、ゴミの減量化及び再資源化、緑の保全等に努めており昨年度は、環境保全のマスタープランである第2次環境基本計画や第2次緑のまちづくり基本計画を策定いたしました。この取り組みは、環境保全のために積極的に取り組まれている貴会の活動の一翼を担えるものと考えております。結びに「せっけん運動」をはじめとする、貴会の活動の輪が、今後ますます広がりますことを、心よりお祈りいたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

越生町長 新井 康之

越生町は、越辺川の清流と四季折々の花と山々に囲まれた緑豊かな自然に恵まれたまちです。

町では、令和4年12月、美しい山並みが連なった周辺の町村と手を取り合い、「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明しました。各町村がそれぞれの強みを活かして連携・協力し、美しい自然環境を未来世代へ引き継げるようさまざまな施策を検討し、取り組んでおります。

町の単独事業としては、令和6年度から「越生町生ごみ処理容器キエーロ普及促進事業」を実施し、ごみの減量化による環境保全に取り組んでおります。また、電気自動車を購入する方にその費用の一部を助成し、地球温暖化の防止及び大気汚染の改善を図るなど、今後もゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを加速してまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに心から敬意を表しますとともに、この活動の輪がますます広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

春日部市長 岩谷 一弘

春日部市は、江戸川、大落古利根川に代表される豊かな水辺環境をはじめとした自然や、広々とした田園の中に都市機能と拠点性を合わせ持ったまちです。

「自然と人が共生し 未来につなぐ環境を みんなで育てまもるまち・春日部」を環境像として掲げ、環境施策を推進しております。

令和5年7月には、地域脱炭素の取組を推進する「ゼロカーボンシティ推進本部」を設置し、2050年におけるカーボンニュートラルの実現を目指し、重点的に取組を進めています。

また、水環境保全に向けましては、公共下水道普及、合併処理浄化槽への転換の促進、事業場の排水規制や環境学習講座による啓発などに引き続き努めてまいります。

貴会の永年にわたるせっけん運動に深く敬意を表しますとともに、取組の輪がさらに広がりますよう、心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

加須市長 角田 守良

加須市は、利根川をはじめ、ラムサール条約登録湿地である渡良瀬遊水地、国土交通省水の郷百選に認定されている浮野の里など豊かな水辺環境を有しています。

これらの自然を次の世代に残すため、第2次加須市環境基本計画において、「豊かな自然と快適な環境のまちづくり」を目標とし、市民、事業者との協働により環境美化活動や自然環境学習を行っています。

令和5年3月には、「加須市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、省資源・省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用を一層推進して参りたいと考えております。

最後に、長年にわたる貴団体の活動に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

川口市長 奥ノ木 信夫

本市は、東京近郊でありながら、荒川・芝川などから構成される水辺空間や、安行台地・見沼田んぼをはじめとする貴重な緑地空間など、豊かな「水」と「緑」の資源を有しており、このような「水」と「緑」は、人にうるおいとやすらぎを与える景観やレクリエーションの場としての機能を有するだけでなく、多様な生物が生息・生育できる環境の保全や防災としての機能も備えています。

本市では、「みんなで、よりよい環境を未来につなぐ、都市と自然が調和した、元気なまち川口」の実現に向け、引き続き、自然環境の保全や整備を進めるとともに、生活排水対策など、人と環境にやさしい環境づくりに取り組んでまいります。

皆様の永年の活動に深く敬意を表しますとともに、これからも環境にやさしい「せっけん運動」の発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

川越市長 森田 初恵

川越市は、埼玉県の西部地域に位置し、首都圏30km圏内にある中核都市です。一方で入間川や新河岸川など多くの河川や武蔵野の面影を残す雑木林など豊かな自然にも恵まれ、また、古くから城下町として栄え、江戸と舟運で結ばれるなど、水と緑豊かな歴史都市でもあります。

当市では良好な環境を保全するため「川越市環境基本計画」を策定し、様々な施策によって健全な水循環を維持し、又は回復するための施策を推進することで、水環境等の保全を図っております。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、貴会が取り組まれている「せっけん運動」が、一人ひとりに広がり、より大きな輪となって、水環境の保全につながりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

北本市長 三宮 幸雄

北本市は、首都圏45km圏内、都心まで45分という好立地にありながら、緑のトラスト保全第8号地である高尾宮岡の景観地等の、緑豊かな住宅都市として発展してまいりました。

本市は、これらのかけがえのない環境を次の世代に残すため、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「北本市ゼロカーボンシティ宣言」を表明して、取り組みを進めております。また、合併処理浄化槽の普及啓発の施策を行うなど、水環境の保全に努めてまいります。

結びに、貴会の取り組まれている環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

行田市市長 行田 邦子

行田市は、北は利根川、南は荒川の二大河川が流れている水資源に恵まれた地域です。また、肥沃な平野部には美しい田園風景が広がるほか、歴史的な建造物や史跡が数多く残り、水と緑、そして歴史が織りなす美しい風景は、市民や訪れる人に安らぎを与えています。

本市では、こうした豊かな自然を守るため、令和7年3月に「第3次行田市環境基本計画」を策定し、生活排水対策をはじめ水辺空間の環境保全活動に取り組んでおります。

貴会が取り組まれている水環境の保全活動は大変意義深く、長年の活動に敬意を表しますとともに、今後この活動の輪が広がり、さらに発展していくことを心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

久喜市長 梅田 修一

久喜市は、利根川、中川、青毛堀川、元荒川等の河川や田園、屋敷林等の緑に囲まれた自然豊かなまちです。

令和5年3月に策定の「第2次久喜市環境基本計画」において掲げた望ましい環境像「水と緑と街が調和した豊かな環境を守り・育て、未来につなぐまち『久喜』」の実現を目指しております。

このような中、本市では家庭から排出される廃食油を粉石けんとして活用する「リサイクル促進事業」を実施し、環境保全の重要性を広く市民に啓発しているところです。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境保全への取組みに改めて敬意を表しますとともに、益々のご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

熊谷市長 小林 哲也

熊谷市は、荒川、利根川という二大河川を有し、豊かな水環境や自然環境に恵まれています。

清流・元荒川には、希少魚の「ムサシトミヨ」が生息し、本市の水辺環境のシンボルとなっているほか、南部地域の清流では毎年数多くのゲンジボタルが舞い、私達を楽しませてくれています。

本市では、豊かな水環境を後世に残すために保全活動や啓発活動を継続し環境保全に努めるとともに、地域と連携した脱炭素の取組みも推進しているところです。

貴会の「せっけんを使おう」という活動は、身近な水環境の保全に大変意義深いものと考えています。長年にわたる活動に心から敬意を表し、今後も活動の輪が大きく広がりますことをお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

鴻巣市長 並木 正年

鴻巣市は、都心への通勤圏に位置していながら、荒川をはじめとする河川に囲まれた田園や、武蔵野の面影を伝える雑木林など、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

本市では、市名の由来の一つであるコウノトリをシンボルとして多くの生きものが成育できる、人にも生きものにも優しい環境づくりに努めており、令和5年5月には「SDGs 未来都市」に選定されています。今後も、水辺や里山を生息環境とするコウノトリと共存する、安心、安全な地域づくりを目指してまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全の活動に深く敬意を表しますとともに、今後、ますます「せっけん運動」の取組の輪が広がりますことを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

越谷市長 福田 晃

越谷市では、本年1月に「水遊都市 KOSHIGYA」というブランドメッセージを策定いたしました。このメッセージには、5本の一級河川が流れ、水によってかたちづくられた自然を基盤に、美しいまちなみが広がる本市の魅力が込められています。今後も、この豊かな環境を次世代に引き継ぐため、越谷市環境管理計画に掲げた望ましい環境像である「みんなで創ろう 越谷の豊かな環境と未来」の実現に向け、すべての市民・事業者の皆様と行政が一体となって、環境のさらなる保全と創造に取り組んでまいります。

長年にわたり、水環境の保全にご尽力されている貴会の「せっけん運動」に敬意を表するとともに、今後益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「しゃぼん玉月間」に寄せて

さいたま市長 清水 勇人

さいたま市は、首都圏と東北、上信越地方を繋ぐ東日本の交流拠点都市として、また、見沼田んぼに象徴される豊かな自然や魅力ある地域の資源を生かした街づくりを進めてまいりました。

今般、生物多様性の保全の重要性に対する認識が急速に高まっておりますが、本市におきましても、市民団体・企業など多くの皆様とのご協力により生物多様性の保全や持続可能な利用に向けた様々な取組が着実に進められているところです。

生物多様性は、命の源となる水・豊かな水環境があってこそ成り立つものと考えます。貴会の長年にわたる「せっけん運動」による水環境保全への取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

坂戸市長 石川 清

坂戸市は、武蔵野の緑と清流高麗川が織りなす恵み豊かな自然の恩恵を受け、今日まで発展してまいりました。

本市におきましては、この豊かな自然を未来に引き継ぐため、市民の皆様とともに、環境への負荷を軽減する取り組みを積極的に進めています。平成14年に開館した環境学館いずみでは、環境に関する様々な講座を開催しております。その中でも市内小中学校の給食の廃食油を利用したリサイクル石けん作り講座は長きにわたりご好評をいただき、市民の皆様へ環境にやさしい石けんの普及を図っております。

貴会の長年にわたる『せっけん運動』への取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後ますます運動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

幸手市長 木村 純夫

幸手市は、埼玉県北東部に位置し、豊かな自然と宿場町としての歴史が残り、心が和む風景が広がるまちです。

かつて日本一美味しいと称され、江戸幕府に上納された「白目米」の発祥の地とされる「米どころ幸手」において、豊かな水資源が、市の魅力へ繋がっています。小学生は田植え体験をし、水や土に触れ、自然環境への理解と感謝を深め、生産者の中には、化学農薬、化学肥料を一切使用しない紙マルチ田植え機での有機米栽培を始めており、環境に配慮した持続可能な農業の実現に向け、市も支援をしているところです。

貴会の長きにわたる活動に敬意を表しますとともに、環境保全・改善への大きな推進力となりますことをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

狭山市長 小谷野 剛

狭山市は入間川をはじめとする豊かな自然環境との共生を図りつつ、県内有数の工業都市へと発展を遂げてきました。

その歴史の中で、市内を流れる不老川は、生活排水の影響から、「日本一汚い川」と呼ばれていましたが、市民と行政が一丸となり、排水対策に取り組んだ結果、今では多様な生物が回帰するまでに水質が改善されました。

今後は、この良好な水環境を保全しつつ、河川と市街地内の緑を繋ぎ、まち全体の水と緑のネットワーク形成を図ることで、「水や緑の魅力を感じ、気持ちよく暮らせるまちづくり」にも取り組んでまいります。結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

志木市長 香川 武文

志木市は、全国で6番目に小さい市ですが、3本の川と豊かな緑に囲まれ、市民の憩い場が随所に広がる、水と緑が調和しているまちです。

こうした自然を守るべく、本市ではゼロカーボン社会の実現に向け、省エネ行動の取組事例集を市ホームページに掲載するとともに、河川敷や通学路を清掃する「親と子の市内まるごとクリーン作戦」を毎年実施するなど、市民や事業者一体となり環境問題の関心を高める取組を積極的に実施しています。

引き続き、緑豊かな本市自慢の自然を守り、次の世代へ継承するべく、環境施策の推進を図ってまいりますので、貴会におかれましても「せっけん運動」をはじめとする環境問題への取組の輪が大きく広がりますよう御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

杉戸町長 窪田 裕之

杉戸町は、大落古利根川や中川などの河川や水路が流れ、これらの豊かな水によって形成された田園風景が広がるとともに、雑木林や屋敷林などの緑豊かな自然に囲まれています。

当町では第2次杉戸町環境基本計画において「水と緑豊かで安らぎを感じられるまち」を環境の将来像として定め、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の普及啓発等の施策を進めております。

こうした中、水環境を保全する貴会の取組は大変有意義であり、長年にわたる「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」の活動に敬意を表するとともに、この活動が一人でも多くの方の「水環境」に対する意識向上につながり、環境保全の輪がさらに広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

草加市長 山川 百合子

草加市は埼玉県東南端に位置しており、市内中心部を流れる綾瀬川沿いは、「おくのほそ道の風景地草加松原」として国の名勝に指定されています。

また、本市は2024年度SDGs未来都市に選定され持続可能なまちづくりを目指すとともに、市民団体の皆様との協働による綾瀬川流域クリーン大作戦など様々な環境施策に取り組んでおり、「人と自然が共に生きるまち そうか」を目指しております。

綾瀬川はかつて水質汚濁が著しかったものの、下水道の普及等により近年は水質改善が進み、多くの魚が戻ってまいりました。これも貴会が推進する水環境を保全し、安全で健康なくらしが営める環境づくりと軌を一にするものでございます。

貴会の皆様が長年取り組まれている水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後も皆様方の活動がさらに広がりますよう心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

秩父市長 清野 和彦

私たち秩父市が掲げる「荒川流域圏構想」は、荒川の最上流に位置する当市が、流域全体のリーダーとして、環境、経済、防災など多方面の課題解決と未来への発展を目指すまちづくりの考え方です。この構想は、環境保全と地域の活性化を両立させる重要な理念であり、その一環として「せっけん運動」が果たす役割は非常に大きいと考えております。

また、今年5月に秩父市で開催された第75回全国植樹祭に出席し、自然との調和や環境保全の大切さを改めて実感いたしました。緑豊かな山々や清らかな水資源を未来へ引き継ぐためには、市民一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です。皆様が推進される「せっけん運動」が、環境意識の向上や地域の美化活動に寄与し、次世代へつながる大切な取り組みとなることを心より願っております。

今後とも「荒川流域圏構想」の理念のもと、市民の皆様とともに自然豊かで住みよい秩父市を目指し、邁進してまいります。皆様の長年にわたる「せっけん運動」に心から敬意を表するとともに、貴会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

鶴ヶ島市長 齊藤 芳久

鶴ヶ島市は、緑豊かな自然に恵まれた武蔵野の地に先人の努力と英知によって築かれ発展してきました。鶴ヶ島市は、第3期鶴ヶ島市環境基本計画の目指す環境像として「緑と水と生きものと 持続可能な社会を目指すまち」を掲げ、環境団体等と協働で、緑や水辺、多様な生物を保全する活動を推進しています。

「石けん運動」は、生活排水による河川の汚れを軽減するとともに、身近な活動を行うことで、未来の鶴ヶ島に自然との調和を残すことに繋がります。

今後も身近な水環境を守り、将来の世代へ引き継げるよう取り組んで参ります。

貴会の活動がさらに地域へ広がり、実り多いものとなりますよう、皆様方のますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

ときがわ町長 渡邊 一美

ときがわ町は、都幾川をはじめとする清流と、町の約7割を占める森林に囲まれた自然豊かな町であり、「水と緑の豊かな環境を育てるまち」を将来像に掲げています。

当町では、「伐って、使って、植えて、育てる」といった循環型の森林整備を通じて、水源を育む森林機能を高めるとともに、地域の河川清掃などを通じて、住民と行政が一体となり、水環境の保全に取り組んでいます。

そのような中、貴会の「せっけん運動」は、石けんの使用を通じた生活に根ざした環境保全活動として、意義深いものと受け止めております。長年のご尽力に深く敬意を表するとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「今と未来の子どもたちのために」

所沢市長 小野塚 勝俊

所沢市は、都心から約30kmに位置し、みどり豊かな武蔵野台地の自然に恵まれております。なかでも狭山丘陵を源とする柳瀬川、東川などの自然環境は、市民の皆さまに潤いと安らぎを、動植物には貴重な生息の場をもたらしております。

環境にやさしい「せっけん」を使うことは、“今と未来の子どもたち”や川や海の生き物のための環境を守ることにつながるものと思います。

所沢市としましても“今と未来の子どもたち”をはじめとするすべての方々のために、豊かな自然を引き継ぎ、笑顔あふれる持続可能なまちづくりを進めてまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に、心から敬意を表しますとともに、“今と未来の子どもたち”のためにも、活動の輪がさらに広がり、実り多いものとなりますことを、心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

長瀬町長 大澤 タキ江

長瀬町の中央部には荒川が流れ、町全域が埼玉県立長瀬玉淀自然公園に指定されています。特に、荒川に隣接する「岩畳」は、国の名勝・天然記念物「長瀬」に指定され、平日・休日問わず多くの観光客で賑わっております。

当町は水に関わるレジャー産業も活発で、この豊かな環境を後世に引き継げるよう水環境対策として公共下水道の推進や合併浄化槽の普及啓発、廃食用油のリサイクル事業など、水質保全に取り組んでいるところです。

貴会が長年にわたり行っている「せっけん運動」は、身近な生活排水対策の一つとして、水環境の保全にとって大変意義のある活動です。今後も皆様の活動の輪が広がり、一人でも多くの方の環境への関心が高まることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

滑川町長 大塚 信一

滑川町は、埼玉県の中央部、首都 60km 圏内に位置し、町の中央を流れる滑川をはじめとする3つの一級河川と、国営武蔵丘陵森林公園や関東一といわれる約200か所の「ため池（沼）」が、谷津（やつ）という美しい景観を織りなす自然豊かな町です。

本町では、国の天然記念物ミヤコタナゴが棲める生息環境の回復に努めるとともに、2050年までに町内の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「滑川町ゼロカーボントウン宣言」を表明しました。今後も、町に残る豊かな自然環境を次世代に継承するため取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

新座市長 並木 傑

新座市は、首都近郊ながらも、武蔵野の面影を色濃く残す平林寺境内林などの雑木林が広がるとともに、柳瀬川、黒目川及び野火止用水が流れ、自然環境に恵まれたまちです。

本市では、これらの自然環境を将来にわたって引き継ぐため、『豊かな暮らしが自然と共生する持続可能なまち「にいざ」』を望ましい環境像に掲げるとともに、ゼロカーボンシティの宣言を行い、市民、事業者及び市が協働で温暖化対策を始めとする環境保全に向けた取組を進めています。

貴会の推進する「せっけん運動」は、身近な水環境保全活動として大変意義深い取組であり、長年の活動に敬意を表するとともに、今後の更なるご発展を心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

鳩山町長 小川 知也

鳩山町は、首都 50km 圏内に位置し、一級河川である越辺川やその支流である鳩川が流れ、里山の景観が残る田園と整然とした住宅団地、JAXAの地球観測施設、大学等の文教施設が調和する、自然と学びに包まれた美しい町です。

この豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、町では河川の水質検査や公共下水道、町管理型浄化槽、農業集落排水施設の整備など、水環境の保全に積極的に取り組んでおります。

環境を見つめ直す機会である「シャボン玉月間」が、町民の健康と自然環境の保全に貢献されることを心より期待申し上げますとともに、今後ますますのご発展とご活躍を祈念いたします。

「シャボン玉月間」に寄せて

羽生市長 河田 晃明

羽生市は、埼玉県の北端に位置し、利根川の豊かな水資源を利用した穀倉地帯で水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。この豊かな自然環境は、私たち羽生市民の誇りであり、将来世代に引き継いでいく責務があります。

本市は、今後も「水と緑を生かし、安心して暮らせる環境にやさしいまち」の実現に向け、市民や事業者との協働により、持続可能な社会を目指し、水質保全を図るとともに、市民の環境に対する意識の向上に努めてまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、この「せっけん運動」の活動の輪がますます広がりますことを心からお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

飯能市長 新井 重治

飯能市は、埼玉県南西部に位置し、都心から50km圏内という首都近郊にありながら、豊かな森林と美しい清流に恵まれており、「水と緑の交流拠点 森林文化都市 はんのう」を将来都市像としています。

入間川や高麗川、成木川等の一級河川の上流域に位置する自治体として、飯能市では、埼玉県唯一の合併処理浄化槽組合を設立し、浄化槽の適正な管理を推進しています。これからも美しい清流が生み出す景観を未来に残せるよう、清流保全に係る事業に取り組んでまいります。

貴会の「せっけん運動」が、多くの方が日々の生活で簡単に参加ができる素晴らしい活動として、さらに広がりますよう心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

東秩父市長 高野 貞宜

東秩父村は埼玉県西部に位置する県内で唯一の村で、中央を槻川が流れ面積の約8割が山林の緑豊かな村です。また清流を利用した手漉き和紙（細川紙）の産地として平成26年に「日本の手漉和紙技術」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。本村では平成15年度から浄化槽の市町村設置事業を開始し、槻川源流域の自治体として水質改善に努めてきました。また令和4年度には可燃ごみ処理を乾式メタン発酵処理化、近隣自治体と共同でゼロカーボンシティ宣言を行うなど、今後も自然環境を守る取り組みを行ってまいります。貴会の長年にわたる「せっけん運動」は水環境の保全活動として大変意義深い活動であり敬意を表すとともに、今後も「せっけん運動」の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東松山市長 森田 光一

東松山市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、恵まれた立地条件と交通体系を背景に、比企丘陵の緑と清流の織りなす美しい自然に囲まれた都市として発展を遂げてきました。

本市では、ホテルの里づくり事業をはじめとした市民と協働で取り組んでいる環境保全活動や、市内を流れる河川の水質調査等を通じた水辺空間の整備・保全に取り組むことで、環境にやさしいまちづくりを推進しております。

未来を担うこどもたちが、将来も住み続けたいと思えるまちにするべく、今後も各種施策に全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましては、美しい自然を次世代に引き継いでいくため、ますます活動の輪を広げられることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

日高市長 谷ヶ崎 照雄

日高市は、首都近郊に位置しながら、手軽に山登りが楽しめる日和田山や関東有数の水質を誇る高麗川など、豊かな自然を有しております。この豊かな自然と共生しながらまちづくりを進めてきました。

本市では、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、望ましい環境像に「豊かな自然を未来につなぐまち ひだか」を掲げ、人と自然のつながりを未来へつなげていくことを目指し、次世代に向けた施策を展開しているところであります。令和7年3月には、小中学生版日高市カーボンニュートラルに向けたロードマップを策定し、未来を担う子どもたちへ実践的な環境教育を実施しております。引き続き自然環境の保全と環境意識への醸成に努めてまいります。

結びに、貴会の長きにわたる活動に対し深く敬意を表するとともに、今後の活躍とご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

深谷市長 小島 進

深谷市は、北部に利根川、南部に荒川が流れており、四季折々の美しい風景が楽しめる、自然環境に恵まれたまちです。

本市は、令和3年に「ゼロカーボンシティふかや」を宣言し、令和5年には「渋沢栄一翁」の教えを踏まえたSDGsの実践に向けた取り組みが国に認められ、SDGs未来都市に選定されました。

また、昨年7月3日には、栄一翁が肖像の新一万円札が発行されました。栄一翁の顕彰と栄一翁の精神を生かしたまちづくりを進めてきた本市では、SDGs未来都市計画に掲げた「誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや」の実現に向け、深谷市らしいまちの魅力を高め、市民の皆さまとともに、活力と希望に満ちた持続可能なまちづくりを進めてまいります。

結びに、長年取り組みを継続されている貴会に心から敬意を表するとともに、益々の御発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

富士見市長 星野 光弘

富士見市は、都心から30km圏内武蔵野台地と荒川低地との境の斜面林に、潤い・安らぎ・癒しを与えてくれる多くの湧水が存在するほか、街中にも緑地が存在するなど、豊かな水や緑の自然環境に恵まれたまちです。

本市は、新たな望ましい環境像を「湧水(みず)の恵みと育む緑 未来へつなぐ環境保全のまち」と定め、貴重な自然や生活環境を後世に引き継いでいくため、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みや、ときがわ町との連携協定に基づく、地球温暖化対策の推進などに取り組んでおります。

水環境保全を推進する、貴会の長年にわたる活動に心から敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がさらに広がりますことを心よりご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

ふじみ野市長 高畑 博

ふじみ野市を流れる新河岸川の周辺では、湧水群や川沿いの斜面林など水と緑豊かな環境や水田が広がり自然の景観が継承されています。

当市では、市民の皆様にも、合成洗剤などの使用を控え、環境負荷の少ない石けんを呼びかけ、環境保全に関心を持っていただくよう努めております。

また、毎年、河川の水質を継続的に調査し、その結果をホームページで公開しているところでございます。当市の目指す環境像である、「みんなではぐくむ 緑豊かな住みよいまち ふじみ野」を礎に、環境にやさしいまちづくりの推進など、今後も各種施策を展開してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、貴会の更なるご発展を心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

松伏町長 高野 まさひろ

松伏町は、埼玉県東南部、都心から約30km圏に位置しています。江戸川、中川、大落古利根川の3本の河川に囲まれ、かつては江戸と東北を結ぶ水運の要衝として栄えた歴史ある町です。

本町では、令和3年4月に近隣5市と「ゼロカーボンシティ」共同宣言を行い、脱炭素社会の構築に取り組んでいます。

豊かな自然に恵まれた本町にとって、河川や水辺の環境は次世代に引き継ぐべき大切な財産です。今後も、「古利根川クリーン作戦」を始めとする河川清掃活動を町民との協働で実施し、環境保全意識の醸成を図るとともに、啓発の推進に努めてまいります。

貴会の長年にわたる環境活動への取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後のますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

三郷市長 木津 雅晟

三郷市は埼玉県の東南端に位置し、東に江戸川、西に中川が流れる水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。本市では、今年度も引き続き、家庭用省エネ家電の買い替えに係る補助を実施し、一般家庭における脱炭素への取り組みを後押ししております。

また、昨年は、全国初の試みとして、ペットボトルキャップの分別回収・リサイクル・再商品化の実証実験を行い、資源循環の意識醸成を図りました。

今後も、持続可能な社会の実現に向けたまちづくりを進めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がさらに広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

皆野町長 黒澤 栄則

皆野町は、四方を山々に囲まれた秩父盆地の一角に位置し、恵まれた山林資源と荒川の清流、桜やポピーなど四季折々でその美しさを見せる自然豊かな町です。

本町では、この美しい自然環境を守り、次の世代に引き継ぐため、各種環境施策に取り組んでおります。その取り組みの一つとして、町立の幼稚園・各学校において高純度な脂肪酸からなる品質の良いリサイクル石けんを使用するなど環境教育を行っています。今後も、町民、事業者の皆様と共に環境に配慮したまちづくりを推進してまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後も「石けん運動」の輪がますます広がっていきますことを心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

宮代町長 新井 康之

宮代町は、埼玉県北東部にあり、大落古利根川をはじめとする豊かな水辺環境と、さいたま緑のトラスト保全第5号地である山崎山の雑木林など、多くの緑が共存する自然に恵まれたまちです。

当町では「2050年までの温室効果ガス排出ゼロ」を目指し、町民や事業者と一体となった脱炭素化への取り組みを進めております。昨年度は、官民連携による推進体制として、令和6年10月に「宮代町ゼロカーボン推進協議会」を設立しました。

また、町民と力を合わせた環境保全活動や、水辺環境の保全に繋がる合併処理浄化槽の普及促進等に努めております。「せっけん運動」を通じて、貴会の活動の輪がますます広がりますことを、心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**三芳町長 林 伊佐雄**

三芳町は首都圏から 30km の距離に位置し、みどり豊かな武蔵野の雑木林や三富新田に代表される田園風景が広がる自然と都市機能が調和したまちです。

江戸時代から受け継がれる伝統農法「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産に認定されており、当地域から採水した深層地下水をミネラルウォーター「みらいくんの雫」として販売しました。この水は長い年月をかけてろ過されたミネラルを豊富に含む貴重な資源です。次世代を担う子どもたちに豊かな水環境を受け継ぐため、持続可能で環境にやさしいまちづくりに取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深い敬意と感謝を表し、今後ますますの発展と活動の輪が広がることを祈っています。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**毛呂山町長 井上 健次**

毛呂山町は、埼玉県南西部に位置し、緑と清流に恵まれた里山の田園風景が広がる自然豊かな町です。日本最古の柚子の原産地とも云われ、秋が深まる頃になると、里山には「桂木ゆず」が黄金色に輝きます。

町では、「歩いて健幸！」を合言葉に、恵まれた自然環境を活かした様々なウォーキング事業を展開し、住民一人ひとりが健康で幸せに暮らせる「健“幸”づくりのまち」を目指しています。

今後も、人にも環境にもやさしい持続可能なまちづくりに向けた施策に町全体で取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の活動の輪がより一層広がりますことを、心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**八潮市長 大山 忍**

八潮市は、埼玉県の南東部に位置し、中川、綾瀬川、大場川など豊かな水と緑が広がる、自然環境に恵まれたまちです。

本市では、市民にとって最も身近な自然として親しめる水辺空間の創出を図るため、「水と緑にふれあえる、環境にやさしいまち八潮」の実現を目指しています。

今後も、この豊かな自然環境を保全していくため、各種イベント等を通じて生活排水対策の普及・啓発を行い、河川浄化対策に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる環境活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪が広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**横瀬町長 富田 能成**

豊かな自然と歴史が息づく横瀬町は、埼玉県の西部に位置し、武甲山に抱かれた魅力あふれるまちです。都心からわずか 70km 圏内にありながら、東西に流れる横瀬川の清流と、県内随一の寺坂棚田は、四季折々の表情をみせます。

当町は、美しい景観のなかに多様な幸せが花開く「カラフルタウン」を掲げ、かけがえのない自然環境を次世代へと育み、この地で育った子どもたちや、訪れた方々が再び帰りたくなるようなまちを目指し、積極的にチャレンジを続けています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、より多くの皆さまにこの活動の輪が広がりますよう心よりご期待申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

吉川市長 中原 恵人

吉川市は、東に江戸川、西に中川が流れ、古くから水の恵みを享受してまいりました。昔から「吉川に来て、なまず、うなぎ食わずなかれ」といわれ、市内の料亭では川魚料理が堪能でき、近年では地域の飲食店にもその広がりをみせています。

このような「川の郷」を次世代へ受け継いでいくため、公共下水道への接続や浄化槽の維持管理の啓発、合併処理浄化槽への転換促進により水質の保全を図っており、健全な水環境の保全に向けて引き続き取り組んでまいります。

最後に貴会の長年にわたる活動に敬意を表し、「せっけん運動」を通じて、ますます活動の輪が広がりますことを心よりご期待申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

吉見町長 神田 隆

吉見町は、埼玉県ほぼ中央に位置し、東部に荒川、南西部に市野川が流れる、水と緑に囲まれた自然豊かな町です。この豊富な水資源は、多くの恵みをこの地にもたらし、私たちに豊かな生活と潤いを与えてくれています。

本町では、豊かな自然や田園環境を次世代につなげるため、2050年までに町内の二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「吉見町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。今後も地域一体となり、SDGsやゼロカーボンシティの実現に向けた取組を進めるとともに、環境に配慮したまちづくりに取り組んでまいります。

「せっけん運動」を通じて、水質保全活動に取り組まれている貴会に心から敬意を表しますとともに、今後、より一層活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「シャボン玉月間」に寄せて

寄居町長 峯岸 克明

埼玉県北西部に位置する寄居町は、町の中央を流れる荒川や、名水百選に選ばれた風布川(ふうっぷがわ)・日本水(やまとみず)など、豊かな水環境に恵まれたまちです。この貴重な自然を次世代へ引き継ぐため、本町では公共下水道の整備や公設浄化槽を推進するなど、生活排水処理の整備事業に注力しております。

また、「第2次寄居町環境基本計画」を策定し、「豊かな水と緑・歴史に包まれ、環境にやさしい暮らしが息づくまち」の実現に向けた取り組みも進めています。

貴会の長年にわたる取り組みは水環境を守る有意義なものであり、心から敬意を表しますとともに、今後の発展を御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

嵐山町長 佐久間 孝光

嵐山町は、埼玉県のほぼ中央部に位置し、美しい緑と清流に囲まれ、国蝶オオムラサキが生息する自然豊かな町で、「蝶の里らんざん」として多くの方に親しまれています。

当町ではこの環境を守るため、生活排水処理基本計画に基づき、平成元年より流域関連公共下水道、そして平成24年よりPFI方式による町管理型浄化槽整備推進事業を進めています。また、嵐山町ゼロカーボンシティ宣言の実現に向け、昨年3月に第2次嵐山町環境基本計画兼嵐山町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、SDGsに配慮した商品の購入について明記しております。さらに、昨年4月より地球温暖化対策設備設置に係る助成を開始し、CO2削減に向けた施策を推進しております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに敬意を表しますとともに、活動の輪が広がりますことご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

和光市長 柴崎 光子

和光市は、埼玉県南端に位置し、東京都と隣接しながら、荒川沿いの農地や斜面林、湧き水など四季折々の豊かな自然に恵まれています。また、鉄道3路線が乗り入れる和光市駅や、東京外環自動車道の2つのインターチェンジを有するなど交通アクセスにも優れ、利便性の高い都市として着実に発展を続けています。

当市では、「第3次和光市環境基本計画」を策定し、市民の皆様と協働しながら、自然環境の保全活動や地球温暖化対策実行計画の推進をはじめとするさまざまな環境施策に積極的に取り組んでいます。

貴会の水環境の保全活動に深く敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がさらに広がっていくことを心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

蕨市長 頼高 英雄

蕨市は、日本一小さく、コミュニティが豊かな特性を生かし、市民の皆様とともに持続可能な環境にやさしい社会の実現にむけた取り組みを進めています。

昨年5月に、脱炭素社会の実現に向けて、蕨市として「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、今年度は「ソーラー蓄電池ステーション」の開設に向けた公共施設への太陽光発電設備の導入調査や公用車への電気自動車導入に加え、「デコ活宣言」及び「デコ活応援団」へ参画するなど、日本一のエコシティ蕨の実現に向けた取り組みを加速化しています。

「せっけん運動」は、多くの方の環境意識を高め、環境保全に日常的に取り組むことができる素晴らしい活動です。この活動が一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

千葉県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

千葉県知事 熊谷 俊人

千葉県は、三方を海に囲まれ、温暖な気候の下、豊かで多様な自然に恵まれています。この恵まれた自然を、次の世代に引き継ぐことは、現在を生きる私たちの重要な責務です。

特に河川・湖沼・海域は、憩いの場や漁場として県民に豊かな恵みをもたらしており、多様な生物が生息・生育できる水環境の保全が必要です。

このため、県では、印旛沼及び手賀沼の第8期湖沼水質保全計画や東京湾の第9次総量削減計画に基づき、生活排水対策や事業場排水対策などの取組を総合的に推進しているところです。

「せっけん運動」を通じて水環境を守ろうとする皆様の活動が、節目の45年目を契機にさらに充実したものになりますよう、心からお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

市川市長 田中 甲

市川市は、江戸川をはじめとした水辺や多くの緑地など、自然環境に恵まれた文教都市として発展してまいりました。

本市では令和5年3月に策定した第四次市川市生活排水対策推進計画に基づき、市民との協働のもと、生活排水対策を進め、良好な水環境の確保に努めています。

また、今年5月には環境省より脱炭素先行地域に選定され、都市部におけるCO2削減に向けた循環型社会のモデルケースとなるよう、カーボンニュートラルの実現に、そして水と空気の未来を守る取り組みをより一層推進してまいります。

貴会の長きにわたるせっけん使用推進による水環境の保全活動に深く敬意を表し、この活動がより一層広がることを心より願っております。

『せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間』によせて

市原市長 小出 譲治

市原市は、京葉臨海工業地帯の中核をなす一方、水辺や里山の原風景が今もなお残されている産業と自然が調和したまちであります。

市では、豊かな自然環境を次世代に継承し、環境負荷の少ない持続可能なまちを実現するため、里山の保全活動やプラスチックの資源循環等様々な取組を進めています。

これからも未来にわたり、水や緑などの自然の恵みを持続的に享受することができる、自然と共に生きるまちとなるよう取り組んでまいります。

貴会の「石けん運動」を通じた水環境を守り、次世代へ繋いでいく活動に敬意を表しますとともに、今後益々の御発展を心から御祈念申し上げます。

『シャボン玉月間』によせて

印西市長 藤代 健吾

印西市は、利根川・印旛沼・手賀沼などの水辺や斜面林・谷津で構成される里山、そして、そこで育まれた多様な生態系など、豊かな自然環境の地域であるとともに、都市機能が計画的に整備された千葉ニュータウンを有する自然環境と都市環境が調和したまちです。

本市では、令和4年に策定した第3次印西市環境基本計画の個別目標として「良好な生活環境の保全」を掲げ、「水・土壌環境の保全」の施策を推進しており、水質保全に関する市民及び事業者の環境配慮指針を定め、公共下水道への接続や高度処理型合併処理浄化槽の設置などを促進しているところです。

今後も、川や沼の水質を浄化するため、市民一人ひとりが水質保全に取り組んでいただけるよう、引き続き啓発活動を行ってまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に心から敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

『せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間』によせて

浦安市長 内田 悦嗣

本市は「人と自然とが共生する水と緑で囲まれた持続可能な環境都市」の実現を目指して環境施策を進めています。

本年5月には、一人ひとりが日頃から環境に優しい行動をとれるよう、身の周りの環境保全についての関心を高めることを目的として、環境保全に向けた市の取り組みを紹介する環境展を開催したところです。

こうしたなか、環境にやさしいせっけんの使用を広める貴会の運動は、河川や海などの自然環境を守る、大変有意義な活動であると捉えております。

貴会の活動に敬意を表し、今後も活動の輪が広がりますことを心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

御宿町長 原 宏

御宿町は千葉県房総半島の東側、太平洋に面する海辺の町で、海岸部は南房総国定公園に指定されています。

農林水産は勿論、観光は町の重要な産業であり、河川や海域の水環境の保全に継続的に取り組むことが求められています。

公共下水道事業が遅れていることから、既設浄化槽の維持管理および合併処理浄化槽の設置を進めています。

また、住民の皆さまを中心としたボランティアによる海岸・河川の清掃活動が定着しており、町内公共施設では家庭の廃食用油を再利用したリサイクルせっけんの設置を行っています。

未来を担う子どもたちのためにも、引き続き各種施策に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、更に活動の輪を広げられることをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

柏市長 太田 和美

柏市には、天然湖沼の手賀沼をはじめ、湧水や谷津、利根運河や利根川などの豊かな自然環境が存在し、憩いの場として市民の皆様にも親しまれています。

特に、手賀沼は、昭和30年代以降、宅地開発等の影響による生活排水で水質が悪化しましたが、国や県、流域自治体や漁業組合等と連携して水質浄化に取り組み、現在は改善しつつあります。

引き続き、市民、関係団体、関係機関の皆様の御協力を賜りながら、手賀沼を始めとする水環境の保全に取り組んでまいります。

最後になりますが、貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表するとともに、益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

勝浦市長 照川 由美子

勝浦市は、千葉県南東部に位置し、海岸沿岸部は、深い入り江のリアス式海岸と遠浅の岩礁・砂浜がつながり、変化に富む風光明媚な地形となっています。また、内陸部から沿岸部まで山林が幾筋も延びていて、その谷あいの平地や斜面に市街地や集落が形成されています。

気候は、沖合を流れる黒潮の影響を受け年間平均気温が摂氏16度ですが、日中の最高気温が摂氏35度を超える猛暑日を記録した日が観測史上一度もなく、夏涼しく冬暖かくすごしやすい街です。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表するとともに、今後も多くの人々の意識が向上され水環境の保全活動が継続されることをご期待申し上げます。

「7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

鎌ヶ谷市長 芝田 裕美

鎌ヶ谷市は、千葉県の北西部、北総台地のなだらかな緑の大地の上に広がる総面積21.08平方キロメートル、人口は令和7年4月1日現在で、109,802人（住民基本台帳人口）の都市です。

本市は昨年度から市内一部地域でPFASによる汚染が検出されたことに伴う様々な施策、調査をおこなっており、水環境を保全することの重要性を強く認識しております。また、PFAS以外の市の取り組みといたしまして、市民との協働による河川調査や公共用水域・家庭雑排水処理施設の水質調査なども継続して実施しております。

最後になりますが、貴会の環境保全に対する取り組みに敬意を表するとともに、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

栄町長 橋本 浩

栄町は、利根川や印旛沼をはじめとする恵まれた水辺や、里山などを有する自然環境に恵まれたまちです。

この豊かな自然環境を守り、限りある資源を大切にするとともに、次の世代へと引き継いでいくため、当町では公共下水道の適正な管理や、補助制度を活用した合併処理浄化槽の普及促進、水質保全に関連した啓発や清掃などの各種活動を推進し、良好な水質の保全に努めながら今後も引き続き、町民、事業者、行政が協力し、環境負荷の軽減や、恵まれた自然環境の維持・保全に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に対し深く敬意を表するとともに、水環境の保全に繋がる活動の輪が広がりますことを心よりご祈念申し上げます

シャボン玉月間によせて

佐倉市長 西田 三十五

佐倉市は、千葉県内で最大の流域面積を誇る印旛沼に接しています。印旛沼の水は、古くからその周辺地域に暮らす人々の生活や産業を支えてきました。

本市では、生活排水対策を総合的かつ効率的に推進することを目的として、令和7年3月に「第4期佐倉市生活排水対策推進計画」を策定しました。河川や湖沼などの豊かな水環境・水資源を守るためには、水を利用する私たち一人ひとりの日頃の心がけが重要です。佐倉市においても、今後も周辺市町や関係機関と連携しながら、環境保全施策に積極的に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたるご活動に深く敬意を表するとともに、今後ますますのご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

山武市長 松下 浩明

山武市は千葉県の東部に位置し、日本有数の砂浜海岸である九十九里浜のほぼ中央にあたります。市内は、砂浜と松林が連なる海岸部、田園風景が広がる平野部、そしてサンプスギが生い茂る丘陵部によって構成されており、良好な自然景観を形成しています。

本市では、地域の脱炭素化および污水处理の推進を通じて、脱炭素・循環型社会の形成を図り、自然環境にやさしいまちづくりを目指しています。

また、本市は県内有数の農業地帯であり、水環境の保全は持続可能な農業を実現するうえで非常に重要であると認識しております。

貴会の長年にわたる水環境保全へのご尽力に深く敬意を表しますとともに、今後のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

白井市長 笠井 喜久雄

白井市は、都心から約30km 圏内でありながらも豊かな自然に恵まれ、自然環境と生活環境の調和のとれたまちとして発展してまいりました。

白井市第3次環境基本計画では、「良好な環境を未来につなぐ持続可能なまち」を将来像に掲げ、生活排水対策の強化や河川・湖沼の浄化の推進など環境の保全に取り組んでいるところです。

本市の豊かな自然を次世代に残すためには、市民・事業者・行政などが連携・協力することが必要不可欠であり、貴会の皆様が水環境の保全に取り組まれていることは、大変有意義なことでもあります。

今後も貴会の活動の輪が広がり、大きな成果となるようご期待申し上げますとともに、貴会の更なるご発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7 月はシャボン玉月間」によせて

匝瑳市長 宮内 康幸

匝瑳市は、千葉県の北東部に位置し、北部は谷津田が入り組んだ台形を形成し、里山の自然が多く残されています。また、南部は市街地を除いて田園地帯が広がり、南端は九十九里海岸に面しています。

市では、この恵まれた自然環境をかけがえのない貴重な財産として、公正に引き継いでいくため、市内8河川の水質測定を定期的実施するとともに、合併処理浄化槽の設置促進を通じて水質浄化対策等を行っています。今後とも、市民や事業者等との協働を基調に、水環境の保全に取り組んで参ります。

結びに、貴会の日ごろの活動の成果に対し心から敬意を表しますとともに、活動の輪がますます広がりますることを祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

袖ヶ浦市長 粕谷 智浩

袖ヶ浦市は、工業地域と田園風景が広がる、産業と自然が交わった豊かなまちです。

本市では、令和2年3月に「第2次袖ヶ浦市環境基本計画」を策定し、環境に関する施策を実施してまいりましたが、今年度、計画期間の中間年度を迎え、現状の環境変化を踏まえた計画の見直しを行っております。

これからも、市が目指す環境像である「みんなでつくる豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち袖ヶ浦」の実現に向けて、水環境をはじめとした自然や生活環境の保全などに取り組んでまいります。

貴会の行っている石けん運動による水環境を保全する取組は非常に意義深いものであり、活動の輪が今後ますます広がりますよう心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

千葉市長 神谷 俊一

千葉市は、大都市でありながら、ふるさとの原風景である谷津田や、約42kmに及ぶ海岸線、花見川をはじめとする13の河川を擁し、豊かな緑と水辺に恵まれています。

2026年に千葉開府900年を迎える中、より豊かな自然環境を守り未来に引き継いでいくため、都市機能の中に緑と水辺を感じられるまちづくりを進めており、市民の憩いの場でもある水辺や貴重な水源であり多様な生態系を有する谷津田の保全などに取り組んでいます。

貴会の活動は、水環境の保全や生物多様性の保全・再生の観点からも有意義なものであり、長年の活動に心から感謝申し上げますとともに、この取組の環が今後ますます広がり発展されるよう祈念いたします。

「シャボン玉月間」によせて

成田市長 小泉 一成

成田市は、古くから印旛沼や利根川などから水の恩恵を受けてきた、自然豊かな都市です。

当市では、生活排水による河川や沼の汚濁防止を目的に、公共下水道の整備や合併処理浄化槽設置・維持管理の助成などの対策を推進しております。

また、印旛沼クリーンハイキングなどの清掃活動を通じて、豊かな水環境の保全に努めております。

貴会のせっけん運動は、これらの取り組みと同様に、水環境の保全に貢献するものであり、貴会が同運動を続けてこられましたことに敬意を表しますとともに、今後益々、活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

船橋市長 松戸 徹

船橋市は、令和7年4月に人口65万人を超え、都市として成長を遂げた一方で、東京湾三番瀬、海老川源流などの良好な自然環境を有しています。市では、貴重な自然を持続的に保全していくため、新たな生物多様性地域戦略の策定を進めています。

このほか市では、海洋プラスチックごみ対策に関する日本大学生産工学部との連携調査のほか、「ゼロカーボンシティふなばし」2050年の実現に向けた太陽光、下水消化ガス、ごみ焼却熱を活用した発電など、公共施設への再生可能エネルギーの導入を推進しています。

環境を大切にする取り組みには市民や事業者の理解と協力が不可欠です。貴会では環境意識の向上につながる活動を長年にわたり続けられており、ここに敬意を表すとともに、さらなる発展を祈念いたします。

「シャボン玉月間」によせて

松戸市長 松戸 隆政

松戸市は千葉県の北西部に位置し、また東京都と埼玉県に隣接する住宅都市として発展を続けておりましたが、令和6年6月7日、松戸市の住民基本台帳人口が50万人に到達いたしました。

これから松戸市の3つの基本姿勢として、「チャレンジする姿勢」、「スピード感のある行政運営」、「徹底した情報公開と信頼される組織づくり」から、信頼できる市政をつくっていききたいと思っています。

貴会におかれましては、長年にわたり取り組まれている環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動により多くの方々の水環境への関心が高まることをご期待いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

八街市長 北村 新司

八街市は千葉県のほぼ中心に位置し、北総台地の肥沃な土壌環境を生かした農業が盛んであるとともに、多種多様な生物が生息する水辺や里山など緑豊かな自然を有しています。

本市では、この豊かな自然を次世代に引き継いでいくため、令和元年に新たに策定した「八街市循環型社会形成推進地域計画」に基づき、経年劣化した焼却施設の延命化を図ると共に、公害防止関連設備の性能向上、更には地球温暖化防止のため、住宅用設備等脱炭素化促進事業や令和6年8月に「やちまたゼロカーボンシティ」の宣言をし、二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロを目指しています。また、美しい作田川を守る会や印旛沼環境基金による水環境の保全に努めております。

結びに、「せっけん運動」をはじめとする、貴会の長年にわたる水環境を保全する活動の輪が、今後ますます広がりますことを心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

八千代市長 服部 友則

八千代市は、千葉県の北西部に位置し、市域の北側は水田や里山の斜面緑地が広がる豊かな自然を残した田園風景があり、南側は鉄道沿線を中心に市街地が形成され、快適さと自然の豊かさを兼ね備えた都市として、今では人口20万人を超える都市に成長しました。

本市では令和6年3月に「八千代市第3次環境保全計画」を改訂し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進しています。市域から排出される温室効果ガス削減目標の変更と「八千代市地域気候変動適応計画」の策定に伴う施策内容の強化を行い、全ての施策に真摯に取り組んでいます。

結びに長年にわたる貴会の活動に敬意を表し、今後活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

四街道市長 鈴木 陽介

四街道市は都心へのアクセスが良好であり、また住宅地のすぐ近くには緑豊かな自然があふれる里山の風景が広がり、ホタルも生息しているなど、都市と自然が調和する街として発展してきました。

本市では、第三次四街道市環境基本計画に基づき、水質や生物多様性の保全等を図るため、河川の水質調査、高度処理型合併処理浄化槽の設置助成など各種事業の実施や、地域の方とみんなで自然環境保全に取り組む場所として「四街道市自然環境保全地区」を選定するなど、様々な取り組みを行っております。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」を通じて、一人でも多くの方へ環境保全の意識が広がりますことを願っております。

東京都

シャボン玉月間によせて

昭島市長 臼井 伸介

昭島市は、北に玉川上水、南には多摩川が流れ、豊かな水と緑に恵まれたまちで、東京都内で唯一、深層地下水 100%の水道水を飲むことができます。

そうした環境を守っていくために、まちづくりの普遍的な理念として「環境との共生」を引き継ぎ、施策の大綱の一つとして「環境負荷を低減し、水と緑の自然環境を守るまち」を掲げ、市民、事業者の皆様とともに、持続可能な社会の実現を目指し、地球環境に最大限配慮したまちづくりを進めています。

貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表しますとともに、「考えよう！流した水のその先を～せっけんを使って地球を元気に～」を合言葉に、それぞれの地域で自然環境を守る輪が広がっていくことを御祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

あきる野市長 中嶋 博幸

あきる野市は、都心から 40～50 キロメートル圏に位置し、秋川と平井川の二つの川と、秋川丘陵及び草花丘陵に囲まれる平坦部、奥多摩の山々に連なる山間部から形成されている自然豊かなまちです。

これらの自然は、私たちにきれいな空気やおいしい水、四季折々の美しい景色などをもたらしてくれています。

本市では、この豊かな自然を将来に渡って引き継いでいくため、地球温暖化対策や生物多様性の保全など、様々な取組を推進しています。

貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に心から敬意を表しますとともに、ますますのご活躍を心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

足立区長 近藤 やよい

足立区は、四方を川に囲まれ、23 区屈指の公園面積を誇る水と緑が豊かな区です。この恵まれた自然環境を私たちは次世代に継承していく必要があります。

本区では、環境学習等を通じて、区民の水環境への関心を高めるとともに、不法投棄対策等の充実により、生活環境の保全を推進しています。

また、令和 7 年度は、次世代を担う若者の意見を反映させた「第四次足立区環境基本計画」を策定するための検討を始めたところであり、今後一層、環境施策の充実に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、皆様の活動の輪が広がり、一人ひとりの環境保全に対する意識がますます高まりますことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

荒川区長 滝口 学

荒川区は区の北部から東部に沿って隅田川が流れ、人々の生活に彩りを添えています。本区は、近隣区と協力して隅田川の水質調査を行うなど、水質浄化に向けた取組を行ってきました。水は、生活の基盤であり、豊かな自然環境をもたらします。本区では A I（人工知能）を活用した区民参加による生き物図鑑づくり事業などを通じて、区民の皆様にも水辺や公園等を訪れていただき、生物多様性への理解促進や環境意識の向上に繋がるよう取り組んでおります。また、現在、脱炭素社会の実現に向け、令和 5 年 3 月に改定した「地球温暖化対策実行計画」の下、区民・事業者・行政が「環境区民」として個々の取組を着実に実践するとともに、協働による取組を進めております。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、貴会の活動がますます発展し、今後も水環境が持続的に守られていくことをご期待申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

板橋区長 坂本 健

板橋区は、東京 23 区の北西部に位置し、荒川をはじめとする 4 つの河川や武蔵野台地の崖線沿いの湧水など、水環境に恵まれた地域です。

区では、水辺環境を保全し、生物多様性を守るため、河川等の水質調査や生物調査を行い、区内の水辺環境の充実に取り組んでいます。

本年度、区では、令和 8 年度から 10 年間を計画期間とする、次期「板橋区環境基本計画 2035」の策定に向けて、板橋区資源環境審議会における審議や、ボランティア団体等に参加いただいたワークショップをはじめとした検討を進めております。

その中では、板橋区の「きれいな空気や水、クリーンな住環境」や、「自然の恵みとの共生（生物多様性・緑・水）」について、計画の柱として位置づけているところです。

新たな計画は、パブリックコメントを経て、令和 7 年度末に公表する予定です。区では、新たな計画に基づく取組みを推進し、自然と人が共生する板橋区を未来に引き継いでまいりたいと考えております。貴会の変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

結びに、貴会の長年にわたります活動に対しまして、深く敬意と感謝を表しますとともに、皆様方の取組みの輪が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

稲城市長 高橋 勝浩

稲城市は、多摩川の清流や 300 年以上の歴史を誇る大丸用水に代表される豊かな水と多摩丘陵の緑につつまれた、潤いとやすらぎのあるまちです。6 月には大丸用水に色鮮やかなあじさいの花が咲き誇り、初夏の風物詩となっております。

この豊かな環境を後世に引き継ぐため、市では、親水空間の整備や水質保全に対する取り組み等の施策を推進しております。毎年、多摩川や三沢川沿い等、市内の清掃活動を市民の皆さんと行っており、今後も、市民と行政が協力し、やすらぎのあるまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が今後も大きく広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はしゃぼん玉月間」に寄せて

江戸川区長 齊藤 猛

江戸川区は三方を海と川に囲まれ、東京 23 区で公園の面積が最も広く、豊かな水とみどりをもたらす恵みは区民の暮らしを彩り、まちの大きな魅力となっています。

この暮らしやすい環境を未来に残すため、本区は令和 5 年 2 月に 2050 年カーボンマイナス都市宣言をいたしました。

ごみの減量、リサイクル、再生エネルギーの導入などで脱炭素を推進し、区をあげて「環境とともに生きる」ことで、区民だれもが将来にわたり豊かな水辺空間を楽しむことのできる「水の都」を目指していきたいと考えています。

水辺と共にある江戸川区として、貴会の長年にわたる水環境保全の取り組みに深く敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心より祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はしゃぼん玉月間」に寄せて

青梅市長 大勢待 利明

青梅市は総面積の約6割を森林が占めており、市域の中央を流れる多摩川や荒川水系の支流など、美しい山と渓谷に育まれた水源となる多くの河川が流れています。

本市では、持続可能な未来を共創するまちを目指し令和7年3月に「第3次青梅市環境基本計画」および「第2次青梅市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定しました。この計画の一つのテーマである「水」の中で、「合成洗剤の利用を減らし、油を流しに捨てない等の工夫を行い、下水処理場への負荷を低減すること」を取組の一つとして掲げ推進しております。

貴会の水環境を守る活動に対し、心から敬意を表しますとともに、この活動が益々発展されますことを御祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

大田区長 鈴木 晶雅

大田区は東京都の東南部に位置しており、多摩川、東京湾沿いの干潟、砂浜、魅力ある公園など多様な自然があります。

区では本年4月に、これまでの環境基本計画を承継し新たな課題に柔軟かつ機動的に対応するため「第2次大田区環境基本計画」を策定しました。「脱炭素社会への移行(カーボンニュートラル)」、「自然再興の取組(ネイチャーポジティブ)」、「循環経済への移行(サーキュラーエコノミー)」の3つの目標達成を通じて、環境・生活・経済の好循環による持続可能な環境先進都市を目指します。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表すとともに、活動の輪がさらに広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

葛飾区長 青木 克徳

葛飾区では、区特性である河川や緑豊かな環境を活かしながら美しい都市環境を創造するとともに、地球温暖化やそれに伴う気候変動に対応し、環境負荷の少ない、自然にやさしいまちをつくるため取組を進めています。

この自然環境を未来につなげるため、地域の方と協働して、小学校において、河川の水質調査や、どうすれば川が汚れないか等を学べる出前講座を実施するなど、河川に関する啓発活動等も行っております。

皆さんの運動と同様、私も引き続き、関係団体等と連携・協働しながら「きれいな水」に囲まれた葛飾の自然を守り、「みんなでつくる人や自然にやさしく持続可能なまちかつしか」の実現に向けて取り組んでまいります。

シャボン玉月間によせて

北区長 やまだ 加奈子

北区には、由緒ある桜の名所の飛鳥山や、荒川をはじめとした4つの河川の水辺、子どもたちが元気に遊べる公園など、緑豊かなやすらぎの空間が多くあります。

このような魅力ある自然環境を未来に引き継いでいくため、区では「北区環境基本計画2023」のもと、身近な自然を守り育て、豊かで質の高い緑・水辺の保全に向けて取り組んでまいります。

貴団体における長年にわたる活動に対しましては、深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がっていくことをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

清瀬市長 澁谷 桂司

清瀬市は、都心への交通アクセスに恵まれた高い利便性を有しつつ、武蔵野の雑木林や清らかな柳瀬川・空堀川、そして豊かな農地が織りなす自然環境を併せ持つ都市です。

本市は、令和6年5月に内閣府より「SDGs 未来都市」に選定されており、環境保全に力を入れています。かけがえのない水環境を守るため、市民の皆様が中心となり、きよせの環境・川まつりにおける普及啓発や、市内一斉清掃を通じて河川の美化に努めています。引き続き、市民の皆様と力を合わせて、豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまちの実現に向けて取り組んで参ります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

国立市長 濱崎 真也

国立市には、多摩川から崖線樹林地にかけて、古くからの自然に近い環境が田畑や用水路とともにあり、後世に伝えるべき貴重な原風景として身近に残されています。また、「ママ下湧水群」、「常磐の清水」など、美しい透明度を誇る湧水群が、豊かな水環境を市民に提供しています。

こうした自然環境の保全と、そこに暮らす生き物たちの生態系を守っていくため、令和7年3月に「国立市緑の基本計画及び生物多様性の地域戦略」を策定しました。市民、事業者、行政で連携し、持続可能な未来社会の実現に向けて、より良い環境づくりに取り組んでまいります。

貴会が長年にわたって進めている「せっけん運動」も、水環境保全の大切さを消費者に伝え、次世代に貴重な自然、生物多様性を残していくために大切な運動と認識しております。今後も、貴会の運動が益々発展し、人々の環境保全への意識がさらに広がっていくことをご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

江東区長 大久保 朋果

江東区は、隅田川、荒川、東京湾に囲まれ、江戸時代から整備された小名木川などの多くの河川や運河が走る水彩都市です。令和7年3月、新たな環境基本計画を策定し、「水と緑に彩られた環境にやさしい都市」の実現を掲げ、脱炭素社会の実現、循環型社会の形成、自然共生社会の形成、安心・安全・快適な生活環境の確保、環境教育及び環境パートナーシップの充実を5つの柱に、次の世代に誇れる街づくりを推進しています。

貴会のせっけん運動も、環境負荷を低減し、河川の水質を保全する取り組みであり、江東区の水と緑にとって意義のあるものです。

貴会の様々な環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

小金井市長 白井 亨

小金井市では、令和4年1月1日付けで、「気候非常事態宣言」を表明いたしました。「黄金に値する豊富な水が湧く井戸」が地名の由来でもある本市では、農地、屋敷林、広大な小金井公園や公共緑地など豊かな自然環境とともに、世界有数の設置率を誇る雨水浸透施設等により環境が保全されております。この財産を将来世代に引き継ぐためにも、ゼロカーボンシティの達成を目指していきます。

「せっけん運動」は、誰もが気軽に取り組むことができる環境保全活動です。この様な活動に長年にわたり取組まれる貴会に敬意を表しますとともに、この運動の輪が環境保全意識の更なる高揚に寄与し、ますます広がっていくことを期待しております。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

国分寺市長 丸山 哲平

国分寺市は、国分寺崖線や、お鷹の道・真姿の池水群などの、緑と湧水に恵まれた、武蔵野の面影が残る住宅都市です。

本市では、令和7年3月に「第三次国分寺市環境基本計画」を策定しました。石けんの使用は、日々の暮らしの中で、誰もが実践できる環境配慮の一步であり、本計画が目指す環境像2050の「緑・水・生きもの・多様なつながり 人と自然の共生の歴史を未来へ引き継ぐまち」に通じる取組です。

市内の公共施設においても、合成洗剤の使用を控え、純石けんの使用に取り組んでおり、今後も継続して推進してまいります。

結びに、貴会の長年に渡る活動に深く敬意を表しますとともに、今後一層の活動の輪が広がりますよう祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

小平市長 小林 洋子

小平市には、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」や「新日本歩く道紀行100選 水辺の道」にも選ばれた「小平グリーンロード」があり、玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道を軸とし、緑に囲まれたその遊歩道は、市民の憩いの場として親しまれております。

この豊かな自然環境を将来にわたって守っていくために、本市では、小平市第三次環境基本計画の目指す環境像『循環・調和・協働の「わ」を大切に みんなで気持ちよく暮らせるまち こだいら』の実現に向け、今後も、市民や事業者、市民団体、市が一体で環境施策を進めてまいります。

最後に、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後も更なるご活躍とご発展を祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

狛江市長 松原 俊雄

狛江市は都心近くに位置していながらも、多摩川や野川の河川を中心に豊かな水環境を有しており、いかだレースや生きもの観察などの、水辺に親しんでもらうイベントを数多く実施しています。

豊かな水環境は、憩いの空間となるほか、観光資源、生物多様性への寄与など、私たちに多くの恩恵をもたらす、かけがえのない財産となっています。

貴重な水環境を次世代へ良好な状態で引き継ぐため、市民が日頃から水資源にふれ合い、大切さを知ってもらえる機会を創出してまいります。

結びに、貴会の長年に渡る水環境の保全活動へのご尽力に深く敬意を表しますとともに、理念に賛同申し上げ、今後の更なるご活躍とご発展を祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

品川区長 森澤 恭子

品川区は、沿岸部の運河や区内を流れる目黒川や立会川など水辺に親しめる環境を有しています。

品川区では、2024年度にSDGs未来都市と自治体SDGsモデル事業のW選定を受けており、目黒川や立会川の水質改善事業をはじめ、環境学習交流施設エコルとごしを中心とした環境学習や水環境に関する普及・啓発事業などを通じ、環境にやさしい社会づくりを推進してまいります。次の世代にこの環境を引き継いでいくためには、一人ひとりの行動の積み重ねが重要と考えます。貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じて水環境保全活動の輪が広がっていくことを期待申し上げますとともに、貴会のますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

渋谷区長 長谷部 健

渋谷区は、代々木公園や玉川上水旧水路緑道、渋谷川など豊かな環境から形成されています。特に現在は、みどりと水をつなぐ空間の一つとして玉川上水旧水路緑道の再整備を進めています。令和6年4月に策定した「渋谷区みどりの基本計画」では、「みどり・生きもの・人が つながるまち しぶや」を将来像とし、みどりの保全・創出・共創を施策の柱として取り組んでいます。引き続き、流行や都市文化の発信とみどりが密接に結びついて発展してきた渋谷の特性を踏まえ、新たに創出するみどり、再生するみどりの質を高め、潤いある暮らし、生きものの生息・生育環境、にぎわいが調和したまちを、みどりを拠点に広げていきます。結びに、貴会の長年のご活動に敬意を表しますとともに、今後の皆様の更なるご発展とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

新宿区長 吉住 健一

新宿区は、「持続可能な環境都市・新宿」の実現に向け、区民・事業者との協働・連携による環境への取組を進めています。

本区は、神田川や妙正寺川など水辺に親しめる環境を有しています。特に、神田川では区民により結成された「神田川ファンクラブ」が水質調査や水生生物調査を実施するなど、水環境とふれあい、区民の水環境保全意識を育む場となっています。以前は下水道の整備が進んでおらず、生き物が住みづらい環境でしたが、今ではアユが生息するなど生き物にも生活しやすい水環境になっています。

貴会の長年にわたる水環境保全の取組に深く敬意を表しますとともに、さらなるご発展をお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

杉並区長 岸本 聡子

杉並区内に流れる神田川、善福寺川、妙正寺川と河川沿いに広がる豊かなみどりは、区民の誇りであり、この自然環境を守り後世に繋ぐことは、私たちに与えられた大きな責任です。

区は、「気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち」を区の将来像に掲げ、脱炭素社会に向けて、自然環境が持つ多様な機能を地域の課題解決につなげるグリーンインフラの活用検討を進めるとともに、区民と共に水辺環境の再生・創出に取り組んでいます。

長きにわたる貴会の水環境保全の取組に敬意を表するとともに、活動の輪がさらに広がり、一人ひとりの小さな一歩の積み重ねが、大きな変化を生む力となりますことを祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

墨田区長 山本 亨

墨田区は、隅田川や荒川など、水辺に恵まれた環境にあり、“水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる”まちです。

2021年度には、「SDGs 未来都市」の選定を受け、「A C T i O N! すみだ SDGs」を合言葉に、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。また、40年前から雨水利用を先進的に進めており、「雨水タンク」を設置してくださる方への助成制度や、雨水を使った打ち水イベントの実施など、限りある水資源を有効に活用しながら、雨と都市の共生を進めています。これからも、区民の皆様とともに、水循環の大切さについて発信し普及啓発に努めていきます。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、かけがえない地球を子どもたちに引き継いでいくため、水環境保全活動の輪が一層広がり、発展していくことを心より御期待申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて

世田谷区長 保坂 展人

世田谷区は、国分寺崖線をはじめ、多摩川や野川などの多くの河川や湧水、農地や屋敷林、寺社林など、長い年月をかけて育まれてきた水や緑とともに、92万人が暮らす住宅都市へと発展してきました。

本区では、「自然の力と人の暮らしが豊かな未来をつくる～環境共生都市せたがや～」を将来像として、令和7年度を初年度とする6か年の「世田谷区環境基本計画」を策定しました。今後は、この計画に基づき地球環境、自然環境等を守り、将来にわたって良好な環境を保つ地域社会の実現に向けて取り組んでいきます。

最後に、貴会の長年に渡る環境保全の取組みに敬意を表しますとともに、今後のますますのご発展を祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

台東区長 服部 征夫

台東区では、令和6年3月に地球温暖化に伴い深刻化する水辺環境等への影響に対し、取り組むべき施策を明確にするため「台東区環境基本計画」を改定し、令和6年4月には環境保全施策の基本的な事項を定める「東京都台東区環境基本条例」を施行するなどの取り組みを進めています。

また、本区の東側に流れている隅田川等の水辺を次世代に引き継いでいくため、水質調査や水生生物調査を実施し、ハゼ釣りや水辺観察など区民が貴重な水辺空間であることを実感できるイベントを通じて、水質浄化と水辺環境意識の向上に取り組んでおります。

結びに、貴会の水環境保全活動に敬意を表するとともに、今後も更なるご発展を祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

立川市長 酒井 大史

立川市は、多摩川の清流と玉川上水の分水によって開拓された農地や武蔵野の雑木林など豊かな自然に恵まれたまちです。この自然豊かな環境を守るためには、行政や市民、地域団体、事業者等が連携し、取組を進めていくことが必要です。

令和7年度を初年度とする「立川市第3次環境基本計画」では、目指すべき環境像を「生活環境を整え、循環型のまちをつくります」と決めました。我々が享受するこの素晴らしい環境を育み、次世代に引き継いでいくために、全ての人々の英知を結集し、一体となって取組を進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が更に広がっていくことをご祈念申し上げます。

「2025シャボン玉月間」によせて

多摩市長 阿部 裕行

多摩市では令和6年4月に「多摩市生きもの調査隊」を立ち上げました。アプリに登録すればだれでも参加することができ、スマートフォンなどで生きものを撮影して投稿すれば、AIで名前も確認してもらえて国際的なデータベースにも保存されます。

すでに隊員数は100名を超え、この一年間でコウノトリやニホンスッポンなど希少な種から、外来種そして温暖化によって新たに生息し始めた生きものがたくさん見つかりました。

特に、水辺の生きものとしては、ゲンジボタルやトウキョウダルマガエル、ホトケドジョウなども投稿されており、改めて市民みなさんのご協力により多摩市の水辺がしっかり守られていることがわかりました。

「せっけん」の積極的な使用は、化学合成洗剤を必要以上に使わないことにつながり、水とみどりの保全に貢献すると考えます。このような良好な水環境を、未来を担う子どもたちへ継承していくためには、こうした一つひとつの行動の積み重ねが重要です。

改めて、貴会の長年にわたる取り組みに敬意を表し、今後も一層の成果が得られますよう、心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

中央区長 山本 泰人

中央区は、江戸時代以降、多数の水路が縦横に走る「水の都」として発展してきたまちであり、都内随一の水辺空間を有しています。

本区では、「水辺環境の活用構想」に基づき、区内に水辺の核を形成し、水上・水辺・まちの3つをネットワークでつなぐことで、区民・来街者にとって居心地がよく上質な水辺空間をつくることを目指しています。

区民に親しまれる水辺としていくために、今後も良好な水質の保全に努めてまいります。

また、日頃せっけんを使用する中で、肌にも環境にもやさしいと実感しています。

長年にわたる貴会の「せっけん運動」を通じた水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がますます広がることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

調布市長 長友 貴樹

調布市は都心に近い交通至便な地域でありながら、深大寺周辺及び崖線の樹林地や多摩川、野川など豊かな水と緑に恵まれたまちです。

今年4月1日、市は市制施行70周年を迎えました。これまで調布のまちの発展に御尽力をいただいた先人の皆様に感謝しつつ、将来世代にバトンを繋いでいけるよう、各種事業を展開して参ります。調布の魅力の一つである水と緑についても、良好な環境を守り生かす取組を引き続き推進していきます。

貴団体による「せっけん運動」は持続可能な水環境の保全に繋がる重要な取組であり、長年にわたる活動に深く敬意を表するとともに、今後もその輪が更に広がりますことを心から御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

千代田区長 樋口 高顕

千代田区は皇居を中心とする豊かな緑のネットワークや神田川、日本橋川、外濠等の水環境を有する自然に恵まれたまちです。これらの豊かな水環境をより魅力的な空間としていくため、東京都、近隣区等とも連携し、外濠の夏場のアオコ除去、玉川上水の水導水整備、継続的な水質調査など、水質浄化に取り組んでいます。

貴会の「石けん運動」を通じた水環境の保全活動は、水質浄化のみならず、私どもが目指す「2030 ネイチャーポジティブ（自然再興）」にも大きく貢献するものと考えております。これまでの長年のご活動に敬意を表しますとともに、今後もこの活動の輪が益々広がり、発展されますことを祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

豊島区長 高際 みゆき

豊島区は、東京23区の北西部に位置する人口密度が日本一の高密都市です。令和7年3月に策定した新たな「豊島区基本構想・基本計画」では、7つのまちづくりの方向性の一つとして「共につくる地球にも人にもやさしいまち」を掲げ、さまざまな環境施策に取り組んでおります。このうち、せっけんに関しては、区役所本庁舎のトイレにおいて環境に配慮したリサイクルせっけんを使用しているほか、区内で回収した廃食油をせっけんにリサイクルする取組を行っています。

貴会の長年にわたる環境活動に深く敬意を表するとともに、この取組の輪がさらに大きく広がることを心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

中野区長 酒井 直人

貴会の水環境の保全に向けたたゆまぬ活動が、今年45年目を迎えられましたことにあらためて敬意を表します。

今年の合言葉「考えよう！流した水のその先を～せっけんを使って地球を元気に～」には、私たちの「日々の暮らしと自然がつながっている」ことへの気づきが込められています。

中野区では、昭和55年から、区役所本庁舎を始めとする区の施設において合成洗剤の使用を禁止し、生き物や環境にやさしいせっけんの使用を推進してきました。

未来の子どもたちに豊かな自然と持続可能なまちを引き継ぐため、今後もこの取組を継続してまいります。貴会の今後ますますのご発展と、「せっけん運動」がさらに広がりますよう、心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

西東京市長 池澤 隆史

西東京市には武蔵野の景観の中に農地や屋敷林、雑木林があり、日常生活の中で自然と触れ合える良好な環境と、環境負荷の少ないまちを次世代に引き継いでいくため、「西東京市生物多様性地域戦略」を重点戦略として位置づけ、市民・事業者・市が一体となって協働し、環境に配慮した持続可能なまちづくりに取組むとともに、2050年までに地域全体でのゼロカーボンシティの実現を目指しております。

今後も、市民・事業者・市のさらなる協働のもと、市が率先して行動し、目標達成に努めてまいります。貴会の長年にわたる活動に心から敬意を表しますとともに、この輪がさらに広がりますよう心から祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

練馬区長 前川 耀男

練馬区は、都心近くに立地し、大都市東京の魅力を享受しながら、公園や農地、樹林地など、豊かなみどりに恵まれた住宅都市です。

令和8年3月、みどりを守り育てる区民団体や事業者団体などと協働して、練馬のみどりの魅力を発信する「(仮称)ねりまみどりフェスタ」を開催します。こうした取組をさらに深め、区の財産であるみどりを未来へつなぐため、みどりのネットワーク形成、みどりを育むムーブメントの輪を広げる取組を進めていきます。引き続き、区民・事業者の皆様と力を合わせて、みどりの風吹くまち練馬の実現に全力を尽くしてまいります。

せっけん運動を通じた皆様の活動が、水環境を守り、練馬区のみどりの保全に繋がっていくことを期待しています。

「シャボン玉月間」によせて

八王子市長 初宿 和夫

都会と田舎のイイトコどりの暮らしができる八王子市は、緑豊かな高尾山や陣馬山から清らかに流れる浅川など、16の一級河川の源流を有し、水と緑が織りなす自然を持った魅力あふれるまちであり、都内唯一の日本遺産都市でもあります。

本市では、この身近な水辺環境を活かした取り組みとして、子ども達を対象とした水にふれあうイベントの開催や、地域と連携した水辺活用の取り組みを推進しております。

これからも、市民・事業者・行政が一体となり、環境に配慮したまちづくりを進めることで水と緑を守り、美しい自然環境を次世代へと引き継いでいきます。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、水環境保全の取り組みの輪が広がりますことを、心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

羽村市長 橋本 弘山

江戸の町に飲み水を供給するために開削された玉川上水の取水口のあるまちとして知られている羽村市は、多摩川の清流と豊かな自然に恵まれた、水と緑あふれるまちです。この貴重な財産を、より豊かにして未来の市民へと伝えていくために、市では「羽村市環境とみどりの基本計画」を策定し、河川環境の保全や環境学習・環境活動の機会の充実に努めています。

水環境を守る視点から暮らしを見直す活動に取り組まれている貴会に敬意を表しますとともに、「考えよう！流した水のその先を～せっけんを使って地球を元気に～」を合言葉に多くの方に水環境の保全に繋がる活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

東久留米市長 富田 竜馬

東久留米市は、市の中央を黒目川と落合川が流れ、川沿いの至るところに湧水が見られる自然が豊かなまちです。子どもたちが川遊びをする水、みどりを育む水、多くの人々が癒しを求める水。東久留米市にとって、水は切っても切れない関係にあります。

東久留米市では平成23年に「湧水・清流保全都市宣言」を行い、清らかな流れを次世代に引き継いでいくため、市民・事業者・行政が力を合わせてまちを潤す湧水と清流の保全に取り組んでおります。

こうした知識の普及啓発に取り組んでこられた貴会の長年における活動に深く敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

東村山市長 渡部 尚

東村山市は、都心からも近い里山の八国山緑地、花菖蒲や曼殊沙華といった季節の花を楽しめる北山公園、人権の森構想の実現に向けた活動が進められている国立療養所多摩全生園など、豊かな緑に恵まれたまちです。

当市では、「第3次東村山市環境基本計画」に基づき、「みんなで環境を守り、豊かな心を未来につなぐまち」をめざすとともに、庁舎内にて石けんの使用を推奨するなど、さまざまな環境政策に取り組んでいます。

貴会の熱心な取り組みとともに、一人ひとりが身近なところから行動に移すことが何より大切なことと考えており、あらためて長きにわたる貴会の活動に敬意を表するとともに、活動の輪が一層広がりますことを心よりご期待申し上げます。

「せっけんを使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

東大和市長 和地 仁美

東大和市は、北部に多摩湖を包含する緑豊かな狭山丘陵が広がり、南部には野火止用水のせせらぎがあるなど、私たちの心を潤わしてくれる水辺と多くの自然があるまちです。

当市では、「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」を将来の都市像に掲げ、自然環境や水辺環境を保全するための、さまざまな施策に取り組んでおります。

そのような中、貴会の「せっけん運動」は、身近な日々の生活の中に取り入れることのできる環境保全に資する活動として大変意義深く、会員の皆様の長年にわたる取組に対し、改めて心から敬意を表するものであります。

今後も、皆様の活動の輪が広がり、一人ひとりの環境保全に対する意識の高揚につながることを期待しております。

シャボン玉月間によせて**日野市長 古賀 壮志**

日野市は、多摩川と浅川そして南部の多摩丘陵により、水と緑豊かな起伏にとんだ地形が特徴となっています。市内には農業用水路が約 116 km 存在し、湧水も豊富なことから、市民に潤いを与える大切なものとなっています。

貴会の永年にわたる活動は、日野市の環境を守ることと大きく貢献いただいております、心から感謝申し上げます。

日野市は、市民で構成した気候市民会議の提言を踏まえ、気候変動対策施策ロードマップを策定しました。持続可能な社会実現のため取り組みを強化しており、貴会との連携・協働も一層に深めてまいりたいと思います。

結びに、貴会のますますのご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉 日野の清流 空を舞う 泡は消えても 地球よ永久(とわ)に」

シャボン玉月間によせて**日の出町長 東 亨**

日の出町は、都心から 50 km 圏内に位置し、町の西側に町名の由来となった日の出山がそびえ、源流として平井川が町の中心を西から東へ流れている緑豊かな自然あふれる町です。

町内には、三多摩約 420 万人の生活ごみの最終処分場があり、場内ではトウキョウサンショウウオや国蝶オオムラサキをはじめ、約 1,500 種の動植物が生息するとともに、約 100 種の絶滅危惧種に指定される生き物が生息する環境が保持されております。

また町独自でエコ住宅促進機器の設置費に対する補助事業を実施しており、太陽光発電等を設置した住宅が増えてきております。

今後も水環境をはじめ、再生可能エネルギー導入を推進し、環境問題により一層取り組んでまいります。

結びに、貴会の環境に優しい暮らし方を求め、身近なところから水質を改善していく「せっけん運動」の輪が一層広がりますよう心から期待するとともに、ますますご活躍をお祈りいたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**檜原村長 吉本 昂二**

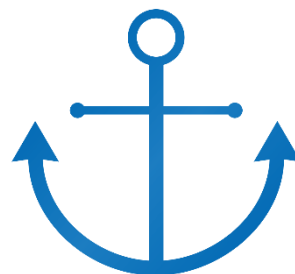
檜原村は東京都の西部に位置し、『ここが東京か?』とを感じるような自然豊かな村で、有史以来、分村も合併も行われたことのない全国でも珍しい村です。

周囲を山々に囲まれ、大半が秩父多摩甲斐国立公園に指定されるなど、四季折々の魅力的な自然風景を楽しむことができます。

私たち檜原村民は、「森林と清流を守り人と地球にやさしい村」を目指し、檜原村の豊かな自然や、かけがえのない村の環境をより良好なものにして次の世代に引き継ぐため、檜原村環境宣言を制定しました。

これからも、公共下水道の整備や森林整備等を積極的に進め、木質バイオマスを中心とする自然エネルギーの導入や生活環境の見直しに努めてまいります。

結びに、長年にわたる貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、今後のさらなるご活躍を祈念申し上げます。



「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

府中市長 高野 律雄

府中市は、北に浅間山や府中の森公園、南に多摩川の清流、中心部には ケヤキ並木や大國魂神社などを有する、豊かな自然と歴史が調和した美しいまちです。

本市では、この環境を次世代に引き継ぐため、化学物質排出把握管理促進法（PRTR 制度）や東京都環境確保条例に基づく化学物質の適正管理等に取り組んでおります。今後も、各種保全事業や水環境をはじめとした環境問題により一層取り組んでまいりる所存でございます。

貴会が長きにわたり水環境保全のため取り組んでこられた「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますようお願い申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

福生市長 加藤 育男

福生市は、市域の西側を流れる多摩川をはじめ、玉川上水や熊川分水、福生分水などの水路、緑の空間が連なる崖線や、湧水など、様々な緑と水に恵まれているまちです。これらの豊かな環境や景観、そして市街地に点在する公園、緑地は福生市の魅力として貴重な財産となっています。

崖線の斜面などから湧き出した水の一部は公園の池に利用され、子どもたちの遊び場となっています。市では湧水の保全のため定期的な水質調査を行い、湧水周辺の環境が適切に維持されるよう取り組んでおります。

また、毎年「環境フェスティバル」、「福生水辺の楽校」等、市民の皆さんに自然環境について考えていただく様々な催しを行っており、今後も皆さんと協働して環境保全に努めてまいりたいと考えております。石けん運動を通し、水環境を守る活動をされている貴会に敬意を表しますとともに、ますますの御活躍を御祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

文京区長 成澤 廣修

文京区は、都心にありながら由緒ある庭園や名所・旧跡等の多い、歴史と文化と緑に育まれたまちです。本区を流れる神田川は、流域に肥後細川庭園や湯島聖堂など区民に親しまれる歴史的資源が点在し、それを取り巻く一帯の緑とともに、多様な生物を育む風致地区として、緑あふれる空間を創出しています。

区では、文京区生物多様性地域戦略として「生きもの、ひと、くらしがつながり 豊かな文化を育むまち」をビジョンに掲げており、自然と共生した持続可能な社会の実現を目指して、施策を進めてまいります。

長年にわたる貴会の水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後の活動がより良好な水環境の創出につながることをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

町田市長 石阪 丈一

町田市は、市域のほぼ全域が多摩丘陵に位置しており、都心近郊にありながら、豊かな自然環境を有しています。鶴見川・境川源流域の自治体として、良好な河川環境を維持できるよう、市民の皆様や事業者・団体の方々とともに、様々な取り組みを進めています。環境にやさしいせっけんや洗剤の使用を推奨すること、そうした取り組みの1つです。

シャボン玉月間に際し、貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、水環境の保全、さらには未来の世代に美しい自然を残そうという活動の輪が、更に広がり、発展していくことを心からご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

三鷹市長 河村 孝

三鷹市は、野川、仙川、神田川が流れ、武蔵野の面影が残る雑木林や屋敷林、地場産野菜や果物などを育む都市農地、緑豊かな国分寺崖線など、緑と水に囲まれた豊かな自然のあるまちです。

本市は、令和7年3月に三鷹市環境基本計画2027を策定し、三鷹市がめざす環境像「循環・共生・協働のまち みたか」を実現する各施策を展開しております。それらの施策のうち、水環境をはじめとする環境問題については、地下水保全や水循環に取り組むこととし、より一層推進してまいります。

貴会の長年に渡る水環境の保全活動は、大変意義深く、そのご尽力に敬意を表します。今後も活動の輪が広がり、貴会が益々ご発展されますことを心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

瑞穂町長 山崎 栄

瑞穂町は、都心から西に40キロほどの狭山丘陵の西端の緑豊かな町です。狭山池を源流に街中を通り、多摩川に至る残堀川が流れています。

この残堀川は自然に配慮した改修が行われ、魚が泳ぎ、カワセミの営巣や、カルガモ親子が見られるなど、水辺環境への関心が高まっています。

残堀川の水源である狭山池は、狭山池公園として整備され、毎年5月上旬に「残堀川ふれあいイベント＆ウォーキング」が行われ、多くの人でにぎわいます。川の流れを見ながらのウォーキングや、池の周辺での催し物は、水辺環境に関心を寄せてもらう良い機会となっています。

結びに、水環境の保全に貢献されてきた貴会の「せっけん運動」に敬意を表し、今後のますますのご発展を心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

港区長 清家 愛

港区は、企業や商業施設などが集積し、多くの人が国内外から訪れる活気あふれる都市でありながら、豊かな緑やお台場の海、河川、運河などの多様な水環境を有する自然豊かなまちです。

めざす環境像を「多様な暮らし・活気・自然が調和する持続可能な都市みなと」と定め、環境に配慮した持続可能なまちづくりを進めています。

また、海、河川、運河の更なる水質改善に向けて、定期的な水質調査の実施や地域住民・企業との協働による海浜清掃を実施するとともに、お台場での海苔づくり体験や区内の大学と連携した運河学習など、環境保全に対する意識を高める取組を実施しています。

今後も皆様の活動がますます発展されることを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

武蔵野市長 小美濃 安弘

武蔵野市は東京都のほぼ中央に位置し、10.98 km²のコンパクトな市域に、緑豊かな住宅都市と都内有数の繁華街、多様な産業が集積・調和した、魅力の詰まったまちです。

当市では、地下水の涵養や湧水の保全等の健全な水循環を確保するため、雨水浸透施設等の設置を推進しています。また、近年注目されているグリーンインフラについては、雨水の地下浸透による健全な水循環の実現や浸水対策、良好な景観形成等の効果が期待されています。市内での導入事例はまだ少ないですが、普及に向けて先行自治体の導入状況や国等による技術指針、ガイドライン策定等の状況を注視しつつ、今後のグリーンインフラの普及に向けた仕組みづくりを進めていきます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

武蔵村山市長 山崎 泰大

武蔵村山市は、狭山丘陵の自然を背景に、多くの公園や観光施設が広がり、産業、自然、そして地域の伝統文化が調和したまちとして発展してきました。

市内を流れる残堀川と空堀川は地域の子どもたちや自然を愛する市民に親しまれており、水質調査を通じて水環境の保全に努めています。

当市の環境基本計画では、「緑と暮らしをみんなで育む住みよいまち」の実現を目指し、持続可能な社会の構築に向けた施策を推進しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表し、今後も活動の輪がより多くの方々へ広がることをご期待すると共に、7月のシャボン玉月間を通じ、環境への関心がさらに高まる機会となることを願っています。

「シャボン玉月間」に寄せて

目黒区長 青木 英二

目黒区を流れる目黒川は、区内に残された川面を眺めることができる貴重な場所で、都内でも有数の桜の名所であり、地域住民だけでなく世界中から観光客が訪れています。

区は、目黒区環境基本計画に基づき、自然環境の保全・みどりの創出と質の向上を目標に、河川環境の改善促進と水辺環境の保全に努めており、区民と連携した河川沿川の清掃や、区民が水辺に親しめる機会の提供、雨水の地下浸透の促進による水循環の保全を進めています。

人にも環境にも優しいせっけん利用を長年にわたり推進していただいていることに敬意を表しますとともに、活動の輪がますます広がっていくことを心よりご期待申し上げます。

神奈川県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

厚木市長 山口 貴裕

厚木市では、「みんなの生物多様性～生物多様性あつぎ戦略 2024-2030～」に基づき、豊かな自然環境を保全・回復し、次世代へ継承していく決意表明として昨年度に「ネイチャーポジティブ宣言」を行いました。ネイチャーポジティブとは、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させることと定義されています。

せっけんの使用を通して水の環境を守る「せっけん運動」は、「ネイチャーポジティブ宣言」にも通ずるものと考えています。

本運動が、環境に対する市民の意識を高めるために有意義な活動であると認識しており、長い期間にわたり取り組まれている貴会に敬意を表するとともに、本運動の輪が大きく広がることを御祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

綾瀬市長 橘川 佳彦

綾瀬市は神奈川県のほぼ中央に位置し、いくつかの中小河川が丘陵をぬうように流れ、カワセミやアユ、ホタルが見られる緑豊かな自然環境に包まれています。

当市の環境基本計画では「あやせの緑と水をみんなで育み、環境負荷のない暮らしを実践し、持続可能なまちづくりを進める」を基本テーマに掲げ、自然共生社会の実現など5つの環境の将来像を設定しております。これらの実現に向け、市民・市民団体・事業者・市が一体となり、健康で安全かつ快適な環境を享受するとともに、良好な環境を将来の世代に引き継ぎ、持続可能な社会を構築するための取り組みを進めていきます。

貴会の環境にやさしい「せっけん運動」は、水環境の保全活動として大変意義深いものであります。より多くの方々に、この活動の輪が広がりますことを心からお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

伊勢原市長 萩原 鉄也

伊勢原市は、恵まれた自然豊かなまちで、特に水環境は当市の貴重な資源となっています。

当市では、令和5年3月に策定した「第3次伊勢原市環境基本計画」において、河川の水質維持を図るため、水質汚濁の原因となる合成洗剤の使用抑制や環境にやさしく自然分解性の高い石けんの使用促進等の啓発を計画の取組事項として位置づけております。

目指す環境像である「自然の恵みをみんなでつなぐ持続可能なまち いせはら」の実現に向けて、石けんの普及啓発などを含めた環境保全に関する取組を着実に推進してまいります。

水環境保全をはじめとする貴会の長年の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が益々広まることを心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

海老名市長 内野 優

海老名市は、鉄道駅を中心に社会基盤整備が行われ、交通の利便性が高く市外からの転入者にも選ばれる魅力あふれるまちとして発展しています。また、海老名耕地と呼ばれる田園などの自然環境にも恵まれ、都市の中に自然が残る美しいまちとなっています。

当市では、昨年度、新たな環境問題に対応するために、環境基本計画の中間見直しを行い、市・市民・事業者の協働で、脱炭素社会の実現に向け、取り組んでいます。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、環境負荷の軽減や市民の環境配慮意識の向上に大変有意義な活動であり、長年の活動に敬意を表するとともに、今後も実り多いものとなりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大磯町長 池田 東一郎

大磯町は、緑豊かな高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しいなごさなど、豊かで美しい自然があり、多くの歴史的文化遺産も有しています。当町では、令和5年3月に「大磯町環境基本計画」を改定し、「みんなでつくる 人と自然が共生した持続可能なまち 大磯」を町の将来像として掲げています。そして、今年は町政のテーマを「町民まんなか引力年」とし、住民一人ひとりが、環境について学び、自分事として環境負荷を減らすライフスタイルを実現していくことで、そのライフスタイルに惹かれ、大磯町に住みたい、住み続けたいと思わせる「引力」を生み出すことに取り組んでいきます。

貴会の長年に渡る活動は、こうした私たち大磯町が目指す方向性と軌を一にしており、改めて敬意を表しますとともに、貴会の活動が益々ご発展されますことをお祈り申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

小田原市長 加藤 憲一

小田原市では、丹沢山地を主な水源とし足柄平野を貫流して相模湾に注ぎ込む「酒匂川」をはじめ、いくつもの河川が良好な水質を保ち、私たちの暮らしを支えています。

森里川海がひとつとなりとなった豊かな自然環境の恵みは、地場の産業をはじめ城下町としての長い歴史の中で特色ある文化を生み出しながら、人々の生活となりわいを育み、地域を発展させてきました。

第7次小田原市総合計画では、まちづくりの目標として「自然環境の恵みがあふれる小田原」を掲げ、合併処理浄化槽への転換促進、一般家庭による生活排水対策の啓発、公共施設におけるせっけん使用の励行など河川環境の保全を図るため各種施策を推進しています。

これからも、豊かな自然環境を育み、次の世代へと

受け継いでいくためには、市民の意識や取組が重要です。貴会が長年にわたり取り組まれているせっけん運動「シャボン玉月間」は、せっけんの使用を広く呼びかけ、水環境の保全に一人ひとりが関心を持ち、貢献するための大切な機会となっており感謝しております。改めて、貴会の長年のせっけん運動、シャボン玉月間の取組への御尽力に敬意を表しますとともに、今後の更なる活動の御発展を祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

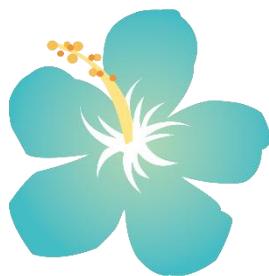
開成町長 山神 裕

開成町は、至るところに水路があり、5月にはホタルが飛んでいる様子を見ることができます。町は、今年、町政施行70年を迎え、この恵まれた自然環境を次世代へ引き継ぐため、自然環境に配慮したまちづくりに取り組んでいます。

また、令和7年3月に開成町環境基本計画を改定し、「いつまでも うるおいとせせらぎのあるまち かいせい」を目指す将来像として掲げています。

きれいな水環境を次世代に引き継ぐための取組の一つとして、開成町消費者の会が、廃食油を回収し、リサイクル石鹸をつくる活動をしており、町としてもその活動を支援しています。

貴会の長年に渡る活動に敬意を表すとともに、本活動の輪がますます広がることを心よりご期待申し上げます。



「シャボン玉月間」に寄せて

相模原市長 本村 賢太郎

神奈川県民の約6割の水がめとして重要な役割を担う5つの湖や、それを育む森林、相模川等の清流など、豊かな自然環境を有する相模原市は「都市と自然のベストミックス」が輝くまちです。

本市は、「市民と築く、地域循環共生都市さがみはら」を望ましい環境像に掲げて、水源を育み、恵み豊かな自然を次世代へ継承するために、水辺環境の保全や再生、美化活動、誰もが水に親しみやすい環境の創出などに取り組んでいます。

貴会の「せっけん運動」をはじめとする活動は、水環境保全に多大な貢献を果たすものであり、長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後のさらなるご発展を祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

座間市長 佐藤 弥斗

広大な相模野台地の南部に位置する座間市では、大地に降った雨が良質な地下水となります。この地下水を利用し、昭和30年1月に一部給水を開始した座間市水道事業は、令和7年1月に70周年を迎えました。良質な地下水を確保できますのも、貴会をはじめ、市民の皆様の環境保全活動の賜物であると存じ、心から感謝申し上げます。

本市では「座間市地下水保全基本計画」を策定し、地下水に関する計画的な管理と総合的な地下水保全施策を推進しているほか、地下水質については現状を把握するためのモニタリングを行っています。

引き続き、環境保全に向けた取り組みを進めてまいりますので、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますと共に、貴会のさらなる御発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

寒川町長 木村 俊雄

寒川町は、県の中央を流れる相模川やその支流の目久尻川、小出川の3つの河川が流れており、越の山のみどりなどに育まれた自然豊かな町です。

町では多様化する環境問題に対応していくため「環境と人が共生し、次世代まで良好な環境が受け継がれ“新化”するまち さむかわ」を望ましい環境像として環境基本計画を策定し、相模川美化キャンペーンを実施するなど、水環境の保全に向けた取り組みを進めております。

貴会の長年にわたる環境保全への活動に敬意を表しますとともに、シャボン玉月間を機に環境保全への理解や、「せっけん運動」の輪が一層広がりますよう、心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

茅ヶ崎市長 佐藤 光

茅ヶ崎市は、海、川、丘陵など、変化に富んだ魅力的な自然環境に恵まれたまちです。

本市では、この豊かな自然環境を守り、次世代に引き継ぐことができるよう、「持続可能な開発目標（SDGs）」を考慮し、市民・事業者・行政が一体となって、環境を意識した様々な取り組みを行っているところです。

未来の水環境を守るためには、一人ひとりが環境への意識を高め、小さな配慮や行動を積み重ねていくことが重要であると考えております。

貴会が長年にわたり取り組まれている「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、今後、更に活動の輪が広がり、環境に優しい暮らし方が一層浸透していくことを、心よりご祈念いたします。

石けんを使おう！「7月 はシャボン玉月間」に寄せて

中井町長 戸村 裕司

中井町は、県内でも稀な湧水による厳島湿生公園があり、水と緑に囲まれた自然が豊かな町で、水道水は100%地下水を水源としております。

こうした自然豊かな環境を将来にわたって守るため、町環境基本計画において「一人ひとりが主役となり未来へ繋ぐ環境づくり ～今 私たちにできること～」を基本目標に掲げております。

環境意識調査では、「地下水汚染の防止」や「川や湿地、用水路などの浄化」と河川等の水質に対する意識が高く、町民、事業者、行政が一体となりクリーンタウン運動や河川水質検査、水源林整備など水環境の保全に向けた取り組みを行っています。

今後も次世代にきれいな水環境を引き継いでいくために努めてまいります。

貴会の環境保全への活動の輪がさらに広がり、発展していくことを心よりご祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

二宮町長 村田 邦子

二宮町は、菜の花をはじめ四季折々の花が楽しめる吾妻山公園や、町の中心部を南北に流れる葛川を有し、緑と水に包まれた温暖な町です。

当町は、第3次二宮町環境基本計画に基づいた、緑や水辺など自然環境の保全に向けた取組を推進しておりますが、町制90周年を迎えた今年度は、大人だけでなく、こどもにも気候変動などの環境問題に真摯に向き合い、自然環境の保全について考える場となればと「こども版気候市民会議」と称した、全4回の環境体験プログラムを実施しております。

水環境の改善の重要性を深く認識され、長年にわたり水環境の保全に取り組まれている貴会に対して、心より敬意を表すとともに、更に活動の輪が広がり発展していくことをご祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

葉山町長 山梨 崇仁

葉山町では令和4年6月から「はやまエシカルアクション」の取り組みが始動しました。このプロジェクトは、自然環境・人や社会・地域を思いやったエシカルな活動を推進しており、町でもきれいな川の水を守るために公共下水道事業の推進及び事業区域外では合併処理浄化槽の普及に努めています。

「せっけん運動」は、町民一人ひとりが環境に配慮した活動について考える、まさにエシカルな行動を起こす素晴らしいきっかけになると考えています。これからもこの活動がますます発展されることを心より期待しています。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

平塚市長 落合 克宏

平塚市は、湘南の海に面しており、相模川や金目川などの河川、丘陵や里山、県下有数の田園地帯など、多様性に富んだ自然環境を有しています。

本市では、市環境基本計画に基づき、「地球にやさしい、自然にやさしい、人にやさしいまち ひらつか」を目指し、この自然環境の保全と再生に取り組んでいます。

貴会の「シャボン玉月間」は、石けんの利用促進を通じて環境負荷を軽減する意義深い活動であり、本市が目指す自然環境の保全・再生に通じるものがあります。

市民一人ひとりが環境への意識を高め、人や社会、地域、環境に配慮した選択を行うことで、豊かな環境が次世代に継承されることを願っています。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

藤沢市長 鈴木 恒夫

藤沢市の「江の島」と湘南海岸一帯は、江戸時代の浮世絵にも描かれるなど、風光明媚な景勝地として古くから親しまれています。美しく豊かな自然環境を後世に残すことは、まちづくりの重要なテーマであり、当市では「市政運営の総合指針2028」において「豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進」を重点施策として位置付けています。

めざす都市像である「郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～」を育むために、多様な主体とパートナーシップを組む中で、環境に係る各種施策を推進してまいります。

皆様の水環境を保全する活動が「シャボン玉月間」の取組により益々広がり、着実な積み重ねで地球を守る大きな成果となることを期待しています。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

松田町長 本山 博幸

松田町は、神奈川県西部に位置し、町域の約76%を森林が占め、酒匂川や川音川、中津川といった丹沢山系を源とする清らかな川が流れ、豊かな自然に恵まれている町です。

当町では、昨年度末に町民、事業者、行政が一体となって地球温暖化対策に取り組むため「地球温暖化対策実行計画・区域施策編」を策定し、2050年脱炭素社会の実現を目指し、省エネの取り組み、コンポストの無償配布によるごみの減量化や、ペットボトル圧縮機の無償配布による資源化などを実施しています。

貴会が長年継続されてきた普及啓発や広く環境に目を向けた活動に敬意を表しますと共に、今後ますます発展されますことを心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

南足柄市長 加藤 修平

天与の自然に恵まれた南足柄市の発展の源は「森林と水源」です。豊かで良質な水は、幾多の先祖、先人の皆様が森林を守り、水資源の保全に、尽くしてこられた南足柄市の大切な資源です。

当市は平成7年8月に「全国水源の森百選」に選定され、平成8年12月には環境基本条例を制定するなど、森と水のまちづくりを進めてきました。

今後も市民や事業者の皆様との連携と協力によって、本市の発展の礎である豊かな水資源を将来世代へ継承する取り組みを着実に推進してまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に対して改めて敬意を表します。合わせて、シャボン玉月間の活動を通じて、市民の環境問題への関心が一層高まり、皆様の活動の輪が益々広がることを、心からご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

山北町長 湯川 裕司

山北町は丹沢山麓の中心に位置し、町内には県民の水がめである三保ダム・丹沢湖があり、多くの森林と清流に恵まれた自然豊かな町です。

本町では、「自然と人が共に生きるまち」をテーマに第3次環境基本計画を策定し、神奈川の水源地として、酒匂川統一美化キャンペーン等の清掃活動を通して恵み豊かな水環境の保全に官民一体となり取り組んでいます。

今年で45年目を迎えられるせっけん運動は、水環境保全や美しい自然を次世代へ引き継ぐ活動であり、大変意義深いものと存じます。貴会のこれまでの活動に敬意を表しますとともに、より多くの方々に、この活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

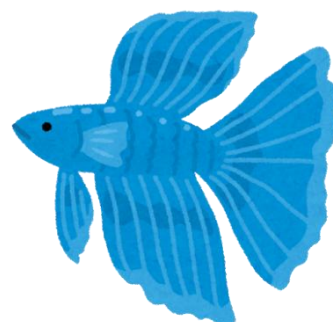
大和市長 古谷田 力

大和市は、24万5千人の市民が住む交通至便な都市であるとともに、東側に境川、西側に本市を水源とする引地川を抱える自然と調和したまちです。

本市では市民が幸せを感じられる「みんながつながる健幸都市」のまちづくりを目指しています。そのためには、豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくことが不可欠と考えております。

本市では、学校などの市の施設でも石けんを使用するとともに、市民や事業者にも広報誌を通じ、石けんが水環境の保全に果たす役割を伝え、石けんの使用を呼びかけています。

皆様の長年の活動に心から敬意を表するとともに、今後ますますの取組みの発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。



山梨県

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

甲斐市長 保坂 武

甲斐市は、北部に森林資源の豊富な山岳や丘陵地帯が広がっており、その一部は秩父多摩甲斐国立公園に含まれています。

平野部においても、釜無川や荒川などをはじめ、多くの河川と豊かな自然に恵まれたまちです。本市では、望ましい環境像を「自然と生活が調和した環境を築くまち」と決めました。

その実現のため、市民の皆様の協力のもと河川の清掃を実施し、水環境の状況を把握する目的として、河川、地下水等の水質検査を行っています。

今後とも、市民・事業者・市が共に連携、協力しながら、環境保全への取組を推進してまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、より一層活動の輪が広がることを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

甲府市長 樋口 雄一

甲府市は、富士山や八ヶ岳、南アルプスなどの山々に囲まれ、日本遺産に認定された御岳昇仙峡など、豊かな自然と清らかな水に恵まれたまちであります。

本市では、このかけがえのない自然を守り、育てるため、植樹活動を行うなど、未来を見据えた環境保全活動を努めるとともに、地球温暖化への対応として、次世代エネルギー「水素」をはじめとした、再生可能エネルギーの普及啓発などに取り組んでおります。

こうした中、日々の暮らしに身近な「せっけん運動」は、環境保全に加え、環境意識の高揚にもつながる素晴らしい活動でありますので、この取組を契機として、環境に配慮した明るい未来のまちづくりが推進されることを願っております。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

昭和町長 塩澤 浩

昭和町は、甲府盆地のほぼ中央に位置し、南に富士山、北に八ヶ岳連峰、西には南アルプスの山々を仰ぎ見ることができる、山梨県内で「一番小さな町」であり、また唯一「山が無い」市町村であります。

都市化が進む本町は、地下水と自然が豊かな町であり、かつては多くのホテルが乱舞するという幻想的な様子を見ることができ、甲府盆地の初夏の風物詩といわれるほどでした。

本町の町民憲章の一つに、「自然と調和した、美しい町をつくります」とあり、その実現に向け、これまでも緑地や河川などの環境保全や美化活動に努めており、引き続き、地域住民や行政が一体となった活動を推進いたします。

貴会の取り組みに対し、深く敬意を表するとともに、「せっけん運動」がさらに広がりを見せ、美しい地域づくりの推進につながるよう心から祈念いたします。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

中央市長 望月 智

中央市は、市名のとおりに山梨県のほぼ中心に位置します。平地部に広がる田園風景や山間地域の果樹畑など豊かな緑と四季折々の美しい自然環境に恵まれています。

本市では、第2次中央市環境基本計画において「快適で健やかに暮らせる持続可能な生活文化都市」を市のあるべき環境像として定め、市民、事業者、市がともに連携・協力しながら環境保全対策に関する取り組みを進めております。

貴会が長年にわたり取り組んできた「せっけん運動」は、水環境の保全において大変意義深いものであり、その活動に改めて敬意を表するとともに、今後も活動の輪がより一層広がり、大きく発展することをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

道志村長 長田 富也

道志村は、山梨県の東南端、神奈川県との県境にあり、関東に誇る清流道志川の源流域に属し、北側は道志山塊、南側は丹沢山塊と山々に囲まれた緑豊かな山村です。村の中央を流れる道志川は、かつて世界の船乗りたちに「赤道を越えても腐らない水」と賞賛された横浜市上水道の水源となっており、その水源を守る豊かな森林は村の総面積の9割以上を占め、そのうちの4割弱が横浜市水源涵養林で、現在も横浜市によって管理保全されています。

貴会の活動は、本村と横浜市が取り組む森林整備等による環境の保全活動と共通しておりますので、共に地域の水環境を守り後世に受け継ぐため、貴会の更なるご活躍を心からお祈り申し上げます。

「せっけんを使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

西桂町長 堀内 達也

西桂町は、古くから織物業が盛んで、染めから織りまで一貫した生産が行われており、そこには「美しい水」が必要でした。そのため、先人は富士の湧水、桂川の清流である、「美しい水」を守り続け、伝統産業として継承し、現在においてもネクタイ、スカーフ、洋傘などの生産にその技術が使われています。

現在、水資源の恩恵は、ミネラルウォーターや、サーモントラウトの陸上養殖など、食に関する分野も加わってきました。

当町にとって、「美しい水」資源を次世代に保全・継承していくことは町の産業を守るための至上命令として捉えております。

貴会の「せっけん運動」は環境保全活動として、長年にわたる活動に心から敬意を表しますとともに、これからも環境保全活動の輪が広がり、この活動の取組の輪が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

韮崎市長 内藤 久夫

韮崎市は、南アルプスユネスコエコパークに登録されている鳳凰三山など壮大な山々と、富士川水系の釜無川と塩川が南北を縦断し、その間に七里岩が台地を形成する変化に富んだ地形の恩恵を受け、豊かな水と自然環境に恵まれたまちです。

本市では「自然と共生する持続可能な美しいふるさと」を目指し、釜無川や塩川沿いなどで市民の皆さんと河川清掃活動やオオキンケイギクの駆除に取組み、環境保全への意識を高め、次世代へつながら持続可能な環境づくりを「チーム韮崎」一丸となって推進しております。

貴会が長年にわたり取組まれている「せっけん運動」の活動がさらに広がり、環境保護への意識向上につながることを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

笛吹市長 山下 政樹

笛吹市は、甲府盆地の中央からやや東に位置し、笛吹川によって運ばれた沖積平野と、金川、浅川といった大小河川による扇状地を有していることから、豊かな水環境と土壌で育てた桃やぶどう等の果樹栽培を基幹産業のひとつとしています。

本市では、持続可能な市の発展と、それを支える豊かで美しい自然環境を次世代に引き継ぐことを目指して、本市としてのSDGs推進の考え方を示した「笛吹市SDGs推進方針」を策定し、SDGs達成に向けた取組を進めています。

貴会が長年にわたり取り組んできた、水環境を保全する「せっけん運動」は、SDGsに関わる大変意義深いものであり、その活動に心から敬意を表するとともに、更なる御発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

富士川町長 望月 利樹

富士川町は、山梨県の南西部に位置し、町名の由来でもある一級河川富士川に沿って集落が発達してきました。櫛形山や源氏山などの2,000m級の山々がそびえ、それらを源とする戸川や大柳川などが町内を横断し、人々の生活を潤してきました。

町では、次世代につなぐ「環境にやさしい町」ゼロカーボン富士川を目指して、令和7年3月に「第2期富士川町地球温暖化対策実行計画」（区域施策編）を策定しました。今後も、町民・行政・事業者が連携して環境保全施策を推進してまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

富士河口湖町長 渡辺 英之

富士山の麓に位置し、4つの湖と青木ヶ原樹海を有する富士河口湖町は、国内外から年間を通して多くの観光客が訪れる、自然豊かなまちです。

本町では、世界に誇る豊かな自然環境を守り育むため、毎年5月に「万人の清掃活動」の日を設け、地域や事業者の皆様と連携した湖畔の環境保全活動を実施しております。また、プラスチックゴミなどの資源循環の高度化を目指し、毎月1日を「リサイクルの日」として定め、「プラスチック資源循環促進法」の周知とともに、3R運動の普及を推進しております。

今後も、かけがえのない豊かな自然環境を次世代へと引き継いでいくため、引き続き環境保全に取り組んでまいります。

結びに、長年にわたる貴会のご活動に心から敬意を表しますとともに、環境保全への関心が一層高まり、保全活動の輪がさらに広がりますことを、心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

富士吉田市長 堀内 茂

富士吉田市は、霊峰富士の麓に位置する高原都市であり、富士山がもたらす四季折々の美しい風景を感じ、豊かな自然と恵まれた環境に活かされ、発展してまいりました。

第3次富士吉田市環境基本計画では「ともに守り 未来につなごう 美しい富士の里」を本市が目指す環境の将来像と位置づけ、自然環境の保全等の各種事業に取り組んでおります。そして、現在の美しい景観をしっかりと守り、次世代にも継承をしていくため、日々奮闘しております。

こうした中、貴会には、長年にわたり環境に優しい活動にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、環境保全への取り組みの輪が、より一層広がることをご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

北杜市長 大柴 邦彦

北杜市は、甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳などの雄大な山々に囲まれ、清らかな水と四季折々の自然に恵まれたまちです。この美しい自然環境は、私たちの誇りであり、未来の世代へ引き継ぐべき大切な財産です。

市では、再生可能エネルギーの導入や森林資源の有効活用、学校や地域での環境教育など、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを積極的に進めています。

「せっけん運動」は、環境保護意識を高めるだけでなく、地域の絆を深める素晴らしい活動であります。貴会の長年にわたるこの活動に敬意を表しますとともに、多くの皆様に本活動が一層広がり、持続可能な社会への大きな成果へと繋がりますことを期待しております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

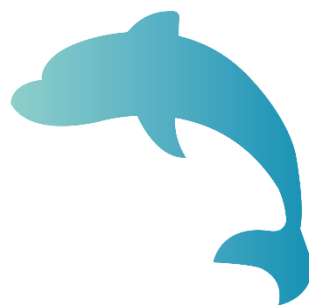
南アルプス市長 金丸 一元

南アルプス市は名峰北岳をはじめ、3,000m級の山々に囲まれたまちです。急峻な山々がもたらす雄大な自然には多様な生態系が息づき、人々も自然と共に暮らしています。

南アルプスの峰々がもたらす清らかな水は、全ての生き物に潤いを与え、基幹産業である果樹産業をはじめ、様々な産業や文化が発展してきました。

本市では「第三次南アルプス市総合計画」において「自然と共に、快適で住みよいまちの実現」を掲げ、水資源をはじめとする自然環境を保全するため、行政、市民、事業者それぞれの立場で環境配慮への取り組みを進めております。

貴会の活動に心から敬意を表するとともに、今後も活動の輪が大きく広がることをご祈念申し上げます。



愛知県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

尾張旭市長 柴田 浩

尾張旭市は、名古屋市近郊の活力ある住宅都市として発展してまいりました。都市機能が適度に充実している一方で、全国植樹祭の会場となった森林公園をはじめとする緑地のほか、矢田川河川敷や市内に点在する溜池周辺に豊かな水辺空間を有するなど、多様な動植物が息づく恵まれた環境を保持しています。地域では、市民が主体となる美化活動や自然保護活動が活発で、行政とも連携し、緑と水と生物多様性を守る様々な取組を支えていただいています。また、本市では、令和6年3月に策定した「第二次尾張旭市環境基本計画」により、水質保全等の環境関連施策を推進しており、「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」実現に向けて、市民・団体・事業者の皆様方と共に、鋭意取り組んでまいります。結びに、貴会の長年にわたる「せっけん運動」に深く敬意を表するとともに、本活動の益々のご発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

瀬戸市長 川本 雅之

瀬戸市は市域の約6割を森林が占めており、森林面積の約4割が自然公園法に基づく特別地域や県の保全地域といった保護された森林であるとともに、岩屋堂や定光寺などの自然観光資源も多く、豊かで貴重な自然環境を有しています。本市では、豊かな自然を次世代に引き継ぐべく、今年度に生物多様性地域戦略を策定予定であり、市民・事業者と連携した環境保全活動や環境保全への関心を高めるための情報発信を今後も取り組んでいきます。貴会の取り組まれている「せっけん運動」は身近な環境保全活動として大変意義深く、長年にわたる環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、より一層活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東郷町長 石橋 直季

東郷町は、愛知池や境川等の豊かな水資源に恵まれ、夏には町内の各所でヒメボタルを見ることができるなど、水と緑のあふれた自然豊かなまちです。本町では、河川水質の測定、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する啓発、小学生を対象とした水生生物調査など水環境の保全に取り組んでまいりました。また、公共下水道の整備を進め、下水道の普及率は83.08%（令和6年度3月末）に達し、かつては水質に汚濁の見られた境川においても、近年では水質の改善が見られます。これも、せっけんを入りに環境保全を考える貴会の活動と軌を一にするものと考えており、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表すとともに、今後もますます活動の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

豊明市長 小浮 正典

豊明市は、愛知県のほぼ中央部、名古屋市南東部に隣接する住宅都市です。名古屋市近郊といえども、緑豊かな自然環境が残り、特に市北部の二村山近くにある大狹間湿地では、8月にはサギソウやハッコウトシロバナ、9月にはシラタマホシクサが見ごろを迎えます。さらに県の天然記念物であり、夏に小さな赤い花を咲かせる食虫植物ナガバノイシモチソウが自生しており、学名は「ドロセラ・トヨアケシス・エム・ワタナベ」です。湿地もナガバノイシモチソウもきれいな水が環境保全に欠かせません。貴会の長年にわたる水質保全に向けた活動に深く感謝と敬意を表しますとともに、「せっけん運動」がSDGsへの市民の意識向上につながることを期待しております。この先もますます貴会の活動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

豊田市長 太田 稔彦

豊田市では「WE LOVE とよた」を合言葉に、豊かな自然と歴史、ものづくり文化など、たくさんの豊田市の魅力に改めて気づき、次の世代につなげていくための活動に取り組んでいます。その取組の一つに、川の魅力を知る「身近な水辺の環境意識向上プロジェクト」があります。「川しらべ」として、川の水のにおいや汚れなどの水質を調査し、川の景観や生き物など参加者の感覚で身近な川を評価します。この活動により、豊田市民一人ひとりの環境への意識を高め、環境配慮行動につなげていきます。貴会の活動は、水環境保全や市民の環境意識向上に寄与するもので、長年の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

長久手市長 佐藤 有美

長久手市は、市街化された都市と自然豊かな里山の両面を併せ持つまちです。東部地域には香流川をはじめ、里山や湿地などの豊かな自然が残っています。2005年には「自然の叡智」をテーマとした愛知万博が開催されたことから、その理念を継承し、環境に配慮したまちづくりを推進しています。2022年には「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロに向け取り組んでいます。今後も「長久手市環境基本計画」に則り、環境負荷を減らし持続可能な社会の形成に向けて、環境意識の定着を推進していきたいと考えています。貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がっていくことを心より祈念いたします。

「シャボン玉月間」によせて

日進市長 近藤 裕貴

日進市は大都市近郊に位置しながら、まちの中心部を流れる天白川流域には緑が広がる、自然と住環境が調和した住宅都市です。この豊かな自然を引き継ぐために、日進市環境基本計画に基づき環境まちづくりに関する様々な取組を行っており、市民の皆様とともに自然観察会や水生生物調査を実施しています。また、友好自治体である長野県木祖村において、「平成日進の森林」と名付けた森林の保全管理を行っており、水源地の森林を守り育てる活動に取り組んでおります。今後も水環境を含めた環境負荷の少ない地域社会の形成に努めてまいります。貴団体の長年にわたる環境保全の取組に敬意を表しますとともに、益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

みよし市長 小山 祐

みよし市は、三好池、境川に代表される水辺環境や緑豊かな自然環境に恵まれています。こうした自然環境を大切に保全し、良質な水環境の保全に向けた取り組みを重要な課題と捉え、自然観察会を開催するなど住民一人ひとりが環境への関心を高めていくための取り組みを行っています。

また、第2次みよし市環境基本計画において「循環・共生する持続可能なずっと住みたいまち」を将来像に掲げ、市民や事業者、行政が一体となって環境保全活動に取り組んでいます。

貴会の活動は、多くの皆様に水環境への関心を深めていただく大変有意義なものであり、さらなるご発展を心からお祈り申し上げます。

滋賀県

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

滋賀県知事 三日月 大造

滋賀県では1977年の淡水赤潮発生を機に、りんを含む合成洗剤をやめて粉せっけんを使う「石けん運動」が県民主体で始まりました。この運動と県民の思いが「琵琶湖条例」の制定に繋がったことは、本県の環境行政の歴史に残る出来事です。

昨年12月には、第79回国連総会において、滋賀県大津市で実施された第1回世界湖沼会議の開会日である8月27日が「世界湖沼の日」として制定されました。今後、滋賀県はこの日をきっかけとして、湖沼の重要性をさらに多くの方に知っていただき、琵琶湖と世界の湖沼の保全がさらに進むよう努めてまいります。

結びに、貴会の長年の活動に敬意を表すとともに、この活動の輪が一層広がることを御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

近江八幡市長 小西 理

近江八幡市は、琵琶湖唯一の有人島で最大の島でもある沖島、滋賀県最大の内湖である西の湖や、その周辺に重要文化的景観に指定されているヨシ群落地域を含む重要文化的景観（近江八幡の水郷）を有しています。

当市では令和4年3月に「近江八幡市第2次環境基本計画」を策定し、その中で『～自然との共生、歴史と文化を次世代につなぐ～ 近江八幡市 持続可能な「水・緑・くらし」』という目指すべき環境像を掲げており、先人達から引き継がれてきたこれらの自然環境を保全し未来につなぐため、行政、市民及び事業者の三者が一体となって、環境保全の取組を進めています。

また、令和6年10月から「近江八幡市ポイ捨ての禁止等に関する条例」を施行し、当市の風情ある街並みの維持にも努めています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取組に心から敬意を表し、環境保全への関心が高まり、保全活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大津市長 佐藤 健司

今年で発足45年の節目の年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

大津市は、比良・比叡といった山々から河川を通じて琵琶湖に至る豊かな水環境を有しており、先人たちがこれらの貴重な資源を守り活用しながら多様な歴史、文化を育むことで発展してきました。

本市では令和4年4月より「大津市環境基本計画（第3次）」を施行し、恵まれた自然環境を将来世代へ引き継いでいくため、市民、事業者、行政が一体となり環境保全活動に取り組んでおります。

長年にわたる貴団体の環境保全活動に敬意を表しますとともに、この取組がより多くの方々へと広がっていくことを御祈念申し上げます。

【石けん使おう！7月はシャボン玉月間】に寄せて

草津市長 橋川 涉

草津市は滋賀県南西部に位置し、湖岸から田園地・市街地へと平地が広がる東南部の丘陵地へとなだらかに続く地形であり、その先には湖南アルプスの山並みなど、美しい景観を楽しむことができます。

豊かな自然環境を未来へ引き継ぐため、本市では令和3年3月に「第3次草津市環境基本計画」を策定し、「人とひと 人と自然が織りなす 琵琶湖に開かれた環境文化都市 くさつ」を目指す環境像と掲げ、環境分野の取組の側面から経済・社会の課題についても取り組み、持続可能なまちづくりの実現に向けた取組を進めています。

貴会の長年にわたる取組に敬意を表しますとともに環境保全活動がより広がっていくことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

東近江市長 小椋 正清

東近江市は、鈴鹿の山々から琵琶湖まで、山地からなだらかな丘陵地や平野へと広がる、森・里・川・湖といった多様な姿を見せる自然豊かなまちです。これらの資源を持続的かつ有効に活用することにより豊かな生活と千年を超える歴史、文化、伝統が育まれてきました。

本市では、きれいな水や川、森林、農地などの豊かな自然資本をベースに、環境・経済・社会を統合的に捉え、「市民が豊かさを感じる循環共生型社会」の構築に取り組んでおります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後の取組を通じて環境保全への関心と活動の輪が大きく広がっていくことを御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

日野町長 堀江 和博

日野町は、霊峰綿向山を東に望み、町花である「ほんしゃくなげ」をはじめとする、多くの動植物が息づく自然豊かなまちです。

本町では、令和7年5月に「日野町環境基本計画」を策定し、「人と自然と社会に笑顔ひろがる“三方よし”のふるさと日野」を目指すべき環境の将来像として掲げ、先人たちから受け継いできた豊かな自然と歴史文化をより良い状態で新たな世代へと継承していくため、日野町エコライフ推進協議会を中心に、多様な主体との連携協働による環境保全の取組を進めています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動の取り組みに敬意を表しますとともに、この運動がより多くの人々へと広がっていくことを心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

守山市長 森中 高史

本市では、市民・事業者・行政が連携・協働しながら、琵琶湖の水質改善や環境保全、外来生物の駆除などに長年取り組んできた結果、赤野井湾の水質は改善し、ホンモロコの産卵やびわ湖パールが復活しています。平成29年10月に市民からの提案により、「守山市環境学習都市宣言」を制定し、令和6年3月には「第3次守山市環境基本計画」の策定と併せてゼロカーボンシティ宣言を表明し、ほたるが住まう水辺環境の保護をはじめとした環境施策の推進、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいるところです。

長年にわたる貴団体の水環境への取り組みに敬意を表しますとともに、多くの方々の環境保全への関心がますます高まることを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

野洲市長 櫻本 直樹

野洲市は、滋賀県湖南地域に位置し、京阪神圏のベッドタウンでありながらも、昔の田園風景が多く残る自然豊かなまちです。

本市では、「里山から琵琶湖へ、豊かな自然とくらしが調和するまち やす」を環境未来像とし、豊かな自然環境と良好な生活環境を持続することに努めています。また、本市では熱心に環境活動をされている市民・団体、企業が多く、積極的な活動が今日の豊かな自然環境に繋がっております。

最後に、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、環境保全の輪が今後も広がり続けることを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

栗東市長 竹村 健

栗東市は、交通の要衝として古くから発展する一方で、近畿の水がめ「琵琶湖」の上流部に位置し、市の南半分においてその水源となる豊かな森林を育んでいます。

この貴重な「琵琶湖」を守るため、県域で水質の改善を図ってきました。

今後も引き続き、令和5年3月策定の第3次栗東市環境基本計画に基づき、琵琶湖の水質を保全するため、森林の適正な管理、生活排水などの処理対策、市街地や農地の面源負荷対策などの流域の視点に立った継続的な取り組みを進めてまいります。

結びに、貴会の水環境保全への取り組みに敬意を表し、益々の発展を心からお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

竜王町長 西田 秀治

竜王町は日野川とその支流である祖父川や善光寺川、惣四郎川等が流れ、美しい田園風景の広がる自然豊かな町です。

当町では、町内団体と連携しての河川の美化清掃活動や廃食油回収等の活動を住民の皆さまや企業、行政が力を合わせて行い、環境保全に取り組んできました。

近年、地球温暖化や生物多様性の減少などの様々な環境問題が取り上げられていますが、自然豊かで美しい竜王町を次世代に引き継いでいけるよう、今後も竜王町が一丸となって環境保全活動に取り組めるよう尽力してまいります。

貴会が長年取り組まれてきた活動に敬意を表しますとともに、今後益々活動の輪が広がっていくことを心より祈念いたします。

大阪府

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

和泉市長 辻 宏康

和泉市は、大阪府の南部に位置し、和泉山脈を源流とした槇尾川や松尾川、父鬼川等の河川が流れ、「いずみ」の名に相応しい清らかな水源に恵まれています。

このような環境の中、本市では、「和泉市生活排水対策推進計画」に基づく生活排水対策の推進をはじめ、河川の水質調査や水辺の自然観察会を通じて水質保全に努めています。

また本年度からは、一部市内スーパーのご協力のもと、家庭からの廃食油を回収し、持続可能な航空燃料（SAF）として再使用する取り組みを始めるなど、リサイクルの推進及び循環型社会の構築に向けた施策を進めています。

長年にわたる貴会の活動に対して敬意を表し、今後のご発展とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

泉大津市長 南出 賢一

泉大津市は、和泉山脈に源を発する槇尾川、大津川の下流域に位置し、広がりのある空間を持つ大津川は、古くから市民の憩いの場として親しまれてきました。

本市では、適正な生活排水処理の啓発、下水道の普及促進、工場排水規制などに取り組んでまいりました。これらの継続的な取り組みの結果、近年、大津川の水質は改善され、鮎の遡上、コウノトリの飛来、海ではイルカが見られるなど、豊かな水辺環境も戻ってまいりました。

この環境を次世代に引き継ぐため、「みんなの手できれいなまちづくり」をめざし、「いずみおおつプラスチックごみゼロ宣言」を行っております。私たち一人ひとりの努力は小さくても、連携し協力し合うことで大きな力となり、持続可能なまちづくりの確かな礎になるものと信じております。

結びに、貴会が、長年推進されてきた「せっけん運動」に深く敬意を表するとともに、更なる環境保全活動がより広がっていくことを心からお祈り申し上げます。

せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

泉佐野市長 千代松 大耕

泉佐野市は大阪南部の泉州地域に位置し、市の南東部は金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈を擁しており、和歌山県と接しています。本市は「泉佐野市環境美化推進条例」を施行して、生活環境の保全や都市環境の美化に取り組んできました。また、昨今の気候変動の現状を市民や事業者の皆様と共有し、ともに地球温暖化対策に取り組むため令和6年度には地球温暖化対策実行計画区域施策編の策定等を行いました。

今後環境保全に一丸となって取り組み、限りある資源を大切に参ります。

長年にわたり「せっけん運動」により水環境の保全に取り組んでこられた貴会の活動に敬意を表しますとともに、益々のご発展をお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

茨木市長 福岡 洋一

茨木市は、大阪府の北部に位置し、緑豊かな山並みと水系を有するまちであり、市内には、動植物の豊かな生息・生育環境が育まれています。

令和7年3月に、本市がめざす環境像（目標）「次世代（未来）へつなぐ・みんなで共創する環境のまち」の実現に向けて、第3次茨木市環境基本計画を策定しました。この計画に基づき、今後10年間において、脱炭素、自然環境、資源循環、生活環境の4つの基本施策について、より一層の取組を進めてまいります。

本市では、河川体験型環境教育や生物多様性等「環

境」に関する取組を進める各種団体と協働した講座やイベントを毎年開催しており、今後も、多様な主体と連携・協力して、市民の環境意識の向上に努めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、その活動の輪が今後さらに広がりますことを願っております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

大阪狭山市長 古川 照人

本市には、市のシンボルである『狭山池』をはじめ、他にも多くのため池が点在し、加えて西除川や東除川などの河川も流れており、「水面のある風景」は、そこに暮らす私たちにとってとりわけ自然なものであり、最も身近な風景の一つといえます。

そのような中、長きにわたり多くの市民の皆様が水を大切にすることを育まれ、狭山池クリーンアクションをはじめとする市民主体による水辺空間の清掃活動などに精力的に取り組んでいただき、本市の誇るべき豊かな水資源を守り、後世に繋いでくださっています。

今後も、貴団体の運動の輪がより一層広がりますよう心から祈念いたしますとともに、本市においても環境保全の取組みをますます進めてまいります。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

貝塚市長 酒井 了

貝塚市は、国の天然記念物に指定されているブナ林を有する和泉葛城山を源流に市の中心部に近木川が流れ、日本の白砂青松百選にも選ばれた二色の浜がある水と緑に恵まれたまちであり、令和元年6月には「かいつかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、プラスチックごみの削減に努めています。

令和8年11月には「第45回全国豊かな海づくり大会」が大阪府で初めて開催され、水産資源の保護・管理と海や河川の環境保全の大切さを広く国民に伝える貴会の活動に、益々注目が集まると考えられます。

今後も大切な水環境を守る為貴会が取り組まれている活動に敬意を表するとともに、ますます活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

柏原市長 富宅 正浩

柏原市は、大阪の東部で、奈良県との府県境に位置しております。市域の3分の2が山間部を占めており、また、中央部には大和川が縦断しており、自然豊かな街であります。

この大和川は、今から三百年以上も前に、何度も多く洪水を起こしていたので、今の柏原市役所付近で、付け替え工事が行われました。その大和川の付け替え工事を学ぶため、毎年校外学習で、多くの小学生が訪れています。今後も、多くの人に大和川に訪れていただき、学んでいただくためにも、より豊かな自然を育めるような取り組みを推進していきたいと考えております。

このような中で、貴会が長年にわたり、せっけん運動に取り組まれてきたことに敬意を表しますとともに、益々のご発展を心から期待しております。

シャボン玉月間によせて

交野市長 山本 景

交野市は、大阪の北東部に位置し、市域の約半分は山地で自然に恵まれたまちです。市の中心部を流れる河川「天野川」や星にまつわる地名があります。

本市では、第2次交野市環境基本計画に基づきまして温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指しております。この計画は「脱炭素社会」「資源循環」「自然共生」「生活環境」の4つのビジョンを掲げ、自然豊かな“かたの”を次世代に引き継ぎ、未来への基盤をつくることとしており、今年度は特に脱炭素化推進事業債を活用した公共施設12施設の照明LED化改修工事により省エネ化を推進いたします。

結びとなりますが、貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

門真市長 宮本 一孝

本市は大阪府の北東部に位置し、かつては水路が張り巡らされた門真れんこんが特産の穀倉地帯でした。現在は優れた交通利便性を活かしたものづくりのまちとして、また商業の発達した魅力ある定住都市として、更なるまちづくりに努めております。

現在、四方を海に囲まれた夢洲を会場に、大阪・関西万博が開催中です。本市庁舎にもマイボトル用給水機を設置し、海洋ゴミの多くを占めるプラスチックごみを削減し、美しい自然を次世代へ引き継ぐよう努めております。

長年にわたり環境に配慮した石けんを使用し水環境を保全する活動をされている貴会の活動に敬意を表しますとともに、その活動の輪がより一層広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

河南町長 森田 昌吾

河南町は、金剛・葛城の山並みと田園風景が広がる豊かな緑に恵まれ、水越川や梅川などの清らかな流れに育まれた、潤いと安らぎのある自然豊かなまちです。

本町では、これまで「美しい河南町基本条例」「美しい河南町環境条例」などを制定し、住民や事業者の方々と共に、自然環境の保全に努めてまいりました。また、将来にわたり持続可能な循環型社会、脱炭素社会を形成するため、ゼロカーボンシティ宣言や脱炭素ロードマップを策定し、住民の皆さんの環境への意識の向上に取り組んでおります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動を通して、住民の皆さんが地球環境の保全に関心を持ち、その活動の輪が広がりますよう心から祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉」によせて

河内長野市長 西野 修平

河内長野市は、市域の約7割を森林が占める自然豊かなまちであり、水源地としてのきれいな水と澄んだ空気は、本市の最大の魅力です。

本市では、豊かな自然を次世代に引き継ぐため環境基本条例を制定するとともに「さわやかで健康な生活が営める安全、かつ安心なまちづくり」等を基本目標とした「環境基本計画」を策定し、その一環として「河川一斉清掃」や廃食用油の回収およびそれらを用いた「石けん・キャンドル作り教室」の実施により、水環境の保全および啓発に努め、その取り組みを継続していきたいと考えております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

岸和田市長 佐野 英利

岸和田市は大阪府の南部に位置し、古くから城下町として栄え、海あり、山あり、川ありと豊かな自然に恵まれた伝統ある美しいまちです。

本市では、環境の大切さについて知っていただくための環境に関わる企画展を開催するなど、啓発活動に取り組んでいます。また、市民の皆さまと協働で、川をきれいにするための清掃美化活動、川や海を豊かにするための里山再生にも積極的に取り組んでおります。

今後も、水環境の改善のため、市民活動の支援や啓発活動を充実させてまいりたいと考えています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、運動の輪がさらに広がり、発展されまことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

熊取町長 藤原 敏司

熊取町では、これまで『くまとりプラスチックごみゼロ宣言』及び『熊取町気候非常事態宣言』を発出し、国が推進する3Rに「Refuse（リフーズ）：ごみの発生回避」を加えた4Rの推進に注力しております。また、『熊取町エコプロジェクト』を策定し、使い捨てペットボトルやレジ袋の削減を図ることで不用意に捨てられたプラスチックごみが河川や海に流れこむことを防ぎ、海と陸の豊かさを守る取り組みを進めております。

貴会の長年にわたる水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、「せっけん運動」を機に一人でも多くの方が、環境問題について感心を持ち、自分たちの環境は、自分たちで守るという意識づけのきっかけにつながることを、期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

四條畷市長 銭谷 翔

四條畷市は大阪府の北東部、奈良県との県境に位置し、北生駒山系の豊かな緑と青く澄んだ室池の豊かな水源にも恵まれた自然豊かなまちです。

本市では、生物の生息生育環境や人と自然のふれあいの場となる河川やため池の水辺環境の保全をめざし、市民、事業者、行政が協働しながら取り組みを進めております。

とりわけ、地域の水路清掃活動の支援や市民と協働で取り組む廃油回収、親子でみる自然散策と水辺の生物観察会の開催等を通し、水環境への意識向上に努めています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、今後益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

島本町長 山田 紘平

島本町は、大阪府と京都府の府境に位置し、緑濃い天王山と清らかな水無瀬川が織りなす自然豊かなまちです。町域は、一級河川である水無瀬川の流域から成り立っており、水無瀬川周辺は、住民のやすらぎと憩いの場として親しまれており、ホテルなど水生生物もみられます。また、大阪府内で唯一、環境庁（現環境省）認定の「名水百選」に選ばれた「離宮の水」があります。

本町では、この豊かな自然環境を後世に引き継ぎ、環境問題に対する意識を高めるため、第二期島本町環境基本計画に基づき、公共施設における緑のカーテンの取組や生ごみをはじめとしたごみ減量化の取組として、住民向け支援策である生ごみ処理機等購入補助事業を行うなど、住民・事業者・行政の協働により様々な環境保全活動を行っております。

貴会の活動を通して水環境への関心が高まり、環境保全活動がより広がっていることを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

吹田市長 後藤 圭二

吹田市は、北摂山系の豊かな自然と都会の利便性を併せ持ち、多くの方に選ばれるまちとして発展を続けています。

本市の環境施策は、日本人が大切にしている「もったいない精神」を基本理念としています。本年4月からは、家庭から出る廃食用油を持続可能な航空燃料（SAF）に再利用するプロジェクトに参画しています。誰もが利用する可能性のある航空燃料への再利用は、脱炭素への貢献を身近に実感できる取組です。今後もこのような施策を通して、持続可能な循環型社会の形成や脱炭素社会の実現を目指してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全の取組に敬意を表しますとともに、より一層環境保全への関心が高まりますことを祈念申し上げます。

令和7年度「シャボン玉月間」に寄せて

摂津市長 嶋野 浩一郎

摂津市には淀川や安威川など多くの一級河川が流れ、水辺がつくり出す豊かな自然が市民の憩いの空間となるなど、昔から河川の恩恵を受けてまいりました。

この豊かな自然や水質を守るため、本市では家庭の廃食油を回収し、粉石鹼を作るという資源リサイクルに取り組んでいます。また、環境にやさしい取組をした市民に「せつつエコポイント」を付与し、記念品と交換できるなど、環境に係る様々な啓発活動を行っています。今後も、環境や水質保全に対する市民の意識を高める取り組みを続け、地球環境のさらなる保全に寄与するまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の今後益々のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

泉南市長 山本 優真

関西国際空港の対岸に位置する泉南市は、都市としての利便性と水と緑などの自然と調和がとれたまちづくりを推進しています。

タリサザンビーチでは過去4回、ウミガメの産卵とふ化が確認されています。再びウミガメがやってくるきれいな海と砂浜づくりをめざす啓蒙活動の一環として、イベント「ウミガメを待つビーチ」を開催し、ビーチクリーン活動を実施しています。

美しい自然を次世代へと引き継ぐことは、今を生きる我々の使命であり、今後も環境にやさしいまちづくりに努めます。

本年で45年目を迎えられました貴会の長年の取組に敬意を表しますとともに、今後一層せっけん運動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

太子町長 田中 祐二

太子町は、大阪府の東南部に位置し、二上山など金剛生駒紀泉国定公園となる山々や、梅鉢御陵と呼ばれる敏達・用明・推古・孝徳天皇陵と聖徳太子御廟を有する豊かな自然と歴史に織り成されたまちです。

近年、国内でも気候変動の影響が顕著化しておりますが、本町では、この豊かな自然環境を守り育んでいくために、令和5年2月に「太子町脱炭素ロードマップ」の策定を行いました。今後も自然環境の保全に対する取組を住民の皆様と手を携えながら進めてまいりたいと考えております。

結びに、貴会の長年にわたる取組に敬意を表しますとともに今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

大東市長 逢坂 伸子

大東市は、大阪府の東部に位置し、金剛生駒山系の一部をなす飯盛山が広がり、寝屋川や恩智川など多くの河川が市内に流れる、自然あふれる地域です。

これらのかけがえのない財産を守り、未来の子どもたちに豊かな自然を残すため、本市では、地域住民や大学と連携し、GPSの活用による河川でのごみの流れの調査、市所有のボートによる河川での清掃活動等を通じて水環境の保全に取り組んでいます。

結びに、貴会の永年にわたる水環境の保全活動に敬意を表するとともに、今後とも貴会の活動が益々広がり、ご発展されますことを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

高石市長 畑中 政昭

高石市は、大阪府南部に位置し、面積は 11.30 平方キロメートルとコンパクトで閑静なベッドタウンであり、古くは万葉集の歌にも詠まれた高師浜という自然の砂浜が今も 100m ほど残っています。

本市では、海洋プラスチック汚染問題への理解を深め、高師浜の砂浜において市民一体となり清掃活動を行ったり、ワークショップ等も行い、砂浜に関するアンケート調査を行うなど、「砂浜活性化プロジェクト」として市民の皆様の環境意識の向上を図っています。

最後に、水環境保全に対する貴会の長年に渡る活動に敬意を表しますとともに、今後も貴会の活動が広がり、一人でも多くの方が環境への意識を高めるきっかけとなることをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

田尻町長 山本 一男

田尻町は大阪府の南部に位置し、降水量が少なく温暖な人口約 8,500 人の町です。

市街化区域内の下水道整備が完了し、現在は、汚水をできるだけ河川に流すことのないように、水洗化の更なる促進を図り、水質の保全に努めています。

本町では、「ごみのないまち環境美化の精神があふれたまちたじり」の実現に向けて、住民参加型の清掃活動「まちピカ運動」を実施しています。また、今年度はボランティア用ごみ袋の作製を行い、住民や各種団体、事業者の皆さんが日常的に美化運動に取り組める環境を整備してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、この活動の輪がより一層広がることを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

忠岡町長 是枝 綾子

繊維産業の町として栄えてきた忠岡町は、「日本一小さなまち」として、現在はスローガンに「つながる つどう 人を育む 日本一小さなまち ただおか」を掲げてまちづくりを進めております。

新型コロナウイルス感染症については、5 類感染症に位置づけられ、普段の生活を取り戻してきたことにより終息したかのように思われますが、インフルエンザと同様に感染は続いており、油断することはできません。年間を通して感染症の予防のため、手洗いを忘れない習慣付けることが感染症の予防に有効であることから、せっけんでの手洗いは以前から推奨されているところであります。

また、本町では「打ち水」「みどりのカーテン」など省エネ意識の啓発を行っており、次世代の子どもたちに住みよい町を残していくため、各種環境保全活動を推進してまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、未来へつながる環境運動の輪がより一層発展されますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

千早赤阪村長 菊井 佳宏

千早赤阪村は、府内最高点を誇る「金剛山」と南北朝の武将「楠木正成公」生誕の地として神社や史跡などが点在する豊かな自然と歴史、文化に抱かれた「大阪府唯一の村」です。

金剛山などを源とする水を利用した水稻栽培や新鮮な野菜作りが行われており、先人たちが守り育ててきたこの恵み豊かな環境を将来の世代に引き継いでいくため、「金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例」を制定し、豊かな自然の保全・創造を負担が進めることで、環境への負担が少ない“自然と共生する住みよいむら”を目指しています。

貴会の「せっけん運動」の活動は環境保護に貢献するものであり、長年にわたる取り組みに敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がより一層広がりますよう心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

豊能町長 上浦 登

豊能町は、大阪府の北部に位置し、都市近郊でありながら、清らかな河川、豊かな里山や棚田などに恵まれた四季折々の自然を楽しめる町です。

本町では、こうした恵み豊かな環境を次世代へ引き継ぐため、豊能町総合まちづくり計画を策定し、「自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの」を将来像に掲げ、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

今後も、一人ひとりが環境に配慮した行動を選択できるよう、住民の皆さまと手を携えながら自然に優しいまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の長きにわたる環境保全活動へのご尽力に心から敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

せっけんを使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

富田林市長 吉村 善美

富田林市は、南河内の中心に位置し、古くから栄え発展してきました。市の中心部には石川が流れ、現在でも貴重な文化財が多く発掘されるなど、歴史と自然に恵まれた美しい景観を誇る街です。

本市では、環境美化活動の一環として毎年「石川大清掃」を開催し、地域住民や企業の皆様と協力し、石川の環境美化に努めると共に、デコ活や循環型社会を推進し、「SDGs 未来都市」として、社会・経済・環境などまち全体の「健康」づくりに取り組んでいるところです。

貴会の、長年にわたる「せっけん運動」を通じた水質保全活動に敬意を表しますと共に、美しい水辺や豊かな自然環境を守り育む活動への理解が広がりますことを心から祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月 はシャボン玉月間」メッセージ

寝屋川市長 広瀬 慶輔

寝屋川市は、市名の由来でもある一級河川「寝屋川」が市内中央を流れ、自然と調和するまちです。

その一級河川「寝屋川」を始めとする水辺が人々の癒しや潤いの空間となるよう、市民ボランティアや事業者の方々が毎年春と秋の2回、「クリーンリバー作戦」と題打って、河川清掃、ごみ拾いなどを行っています。

今後も、市民の皆様と協働して水環境の整備、保全に取り組み、環境に配慮した自然豊かなまちづくりを推進して参ります。

結びになりましたが、貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意と感謝の意を表しますとともに、せっけん運動ネットワーク及び生活クラブ生活協同組合大阪の今後ますますの御発展を御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

羽曳野市長 山入端 創

羽曳野市は、世界遺産と日本遺産を有し、食材の都としても知られる魅力あふれるまちです。源頼朝の祖先・河内源氏発祥の地であり、壺井八幡宮や日本最古の八幡宮である誉田八幡宮など歴史的文化財も豊富です。当市のシャインマスカットやイチジクは、ふるさと納税の返礼品としても高い人気を得ています。

本市では、独自の取り組みとして、「住民」と「行政」共同で水路等の清掃活動を実施し、地域課題を市民と協働し解決しています。今後も環境美化活動を継続し、生活環境保全の向上により一層推進してまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後益々活動の輪が広がりますよう心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東大阪市長 野田 義和

東大阪は、モノづくりのまちとして発展してきた一方で、市域のどこからでも望める生駒山地や、恩智川・第二寝屋川・寝屋川といった市内を流れる大小の河川など多くの自然も有しており、これら自然環境の保全・整備に努めてまいりました。

この豊かな自然を次世代に引き継ぐべく、令和5年3月に改定した東大阪第3次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）のもと、「2050（令和32）年温室効果ガス排出実質ゼロ」という新たな削減目標の実現へ向け、地球温暖化対策への更なる取り組みを進めてまいります。

結びに、長年にわたる貴会の環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、貴会のより一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

藤井寺市長 岡田 一樹

藤井寺市は、市域が約9km²と非常にコンパクトなまちですが、北に大和川、東に石川が流れ、水資源に恵まれたまちです。

本市では、大切な自然環境を次世代に引き継ぐため、下水道の整備や市民参加による河川清掃活動「大和川・石川クリーン作戦」、小学生に向けた環境体験学習「ヤゴ救出大作戦」の実施など、水環境の保全や市民の意識高揚にかかる取り組みを行っております。

貴会の活動もまた、環境保全の観点から大変意義深いものであり、長きにわたって取り組んでおられることに敬意を表しますとともに、今後ますます「せっけん運動」の輪が広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

枚方市長 伏見 隆

枚方市は大阪、京都、奈良の中間に位置し、西には豊かな水の流れを持つ淀川が流れ、東には生駒山系に繋がる緑に溢れた里山が広がるなど、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

こうした美しい自然を守るためには、一人一人の環境保全の意識や行動が大切だと考えています。本市では小・中学校等で枚方の河川の水質状況を紹介するほか、市内イベントで生活排水対策を周知しています。

今後も、市民、市民団体、事業者の皆様と連携、協力し、環境保全活動に取り組んでまいります。

「せっけん運動」を通じた貴会の長年にわたる取り組みに対し深く敬意を表しますとともに、この運動をきっかけに水質保全への関心が一層高まることをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」寄稿文

松原市長 澤井 宏文

松原市は大阪府の中南部に位置し、市域のほとんどが平坦地で、生活に便利なまちとして発展してきました。また、令和7年2月には市制施行70周年を迎え、さらなる安心・安全なまちづくりを進めているところです。

災害発生時、水は命をつなぐ大切なものですが、本市では水道基幹管路の耐震化について、全国トップとなる100%を達成するなど、「災害に負けないまちづくり」の充実を図るとともに、「松原市 ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、環境教育や啓発活動を推進し、きれいな水環境を守るための取組を進めております。

結びに、貴会の「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

岬町長 田代 堯

大阪府の最南端に位置する岬町は、夕日百選の海と緑眩しい山々の豊かな自然に恵まれた美しい町です。本年も「環境美化行動の日」を実施し、全町住民が一斉に身近な環境の清掃活動を行いました。また、昨年度には「岬町地球温暖化対策実行計画」を改定し、環境負荷の軽減に取り組んでいるところでございます。

本町の宝である美しい海をはじめとする豊かな自然環境を守るため、地域住民をはじめ多くの方々が清掃活動に精励されています。今後とも「輝くまち」を創造し、住民協働による地域活性の取り組みを推進してまいります。

本年で45年目を迎えられた貴会の水環境保全活動に敬意を表しますとともに、美しい自然を未来に引き継ぐための活動が、今後益々発展されますことを心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

守口市長 瀬野 憲一

守口市は、大阪平野を貫流する淀川の左岸に位置しており、貴重な自然環境が享受できる水辺空間の淀川河川公園があります。

本市では、市民の方々に環境保全に関する意識を持っていただけるよう、淀川環境学習会やごみ拾いウォーク等のイベントを事業者と連携して開催しています。さらに、令和7年2月に「もりぐちゼロカーボンシティ宣言」をおこない、2050年までに市内の温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことを表明しました。今後も脱炭素・循環型社会の構築と良好な環境の保全に向けた取組を推進してまいります。

結びに、貴ネットワークの長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

八尾市長 大松 桂右

八尾市は大阪府の東部に位置し、市内には多くの河川や水路が流れるなど、豊かな自然に恵まれた地域です。近年の河川の水質については環境基準を達成した状態が続いています。

本市では、昨今大きな社会問題となっている海洋プラスチックごみの一因である河道内のごみ問題に対して、大阪府や周辺の自治体とも協力しながら、清掃や啓発など地域一帯でごみ削減に向けた取組を進めているところです。

今後も様々な環境施策を推進し、より良い未来のために尽力してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

貴団体の長年にわたる水環境の保全に向けた取組みに敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。



奈良県

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

橿原市長 亀田 忠彦

橿原市は、奈良盆地のほぼ中央に位置し、古代からの歴史と文化が息づくまちです。市内には、飛鳥川や曽我川などの河川が流れ、豊かな水と緑が調和した風景が広がっています。

令和8年2月11日に市政執行70周年を迎える本市では、世界遺産登録を目指す取組や花いっぱい運動などを通じて、魅力あるまちづくりを進めるとともに、豊かな自然環境を守るため、ごみの適正処理や美化活動を推進し、地域と協力して河川清掃などにも取り組んでいます。

日々小さな実践の積み重ねが、後世に美しい自然を引き継ぐ大切な一歩になると考えています。

貴会の長年にわたる水環境保全への真摯な取組に心より敬意を表するとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」メッセージ寄稿

葛城市長 阿古 和彦

葛城市は、奈良県北西部に位置し、金剛、葛城、二上西部の山並みが悠々と広がる、自然が美しい地です。本市では、これから先の未来を生きる子どもたちへ豊かな地球環境を残すため、地域から世界の脱炭素化に貢献する気概を持ち、令和3年12月、「2050年までに本市の二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に取り組む」ことを宣言しました。このような豊かな自然を守っていくことに留まらず、今後は気候変動対策にもますます力をいれ、自然との共生が叶う、さらに住みよいまちづくりに尽力してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる取組みに敬意を表しますとともに今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて

天理市長 並河 健

本市には大和川並びにその支流が多数存在し、その1つ1つが大和川水系を通じて海へと繋がっています。その一つに天理市役所の前を流れる布留川が存在し、大和川へと合流します。

例年5月には、市民・事業者・行政が一体となり布留川一斉清掃が行われます。「川は、町の人々の心を映す鏡」という思いの元この活動が始まり、今回で23回目を迎えました。回を重ねるごとに水辺環境が改善され、やがてホタルが確認されるようになりました。布留川清掃後の6月にはホタルの観察会が開催され、市役所付近においてホタルの姿が確認され、今後も水辺環境の保全に取り組んでいきます。

貴会の活動は、多くの皆様に水環境への関心を深めていただく大変有意義なものであり、さらなるご発展を心からお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

奈良市長 仲川 げん

奈良市は、佐保川や白砂川などの河川をはじめ、豊かな自然に恵まれた環境の中で、人と自然が共にある暮らしを育んできました。現在も、学校での環境学習の推進や、生ごみの資源化に加え、使用済みペットボトルを再資源化し、新たなボトルとして再利用する「水平リサイクル」の取り組みなど、循環型社会の実現に向けた活動を進めています。

貴会が長年続けてこられた「せっけん運動」は、暮らしの中から環境意識を高めていく、まさに市民ぐるみの取り組みの先駆けであると感じております。地域に根ざした着実な活動に、改めて敬意を表するとともに、これからも持続可能な未来の実現に向けて共に歩みを進めてまいりたいと存じます。

兵庫県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

兵庫県知事 齋藤 元彦

兵庫県では、「将来につなぐ兵庫の自然の恵み」をスローガンに、多様な主体との連携・協働により、環境を起点とした新たな価値を創造することとしています。

このうち、「豊かで美しいひょうごの里海」の実現に向けては、ブルーカーボン生態系の保全・再生・創出や、海ごみ対策、瀬戸内海の栄養塩類の管理などの取組を進めており、とりわけ、生産量が全国トップクラスである養殖ノリのブルーカーボンについては、2年間の検討を経て、クレジットの認証を目指しているところです。

暮らしに身近な「せっけん」をきっかけに、様々な分野の環境保全を目指す貴会の活動の輪が、さらに大きく広がりますことを期待しています。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

明石市長 丸谷 聡子

明石市は万葉の古より詠まれてきた明石海峡を望み、ビーチスポーツでも賑わう大蔵海岸など、人々と里海・里地・里山が織りなす豊かな環境を、長年にわたり、みんなで育んできました。

SDGs 未来安心都市・明石として、私たちの大切な自然を次代につなぐ「ネイチャーポジティブ」「ゼロ・カーボンあかし」「ゼロ・ウェイストあかし」の『あかしサステナブルスリー』を推進しています。

これからも皆さんとの対話と共創を重ねながら、人にも自然にもやさしい笑顔あふれるまちづくりを進めてまいります。

持続可能な社会を共に創り、生活者の視点から水環境の保全活動に取り組む貴会の活動が、ますます発展されますことを心よりご祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

芦屋市長 高島 峻輔

芦屋市は、阪神間の都市部に位置しながらも自然を身近に感じることができる市です。市域を南北に流れる芦屋川と宮川が、山とまちと海をつないでおり、水と緑が一体となった自然空間にはコケ類やラン類、両生類、ホタルなど多様な動植物の生育環境が守られています。

本市では、自然共生・脱炭素・資源循環について、市民・事業者や団体・行政が共に学び、共に創り上げるための計画として、令和7年3月に第4次芦屋市環境計画を策定しました。芦屋市の環境の素晴らしさに親しみながら、市民の皆さまとこの環境を次の世代に引き継いでいきます。

貴会の環境保護活動に深く敬意を表すとともに、益々のご活躍を心より祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

尼崎市長 松本 眞

尼崎市は、戦後、工業都市として急速に発展してきた一方、工場排水による水質汚濁など、深刻な公害問題に直面し、環境改善のために市民・事業者・行政が連携し粘り強く取組を進めてきた歴史があります。

そして今、尼崎運河では、パドルボードやカヌーといったウォータースポーツや運河クルーズなど、様々な形で市民が水に親しむ姿が見られるまでに水環境は改善されてきました。

今後も、市民や事業者の皆様とともに「環境と調和して暮らし、働くまち」を目指し取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、より一層活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

シャボン玉月間によせて**伊丹市長 中田 慎也**

伊丹市は東部に猪名川、西部に武庫川という大きな川が市内を流れ、昆陽池公園や 伊丹緑地等の自然緑地が整備された水と緑豊かなまちです。市民と協働した保全活動により、市内ではアユの遡上やオオサンショウウオ、ホタル、アオバズクが見られ、コウノトリも飛来する等の生物多様性に恵まれた環境が構築されました。

気候変動が自然環境へ及ぼす影響が危惧されるなか、本市ではゼロカーボンシティを宣言し、「体験型環境啓発イベント」や「飯南町、阪南市と連携した地域循環共生事業」等様々な施策を推進しています。貴会せっけん運動の長年にわたる水環境保全に対する意識醸成への貢献に敬意を表し、ますますのご発展を祈念いたしております。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて**猪名川町長 岡本 信司**

猪名川町は、一級河川猪名川の源があり、緑豊かな山林に生まれ、阪神間のベッドタウンとして発展しながら、周囲の自然環境と調和を図ってきました。住民の方々も自然環境に強い関心をお持ちなのが、本町の大きな特徴の一つであり、それが町の魅力を形成しています。

豊かな自然環境を守っていくためには、私たち一人ひとりが環境に関心を持ち続け、継続的に行動することが重要です。そのような中で、貴会の環境に優しいせっけんを広める運動は、大変意義深いものと考えております。

貴会の活動を通じて環境保全への取り組みの輪が広がることを心より祈念申し上げます。私たち一人ひとりの行動が未来を形作ります。持続可能な地域づくりに向けて、これからもともに取り組んでまいりましょう。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」に寄せて**加古川市長 岡田 康裕**

加古川市は、一級河川「加古川」をはじめ、北部の豊かな緑、南部の播磨灘や数多くのため池など、水資源に恵まれたまちです。水とともに暮らしてきた私たちは、次代へこの豊かな環境を保全し引き継いでいく使命があります。

本市の環境基本計画では「うるおいとやすらぎのある環境を育む」を市が目指す姿の1つとして設定しています。もとより目指す未来は行政の力だけで実現するものではなく、様々な市民、団体、事業者などが協働して取り組んでいく必要があるなかで、貴会の取り組まれる水環境保全の活動は大変意義のあるものと考えております。その活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて**川西市長 越田 謙治郎**

川西市は、兵庫県南東部に位置し、南北に貫くように猪名川が流れています。北部には、一庫ダム、知明湖、「日本一の里山」といわれる黒川周辺の里山、中部には清和源氏発祥の地として有名な多田神社、南部には弥生時代の暮らしを物語る加茂遺跡など豊かな自然に囲まれた歴史と伝統のあるまちです。

本市では、自然と人とが共生するまちを将来の世代へと引き継いでいくため、「第3次川西市環境基本計画」を策定し、「市民」「事業者」「行政」が一体となって環境の保全に取り組んでおります。

貴会の「せっけん運動」における「消費者が自らの暮らしを見直し、美しい自然を未来世代へ引き継げるよう活動していきたい」という思いの込められた活動は、非常に意義深い活動であると認識しております。貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

神戸市長 久元 喜造

神戸市は大都市でありながら、瀬戸内海と六甲山の豊かな自然環境から多くの恵みを楽しむことができます。

この恵まれた環境を持続可能なものにしていくためには、地球温暖化対策、ごみの減量・資源化、生物多様性、環境保全に対する取組が不可欠です。

近年、瀬戸内海におけるのりの色落ちや漁獲高の減少等が課題になっています。本市では、「豊かな里海づくり」を実現するため、兵庫県をはじめ周辺自治体と連携して栄養塩類（全窒素）の供給量を増加する取組を進め、次世代にしっかり引き継いでいきたいと考えています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表するとともに、その活動が益々広がることを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

三田市長 田村 克也

三田市には、武庫川をはじめ多くの川が流れ、市の中心には千丈寺湖があり、豊かな水資源を有しています。

近年、気候変動の影響などで地球環境への関心が高まってきており、当市では令和4年度から「第5次三田市総合計画」がスタートし、次の時代にも輝く三田市を目指しています。市民・市内事業者・市が共に環境問題に取り組み、三田市の豊かな水資源をはじめとする自然環境を次の世代につないでいけたらと思っています。

貴会の水環境の保全に向けた取り組みが、水環境保全への意識を高め、シャボン玉月間の活動を通して、一層「せっけん運動ネットワーク」の輪が広がることを祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

高砂市長 都倉 達殊

高砂市は、兵庫県内最大の加古川の下流と播磨灘に面しており、その水利は優れた景観、肥沃な土地となり、大きな恩恵を受けてきました。

本市では、未来へより良い環境をともにつくるため、ゼロカーボンを推進しており、水の日に合わせて市庁舎のブルーライトアップの実施や、大規模海浜清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」など、豊かな水環境を保ち、住みやすい生活環境を次世代に引き継ぐための事業や啓発活動を、市民・事業者とともに取り組んでおります。

貴会の手洗い活動や美しい自然を未来世代へ引き継ぐ活動に敬意を表しますとともに、潤いと安心な暮らしがあるまちづくりのため、活動の輪がますます広がりますことを心からご祈念いたします。

2025年シャボン玉月間によせて

宝塚市長 森 臨太郎

宝塚市は、兵庫県南東部に位置しており、里地里山が広がる北部地域と、六甲山系や長尾山系に囲まれた南部の市街地からなる、豊かな自然に恵まれたまちです。

本市を流れる逆瀬川では、特定外来種の駆除活動、市内事業者との共同で「ホタル観賞会」、また生態系の調査として市民参加の「水辺のいきもの探検」などを開催しております。

今後も、市民の皆様と協力し、生物多様性を守り、自然豊かな環境、良質な水辺環境の保全に努めてまいります。

環境保全や、SDGsの目標達成に向けての活動を実践してこられた貴会に敬意を表しますとともに、貴会の活動が今後ますます発展されますことを心より祈念いたします。

「シャボン玉月間に寄せて」

西宮市長 石井 登志郎

西宮市は夙川の桜並木や緑豊かな六甲の山並み、また砂浜の残る甲子園浜や香櫨園浜など多くの自然を有しております。

この恵まれた自然環境を守るために、平成15年、全国に先駆けて「環境学習都市宣言」を行い、より良い地球環境を目指して、今日まで環境学習の施策を進めてまいりました。

また本市は今年市制施行100周年を迎えました。先代から引き継いだ豊かな自然を次の100年、そしてこの先も維持・継承していくために、PRTR法を踏まえ、今後も多様な主体とのパートナーシップを通じ、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が広がり、大きな成果を得られますことをお祈り申し上げます。

岡山県

「せっけん使おう！シャボン玉月間」に寄せて

赤磐市長 前田 正之

赤磐市は、岡山県南東部に位置しており、岡山県内三大河川の一つ吉井川が流れ、「肥沃な大地」と瀬戸内海特有の「温暖な気候」、「豊かな日照量」という気温と湿度が安定している地域です。

市内ではこの豊かな気候を利用し、果樹栽培やワイン、酒造りが盛んに行われています。

この恵まれた自然環境を守り、次世代に引き継ぐため、今後も海や河川の環境美化活動、食品ロス削減やごみの分別による資源循環などによる環境保全活動を実施し、また、公共下水道等整備を推進し、水質の保全に努めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる『せっけん運動』を通しての取組みに敬意を表しますとともに、今後の皆様方の活動の輪がさらに広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

三木市長 仲田 一彦

三木市は、兵庫県の南東に位置し、加古川の支流、美囊川が中央部を南西に流れ、美囊川周辺には平野部が広がり、それを囲むなだらかな丘陵地と台地で構成された緑豊かな自然に恵まれているまちです。

本市では、三木市環境総合計画において、「地域での環境保全活動の促進」を施策と掲げており、自然体験型のイベントや希少種の保全など、環境保全団体と連携しながら自然とふれあいの場の創出による生物多様性とのつながりを意識した取組を進めています。

「せっけん運動」を通して、環境保全を推進している貴会の活動に敬意を表するとともに、この活動を通じて多くの方々に環境保全への関心がますます高まることを心からお祈り申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

浅口市長 栗山 康彦

浅口市は、北の遙照山系から南の瀬戸内海まで多様であり、気候は温暖小雨で過ごしやすく自然に恵まれた地域です。

本市では、市内にある海岸の清掃及び漁業者が回収した海底ごみの回収を行う「海ごみクリーンアップ事業」、河川の水質状況を把握するために「市内24箇所水質検査」、市民、事業者、行政で構成される「浅口市廃棄物減量推進審議会の開催」など、市民、事業者、行政が連携して環境保全活動に取り組んでいます。

貴団体の、「せっけん運動」に敬意を表するとともに、運動のさらなる発展を心より祈念いたします。

「石けん使おう！ 7 月はシャボン玉月間」へのメッセージ

岡山市長 大森 雅夫

岡山市は、吉備高原に連なる北部の丘陵地から旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ南部の平野部まで、多様な自然と豊かな水環境を有する水と緑に恵まれたまちです。

本市では、自然と共生し、環境への負荷が小さい、持続可能なまちづくりを目指し、水辺環境の保全について考える「水辺教室」、市民や団体等による河川清掃などの自主的な環境保全活動をサポートする「岡山市環境パートナーシップ事業」など、市民、事業者、行政が連携して環境保全に取り組んでいます。

貴団体が長年にわたり取り組まれている「せっけん運動」を通じた水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が広がり、この取組がさらに発展されることを祈念いたします。

「石けん使おう！ 7 月はシャボン玉月間」に寄せて

鏡野町長 瀬島 栄史

鏡野町は、岡山県北部に位置し、岡山県三大河川の一つである吉井川の源流があり、奥津溪は紅葉の名所として広く知られています。また、奥津湖では水上アクティビティとして SUP やカヤックを楽しむことができ、人気を博しています。その他にも、町内各地で溪流釣りなどを楽しむことができます。

この豊かな水環境を守り、次世代へ継承するためにも、ごみの減量化や 3R に取り組み、環境保全に努めているところです。

長年にわたり水環境を保全する運動に取り組まれている貴会の活動に敬意を表しますとともに、豊かな自然を守っていくため、今後益々活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「シャボン玉月間に寄せて」

笠岡市長 栗尾 典子

笠岡市は、瀬戸内海に面し、風光明媚でありながら日本遺産に認定されている石材産業を有する笠岡諸島、国指定天然記念物のカブトガニ繁殖地があるなど、自然と歴史文化が調和した魅力的な自然環境を有しております。

本市では、この豊かな自然環境を保全し、SDG s の目標の一つである「住み続けられるまちづくり」を目指すとともに、かけがえのない豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐために、第 3 次笠岡市環境基本計画を策定し、自然豊かで安心して暮らせるまち“かさおか”を望ましい環境像として、各種施策を市民や事業者と一体となって取り組んでいるところであります。

長年にわたり貴会が取り組まれております水環境の保全活動に敬意を表するとともに、今後の更なるご活躍を祈念申し上げます。

「石けん使おう！ 7 月はシャボン玉月間」へのメッセージ

吉備中央町長 山本 雅則

吉備中央町は岡山県の真ん中に位置し、へその町と称され、ブッポウソウを町のシンボルとした自然豊かな町です。

初夏には、ゲンジボタルとヘイケボタルが飛び交い、なかでも豊岡川では、ひときわ多くのホタルが川面を乱舞し、幻想的な光景を見せてくれます。また、5 月から 7 月にかけては鮮やかな青い羽が特徴で、「森の宝石」とも呼ばれるブッポウソウが飛来し、観察することができます。

本町では、ホタルやブッポウソウなどが生息することの豊かな自然環境を次の世代へ引き継いでいくため、環境保全に取り組んでいるところです。

貴会の活動に対し心から敬意を表しますとともに、石けん運動の益々のご発展を願い、メッセージとさせていただきます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

里庄町長 加藤 泰久

里庄町は岡山県南西部に位置し、緑あふれる自然豊かな町で、古くから交通の要衝として経済・文化の交流があり、時代の流れとともに姿を変えながら発展してきました。多くの自治体で人口減少が進行している中、人口1万人台を20年以上維持しています。

本町では、下水道整備・合併浄化槽等の普及促進による環境保全への取り組みを行っています。

貴団体が「せっけん運動」を通じた長年にわたる水環境の保全活動に取り組まれていることに心より敬意を表しますとともに、今後一層、取組の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

瀬戸内市長 黒石 健太郎

瀬戸内市の南東部、牛窓地域周辺の海はその美しさから、「日本のエーゲ海」と呼ばれています。そしてその美しい海は、多様な海洋生物の生息地となっています。

本市では、その豊かな自然環境を守るため、市民の皆さまに海岸清掃にご協力いただき、市民と行政が協力しながら水質の保全に努めています。また、市民団体が廃食用油を再利用した石けんを作り、古紙回収のお礼としてお渡ししています。これからも次世代を担う子どもたちをはじめ市民の皆さまと共に、環境保全の取組を推進してまいります。

これまでの貴団体の活動に敬意を表しますとともに、今後も「せっけん運動」の活動の輪がより一層広がりますようご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

総社市長 片岡 総一

総社市は、岡山県南に位置しており、市の中心部を岡山三大河川の一つである高梁川が流れています。本市は、高梁川とその支流の豊富な水の恩恵にあずかっております。

私たち一人ひとりが、「水」という限りある資源に対し、真摯に向きあい今できることを本気で考える時だと思います。豊かな自然を次世代に残し、ホタルが飛び交う美しい景観を守っていくために、河川の清掃活動や水辺を活用した環境学習の開催、身近にできる生活排水対策の啓発など、水環境の保全に取り組んでいるところです。豊かな水環境を次世代へ引き継ぐことは私達の使命であり、重大な責務だと思っています。

貴団体が「せっけん運動」を通じ、長年、水環境の保全活動に取り組まれていることに心より敬意を表しますとともに、今後さらに取組の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

高梁市長 石田 芳生

高梁市は、岡山県の中西部に位置し、山に囲まれた自然豊かな地域です。岡山県の三大河川の一つである高梁川が中央部を南北に流れており、清流で取れる鮎は非常に美味しいと評判です。

こうした豊かな自然を守り、後世に繋いでいくために、水質汚濁等の公害の防止対策を推進しており、水質調査を毎年実施しています。また、地域一斉に清掃活動を行うなど、海ごみ対策や環境保全に努めています。今後も、限りある資源を大切にするという認識を深め、地域住民とともに環境にやさしい、きれいなまちづくりを目指してまいります。

結びに、貴団体の活動に深く敬意を表すとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

津山市長 谷口 圭三

津山市は、岡山県北東部に位置し、北に中国山地、南に吉備高原に囲まれ、東西に岡山県三大河川のひとつ、吉井川が流れる、自然豊かな地域です。

毎年6月に吉井川流域を中心に行われる河川清掃では、河川敷の美化を通じて、より豊かな水環境の実現に向けた活動を続けており、今年は約1,500人の住民の皆様にご参加いただきました。

また小学生を対象とした「水の学校」などの自然体験学習を通し、地域環境保全だけでなく、海洋環境保全への意識を高める教育にも力を入れています。

長年、豊かで美しい環境を未来へ繋ぐため活動されている貴団体に敬意を表するとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますよう心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

早島町長 佐藤 博文

早島町は岡山県の南中央部に位置し、瀬戸中央自動車道が南北に、国道2号が東西に走っており、その立地環境から岡山・倉敷のベッドタウンとして発展してきました。

また、南部には、干拓地の田園風景が広がっており、温暖な気候と豊かな自然に包まれた住みやすい町です。本町では、この豊かな自然環境を守り次世代に引き継ぐため、海ごみ学習講座の開催や児島湖流域クリーンウォーキングの実施など、水環境の保全に取り組んでいます。

貴団体が「せっけん運動」を通じて水環境の保全活動に取り組まれていることに敬意を表しますとともに、今後さらに活動の輪が広がることを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」によせて

備前市長 長崎 信行

備前市は、岡山県の南東に位置し、島々に囲まれた水資源豊かな土地です。その豊かな水資源を守るために地元の関係者を中心に、幼魚などが集まる海のゆりかごとしての役割を果たすアマモ場再生活動を約40年以上前から地道に取り組んでおり、12ヘクタールまで減少していたアマモ場が、約250ヘクタールまで回復しています。

貴会の推奨するせっけんによる手洗いは、地球環境・生活環境保全に大変有意義であり、「あなたの選択で未来が変わる～始めようせっけん生活～」の合言葉のもと、この取り組みが広がっていくことを願っています。

最後に貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「石けん使おう！7月 はシャボン玉月間」活動によせて

真庭市長 太田 昇

真庭市は岡山県北部に位置し、北は鳥取県に接しています。広大な市域は南北約50km、東西約30kmに及び、岡山県内で最も広大な自治体です。市内を蒜山高原を源流とする旭川が流れ、約8割が森林に覆われています。豊かな自然と歴史遺産が広がり、多彩な資源を有しています。真庭市はこの豊かな自然環境を守り、未来へつなげるため、「SDGs 未来杜市真庭」「ゼロカーボンシティまにわ」宣言を掲げ、市民、事業者、行政が環境保全活動に積極的に取り組んでいます。これまでの貴団体の活動に敬意を表しますとともに、今後の「せっけん運動」の取り組みがより一層広がりますよう祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

美咲町長 青野 高陽

美咲町は、岡山県の中央部からやや北に位置し、岡山三大河川のうちの旭川、吉井川が流れ、二上山をはじめとする山間地には、日本の棚田百選に選ばれている大坪和西と小山の棚田が広がっている自然豊かな町です。

美咲町では、「こどもの笑顔は みんなの幸せ」をキャッチフレーズに、まちを挙げて子育て支援を高めています。この子供たちの未来に、美しい自然環境を引き継いでいくため、ごみ減量化や3Rを推進し、環境保全に取り組んでいます。また、瀬戸内海のごみ問題にも積極的に取り組むため、旭川と吉井川へのプラごみ流入抑制に努めてまいります。

貴団体の「せっけん運動」の取り組みがより一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

美作市長 萩原 誠司

美作市は、岡山県北東部の東は兵庫県、北は鳥取県との県境に位置します。市北部には、氷ノ山後山那岐山国定公園に指定されている後山があり、後山から湧き出るわき水は市を南北に流れる吉野川に注がれています。

市の大半が山林に囲まれた中山間地域であり、この恵まれた環境を守るため、下水道は、市内ほぼすべての地域で普及し、河川環境の保全に努めています。ごみ問題にも積極的に取り組み、資源ごみは20種類以上の分別を市民にお願いし、環境に対する意識の向上に努めています。

貴団体の「せっけん運動」には深く敬意を表すとともに、環境保全の取り組みがますます広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

和気町長 太田 啓補

和気町は岡山県南東部に位置する、水資源に恵まれた地域です。吉井川、金剛川など、豊潤な環境を持っており、それらを生かして、水稻や野菜、果樹の生産も盛んに行われています。

農業活動を一層活発にするには綺麗な水が欠かせません。和気町では毎年、町内を流れる河川の一斉清掃を実施し、町民全体で水質保全、環境美化を図り、きれいな生活用水・農業用水が利用できるよう努め、豊かな水資源の維持に取り組んでいます。

長年にわたり水環境保全に取り組まれている貴団体に深く敬意を表しますとともに、これからの更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。



広島県

シャボン玉月間によせて

呉市長 新原 芳明

呉市は、市域に島々が多く点在し、広島県内の瀬戸内海国立公園の陸地部面積の4割強を占める等、多島美の創る優れた景観や歴史的風土に恵まれた海洋都市の面を持ちます。

生物生息環境では、マイヅルテンナンショウやオキナグサなど、希少な動植物が生息していますが、生息環境の変化等に伴う絶滅が危惧されているなど、水環境に関する課題もあり、令和5年3月に策定いたしました第3次呉市環境基本計画においても、水環境の保全に積極的に取り組むこととしております。

貴組合が長年にわたり尽力されておられる水環境の保全活動は非常に心強く、深く敬意を表するものでございます。

今後とも、貴組合の活動が更に発展するよう御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」応援メッセージ

廿日市市長 松本 太郎

廿日市市は、北は中国山地、南は穏やかな瀬戸内海に囲まれた自然豊かなまちです。特に世界遺産を擁する宮島は、原生林の残る自然豊かな島であり、絶滅危惧種ミヤジマトンボの生息する一部湿地は、ラムサール条約に登録されています。

市では、「海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち」を目指し、小学生向け水辺・里山教室や親子環境講座など、環境保全活動に継続して取り組んでおります。

貴会の「せっけん運動」は、水環境を守るために実践できる身近な環境保全活動として、大変意義深い活動であると考えます。長年にわたる御尽力に敬意を表しますとともに、今後ますます「せっけん運動」の輪が広がる事を願っております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

東広島市長 高垣 廣徳

東広島市は、緑溢れる山々から瀬戸内海まで豊かな自然環境に恵まれております。

また、その豊かな自然からもたらされる地下水の恩恵を受け、日本有数の銘醸地としても知られています。

この豊かな自然を未来に引き継ぐため、「市民一人ひとりがふるさとの環境をまもり・はぐくみ・つたえるまち」を目指し、公共下水道の整備や合併処理浄化槽設置を推進するほか、環境学習や出前講座といった啓発活動など、市民・事業者・関係団体等と連携し、環境保全活動に取り組んでいます。

貴組合の長年にわたる環境保全活動へのご尽力に対して深く敬意を表しますとともに、今後益々、「せっけん運動」の活動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

広島市長 松井 一實

広島市は、太田川河口デルタを六つの川が流れ、瀬戸内海に注いでおり、市民が気軽に水辺に親しむことができる、「水の都ひろしま」と呼ばれています。

本市では、令和3年3月に「第3次広島市環境基本計画」を策定し、環境の保全及び創造において目指すべき都市の姿である「将来にわたって、豊かな水と緑に恵まれ、かつ、快適な都市生活を享受することができるまち」の実現を目指し、水質汚濁等の状況の監視、生活排水対策や水質浄化の推進など、水環境の保全に取り組んでいます。

こうした中、貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後、シャボン玉月間を始めとした活動の輪が更に広がりますことを祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

府中町長 寺尾 光司

府中町は、広島市に囲まれた特徴のある形態のまちです。コンパクトな町域に、人口約5万2千人と密度の高い市街地が広がり、自動車メーカーの本社や大型商業施設があるほか、北部には豊かな水と緑に恵まれた水分峡森林公園があり自然を満喫することもでき、住みやすさが高く評価されているまちです。

本町では、これらの豊かな自然を守り、次世代に継承していくため、ゼロカーボンシティの実現を目指し、地球温暖化対策や環境保全活動などの取り組みを進めております。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の活動の輪がさらに広がることを祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

三原市長 岡田 吉弘

三原市は、広島県の中央東部に位置し、瀬戸内海に面した温暖な気候の中、海・山・川が調和する自然豊かなまちです。

本市では、令和4年3月に「三原市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、令和6年10月には「三原市地球温暖化対策実行計画」を策定し、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロをめざすとともに、次世代を担う子どもたちが地域の自然環境にふれる「水辺・海辺教室」を毎年開催するなど、水質保全の大切さを伝える取組を行っています。

長年にわたる貴会の「せっけん運動」による環境保全活動に敬意を表しますとともに、本活動の輪がさらに広がっていくことを心より祈念申し上げます。

山口県

「シャボン玉月間」によせて

岩国市長 福田 良彦

岩国市は、豊かな山林に育まれた清流が市内各所を縦横に流れ、この恵みの水が長きにわたり地域の発展を支えてきました。水辺には多様な生物が息づき、とりわけオオサンショウウオは豊かな生態系の象徴として、市民に親しまれております。

この貴重な自然環境を次世代へ確実に継承するため、本年5月にゼロカーボンシティ宣言を行い、脱炭素社会の実現に向けた決意を表明いたしました。

このような中、貴会の傘下団体におかれましては、毎年6月に実施する「岩国環境フェスタ」において、せっけん水での植物栽培実験等を通じ、市民の皆様、特に子供達の環境意識の向上に御貢献を賜っておりますことに、深く感謝いたします。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、環境保全への取組がますます発展していくことを心から祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

宇部市長 篠崎 圭二

宇部市は山口県の南西部に位置する工業都市のイメージがありますが、瀬戸内海に面し、北部には豊かな自然を有しています。本市は、「生物多様性保全活動」や「親と子の水辺の教室」など、水環境の保全に向けた様々な取組に力を注いでおり、今年3月14日には市内施設「里山ビオトープ二俣瀬」が、県内で初めて環境省から自然共生サイトとして認定を受けました。

「せっけん」の活用は、本市の目指す環境にやさしいまちづくりにもつながっていくものと考えています。長年取り組んでおられる貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、この活動の輪がさらに広がっていくことをお祈りいたします。

「シャボン玉月間」によせて

上関町長 西 哲夫

上関町は、山口県の南東部に位置し、瀬戸内海国立公園区域に含まれており、瀬戸内海の穏やかな海と島しょ部で形成された、自然豊かで美しい景観に恵まれた山口県最南端の町です。

室津半島と長島に挟まれた上関海峡は、海上交通の要衝として、潮待ち、風待ちの港が形成され、古くから海と深い繋がりのある町です。町のキャッチフレーズである「花咲く海の町上関」を実現するために、海岸清掃などの環境保全活動を引き続き行い、美しい海をはじめとする豊かな自然環境の保全に取り組んでいます。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

下松市長 国井 益雄

下松市は山口県の南東に位置し、瀬戸内海に面しています。山や島の豊かな自然に恵まれ、温見（ぬくみ）ダム、末武川ダム（愛称米泉湖）という二つの水資源を持つ住みよいまちです。

本市では、水源の重要性を多くの人に知っていただくためイベント出展時に水源涵養林の紹介や、水道施設を活用したアートによる啓発活動を実施しています。

今後も環境を守り住みよいまちを次の世代に引き継いでいくために、継続して努力を重ねていきたいと考えております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

山陽小野田市長 藤田 剛二

山陽小野田市は山口県の南西部に位置し、市の中央部には北から厚狭川が、東部には北東から有帆川が、それぞれ南流して瀬戸内海（周防灘）に注いでいます。明治維新後、セメントを中心とした化学工業が発展し、現在も県内有数の工業都市として、人と自然と工場が密に調和したまちとなっています。

この豊かな自然を次世代につないでいくために、市民の皆様とともに地球温暖化について考える機会となる「環境展」や河川・海岸清掃を実施するなど環境保全意識の高揚に努め、市民との協創による自然環境の保全を推進してまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表すとともに、今後ますますのご発展とご活躍を心より祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

下関市長 前田 晋太郎

下関市は本州最西端に位置し、関門海峡を挟んで、東に周防灘、西に響灘と3方が海に開かれ、木屋川をはじめ大小の河川が市内各所を流れるなど、豊かな自然と水環境に恵まれた風光明媚な景観があります。

この美しく潤いのある自然を将来世代に引き継げるよう、本市では「ゼロカーボンシティしものせき」の宣言を行い、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを表明いたしました。脱炭素社会の実現に向けて、環境負荷の低減に積極的に取り組んでまいります。

貴会の石けん運動も、環境負荷を低減し、河川の水質を保全する上で、意義深いものであると考えております。今後、活動の輪がさらに大きく広がることを心から祈念しております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

周南市長 藤井 律子

周南市は、山口県の東南部に位置し、北部は中国山地の山稜からなだらかな丘陵地が広がり、南部は瀬戸内海を望み、海岸部の平野には東西に長い市街地が形成されています。また、海岸線に沿って大規模工場が立地し、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されている産業と自然が調和したまちです。

本市では令和7年3月に第3次周南市環境基本計画を策定し、将来の望ましい環境の姿を「多様な自然と産業の力で未来を創る 持続可能な住みたくなるまち」としました。この実現を目指して、地域特性を活かした様々な施策に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる取組に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

周防大島町長 藤本 淨孝

周防大島町は、山口県東南部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ島では3番目の面積で、青く澄みわたる瀬戸内の海と四季の彩り豊かな美しい自然を有する町です。

また、令和6年9月に『ゼロカーボンフェスタ in 周防大島』を開催し、町民・事業者・町が一体となり、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする『ゼロカーボンシティ』を目指すことを宣言しました。

その取り組みのひとつとして、再配達によるCO₂排出量を軽減するため、令和7年度は宅配ボックス購入費用の一部を補助しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心から祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

田布施町長 東 浩二

田布施町は山口県南東部に位置する町です。中央部を流れる田布施川沿いでは春になると桜が満開となり、地域住民や観光客で賑わいます。

令和7年1月には田布施町は合併70周年という節目を迎えました。70年の間に築かれた町の歴史と絆を振り返りつつ、「美しいまちづくり推進条例」を指針に、町民、事業者、行政が一体となり、未来を見据えた持続可能で美しい町づくりを推進しています。さらに、河川や海岸の水質保全に注力し、この豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐことを目指しています。

貴会による「せっけん運動」の輪がさらに広がり、人々の水環境への関心が高まり、この豊かな自然の保全に役立つことを心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

長門市長 江原 達也

長門市は、山口県の西北部に位置し、北部には北長門海岸国定公園に指定される美しい日本海の風景が広がり、その中でも、海上に数多くの奇岩・怪岩が連なり海上アルプスと称される青海島など、雄大な景観が広がる自然豊かなまちです。

本市では、この豊かな自然環境を保全するとともに、公衆衛生の向上を推進するため、合併処理浄化槽の設置補助及び、本年度から維持管理費の補助も行っております。また、この自然環境を未来につなげていくために、毎年、子どもたちを対象に水辺の教室を実施し環境教育に取り組んでおります。

貴会の長きにわたる環境保全活動の取り組みに敬意を表しますとともに、今後、ますます活動の輪が広がりますようご発展をお祈り申し上げます。

7月のシャボン玉月間によせて

萩市長 田中 文夫

萩市は、白砂青松の菊ヶ浜や東洋一小さい活火山である笠山、国指定名勝の長門峡等を有するなど、山紫水明の地であり、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である萩城下町は、阿武川河口の三角州上に形成され、水の恩恵を受けながら発展したことから、水の都とも言われています。

この豊かな自然を次代へ引き継ぐため、萩市では、毎年6～7月に自治会など多くの市民の皆様とともに、河川や海岸の清掃活動に取り組んでいます。

こうした取組が、貴会の「せっけん運動」とあいまって、より良好な水環境の保全につながることに大きな期待を寄せています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

光市長 芳岡 統

光市は、山口県の東南部に位置し、白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸や、市民や水鳥の憩いの場である島田川など、水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。

本市では、令和5年3月に「第3次光市環境基本計画」を策定し、各種施策を市民や事業者と一体となって取り組んでいるところです。特に各世代に応じた環境学習の場の創出に努めており、小学生を対象とした「ひかりエコくらぶ」では、水環境の保全について学ぶ時間を設け、きれいで安心・安全な水環境を、次代を担う子どもたちに引き継ぐ取り組みを継続しております。

貴会の長年にわたる環境保全に向けた積極的な活動に敬意を表するとともに、今後更なる活動の輪が広がり、益々御発展されますことを心よりお祈り申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

平生町長 浅本 邦裕

平生町は、山口県の東南部、室津半島の西に位置し、瀬戸内海国立公園の一端を形成する豊かな自然環境に恵まれた町です。

今年、本町は合併70周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、町民の皆さんとともに、現在の自然豊かで住みやすい暮らしの礎を築いた先人たちの労苦に敬意を表し、新たな歩みを進める機会としたいと考えています。

貴会が長年にわたり水環境を守る活動に取り組まれているように、本町も美しい自然と快適な生活環境を未来により良い形で引き継ぐことを目指し、住民や事業者との協働により活動に取り組んでまいります。

貴会の「せっけん運動」による環境保全活動に敬意を表するとともに、今後の活動のさらなる発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

防府市長 池田 豊

防府市は、山口県の中央部に位置し、瀬戸内海と中国山地に連なる山々に囲まれた平野に一級河川「佐波川」が流れる自然の恵み豊かなまちです。

この防府で生まれ育った、漂泊の俳人と呼ばれる「種田山頭火」は、各地を旅する中で水を詠んだ句を数多く残しています。

あるいて水音のどこまでも
こころおちつけば水の音
ふとおもひでの水音ばかり

本市では、山頭火の詠んだ情景を守り、将来の世代に継承するため、毎年開催する「佐波川一斉清掃・市民一斉清掃」をはじめ様々な環境施策に取り組んでいます。

水環境を守るための取組である「せっけん運動」をはじめとする、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表するとともに、活動の輪が更に広がりますことを心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

美祢市長 篠田 洋司

美祢市は、日本最大級のカルスト台地である国定公園「秋吉台」や特別天然記念物「秋芳洞」など、豊かな自然環境に恵まれています。また、市全域が日本ジオパークであり、現在、国内11番目となるユネスコ世界ジオパーク認定を目指し取り組んでいます。

このジオパーク活動を通じて積極的な保全・保護活動を行っており、さらに、本年5月には、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、カーボンニュートラルチャレンジシティを宣言し、行政・市民・事業者が一丸となって取り組んでいます。

貴会の「せっけん運動」は、環境負荷を軽減し、豊かな自然を守る上で大変意義深い活動です。今後、ますます活動の輪が広がりますことを御祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

柳井市長 井原 健太郎

山口県の南東部に位置する柳井市は、多島美を誇る瀬戸内海に面し、日照時間が長く、温暖な気候に恵まれた自然豊かなまちです。

こうした自然環境を次の世代へ引き継ぐため、夏休みには小学生と保護者を対象に「親と子の水辺の教室」を開催し、水生生物の採取・観察を通じて、生き物と水環境のつながりや自然の大切さについて学んでいます。

また、海浜清掃とその後の環境学習を通じて、海辺の現状を直接体験し、プラスチック製品などが自然に与える影響への理解を深めています。

皆様の長年にわたる水環境保全へのご尽力に深く敬意を表するとともに、今後も「せっけん運動」の活動の輪がさらに広がっていくことを心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

山口市長 伊藤 和貴

山口市は、北部の美しい里山や樫野川を始めとした多くの清流、南部の穏やかな瀬戸内海など、豊富な自然環境に恵まれたまちです。

また、令和4年に国の脱炭素先行地域に選定され、2050年のゼロカーボンシティの実現に向け積極的に取組を進めています。

引き続き、市民・事業者・市が相互に連携し、本市の地域資源を最大限活用しながら地域脱炭素の取組を進めつつ、環境の基盤となる大気、水などを良好な状態に保持・保全することで、持続的に自然環境と調和した快適で安全・安心なまちを目指します。

結びに、貴会の長年にわたる「せっけん運動」の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」メッセージ

和木町長 米本 正明

和木町は、山口県の最東端に位置し、一級河川小瀬川を挟んで広島県と隣接し、東は瀬戸内海に面した小さな町です。

沿岸部は日本初の石油コンビナートが形成され、かつては公害が懸念されていましたが、現在は各企業の努力により大幅に環境が改善されました。また、町では早くから公共下水道事業に取り組み、生活排水処理率は99.5%です。

現在、官民連携の一環として、町内企業が開発中の水質改善資材の実証実験事業を行っており、実現すれば水路の悪臭防止や河川河口の藻場の創造につながり、町内水環境の向上が期待されます。

貴会の石けんの良さを地域に広め水環境を保全する活動に対しまして心から敬意を表し、応援メッセージといたします。

福岡県

せっけん使用運動への村長応援メッセージ

赤村長 道 廣幸

赤村は、福岡県の東部に位置しており、英彦山を源流とした今川が流れ、緑豊かな大自然に恵まれた村です。

本村は、県内でも有数の良質米の産地、特に美味しいお米には欠かせない「きれいな水を後世に残す」をキャッチフレーズに、住民の皆様とともに、これまで以上に全力で取り組んで参ります。

全世界的にも、「持続可能な開発」に対する取り組みが活発化している中、貴会の長年に亘る「せっけん使用運動」は本村にとっても欠かせない取り組みであると深く敬意を表すとともに、この活動の輪がさらに広がることと、貴会の今後益々のご発展を心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

朝倉市長 林 裕二

朝倉市は、北側に古処山や馬見山をはじめとする山々が連なり、南部には一級河川の筑後川が流れる水と緑の豊かな市です。

この豊かな自然を将来に引き継ぐため、「環境基本計画」を策定し、ゼロカーボンや循環型社会の実現に向けた環境保全を推進しています。

貴会の長年にわたる水環境を守る活動に敬意を表するとともに、今後ますます「せっけん使用運動」の輪が広がっていくことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

芦屋町長 波多野 茂丸

芦屋町は、町の中央を遠賀川が流れ、北側は美しく変化に富んだ海岸線となっております。

この恵まれた水環境を将来に引き継ぐため、「未来へと みんなでまもり みんなでつなぐ美しい芦屋の郷里」を環境像とした「芦屋町環境基本計画」を策定し、環境保全の意識を高め、海岸の清掃活動に取り組んでおります。

貴会の長年にわたる水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

飯塚市長 武井 政一

飯塚市は、第3次飯塚環境基本計画において「ひと＋自然＋やさしいまち＝いいづか」という将来像を掲げ、うるおいのある快適な生活環境の実現を目指しています。

水環境については、廃食用油の回収や污水处理人口普及率の向上に向けた取組を推進することにより、市民の安心・安全な生活の保全に努めております。

貴会の「せっけん使用運動」が、水環境のみならず、様々な環境問題に大きく貢献されていることに深く敬意を表するとともに、今後、さらに活動の輪が広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

糸島市長 月形 祐二

朝の連続テレビ小説「おむすび」の舞台にもなった本市は、食や自然、歴史・文化などの資源をたいせつに守り育みながら、市民の皆様と共にワンランク上の豊かなまちづくりを目指しています。本年は、井戸水のための使用世帯に対する浄水器設置補助事業を創設し、水環境の充実に取り組んでいるところです。

貴会の長年にわたる、水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

うきは市長 榎藤 英樹

うきは市は、福岡県の南東部に位置し、南に耳納連山、北に筑後川が流れる自然に恵まれた水と緑とフルーツのまちです。うきは市では、市民の暮らしを支える地下水を守るため、「地下水の保全に関する条例」を制定しており、地下水の適正利用や水質・水位のモニタリングを継続的に行っています。また、市全体で道路や水路の一斉清掃を行う「道路河川愛護活動」も実施されており、多くの市民が参加しています。

貴会の長年に渡る水環境を守る活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が大きく広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

宇美町長 安川 茂伸

宇美町では、2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティうみ」を宣言しています。その実現に向け、町民・事業者と一体となって脱炭素社会の構築を進めるため、「宇美町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を2025年3月に策定しました。

脱炭素社会の構築とともに水環境の保全にも引き続き取り組んでまいります。

貴会の活動に敬意を表し、今後のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

大川市長 江藤 義行

大川市は、筑後川が有明海に注ぐ河口に位置し、縦横に走るクリーク・農地・集落からなる筑後川下流域独自の自然環境及び田園風景を創出しています。

本市では、市民と行政が一体となって、「人と自然に調和した都市空間を共創するまち」を目指しています。

石けんの利用推進は、環境負荷を低減し、持続可能な社会を築くための重要な活動ですので、貴会の長年にわたる水循環を守る取り組みに敬意を表しますとともに、この運動の輪がさらに広がっていきますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

大木町長 広松 栄治

環境・資源循環の町を掲げる大木町では、自然にやさしい暮らしを広げる一環として「せっけん」の使用を推奨しています。町内には縦横にクリーク（水路）が巡り、水との共生は私たちの生活と切り離せないものの、日々の生活の中で環境負荷を減らす選択を積み重ねることが、未来の豊かさと持続可能な地域づくりにつながり、小さな行動の継続が大きな変化を生む原動力になると信じています。ともに「循環の輪」を広げていきましょう。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

大任町長 永原 譲二

貴会の長年にわたる水環境保全に対する取組みに敬意を表します。

大任町は、町の中央を南北に彦山川が貫流し周囲は低丘陵に囲まれた自然豊かな町です。

彦山川にはしじみが自生しており、しじみを環境保護とまちおこしのシンボルとして位置付けています。

本町では商工会主催で小学3年生を対象とした「しじみの放流」事業を実施しています。

この事業では、しじみの持つ浄化作用に着目し、子どもたちに河川や自然愛護、引いては生き物を大事にする心を、しじみを通して理解してもらうことを目的としています。

この「しじみの放流」は昭和61年から続く町の伝統行事として皆に愛されています。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**大野城市長 井本 宗司**

本市では豊かな自然を次世代へ繋ぐため、市民参加型の環境美化活動を進めており、毎秋開催している「御笠川・牛頸川・平野川フェスタ」では、多くの参加者と共に河川周辺を清掃し、ふるさとへの愛着を育んでいます。

せっけんは分解性が高く、水中の微生物や生態系への影響が小さいため、私たちの水源を守る一助となります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広まっていくことを期待いたします。

応援メッセージ**大牟田市長 関 好孝**

大牟田市は福岡県の最南端に位置し、海と山に囲まれた自然豊かなまちです。本市では、「大牟田に住みたい」と思っただけのよう、安心・安全で魅力的なまちの実現に向けた様々な施策に取り組んでいます。

その中のひとつとして、環境保全行動の促進やごみの減量化・資源化等に取り組み、人が行き交い、魅力にあふれ、都市と自然が調和した快適なまちを目指しています。

消費者である自らの暮らし方を見直し、次代を担う子どもたちに美しい自然をつなぎ、豊かな循環型社会の実現を目指す貴会の取組に対し、深く敬意を表し、皆様方の今後益々の御活躍を心から祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**岡垣町長 門司 晋**

岡垣町は、北は響灘、南は孔大寺山系に彩られており、美味しい地下水にも恵まれた自然あふれる町です。

また、海岸線を一斉に清掃する「ラブアース・クリーンアップ」や、小学生が河川や海岸の生物を調査し

水環境を学ぶ「水辺の環境学習」など、様々な環境保全活動に取り組んでいます。

貴会の水環境を守る活動に敬意を表するとともに、本町といたしましても、次世代にきれいな水と豊かな自然を繋いでいくよう、努めていきます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**小郡市長 加地 良光**

小郡市は、美しい田園風景と市の南北を貫く宝満川をもつ自然の恵み豊かなまちです。

小郡市の別名は「七夕の里」。宝満川が天の川のごとく美しい河川の体現として、その美しさを保てるよう、多くの市民の皆さまや団体様のご協力を得て河川美化活動に力を入れております。

水源は生命の源です。貴会の長年の水環境保全活動への取り組みに深く敬意を表しますとともに、この活動の輪がさらに広がりますよう心からお祈り申し上げます。

応援メッセージ**遠賀町長 古野 修**

遠賀町は町の東側に遠賀川、中央部を南北に同水系の西川が流れ、町内を水路が巡る豊かな自然環境を有する町です。本町では、おんがレガッタなど水に関わる事業も多く、町民のみなさんが持つ水環境への関心は高く、豊かな農地も支える水は大変重要な役割を果たしています。

令和4年3月に策定した第2次遠賀町環境基本計画の「笑顔つなぐ 水と緑のまち おんが」を環境像として、ラブアース・クリーンアップなど、環境保全と継承に向けた取り組みを実践しております。

貴組合の長年にわたる水環境保全に対するせっけん使用運動に敬意を表しますとともに活動の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」への応援首長メッセージ

春日市長 井上 澄和

春日市は、福岡都市圏の住宅都市であり、市街地の中に、筑前三大池の一つである白水池をはじめ、溜池や河川など水と緑の豊かな自然環境が残っています。

この良好な環境を未来に引き継ぐため、水辺の生き物に触れる「水辺教室」の開催や、自治会、事業者等の協力による河川の清掃活動など、市民とともに水環境の保全を通して誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

せっけん運動をはじめ、環境問題に取り組む貴会の活動の広がりを心から祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

嘉麻市長 赤間 幸弘

嘉麻市は、福岡県のほぼ中央に位置し、遠賀川の源流を有する自然豊かなまちです。

本市では、山田川クリーン作戦やI LOVE 遠賀川 in 嘉穂での河川清掃、合併処理浄化槽の設置を補助する事業など水環境保全活動に取り組んでおり、今後も次世代のため努めていく所存でございます。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」を通じて、水環境保全の理解が深まり、活動の輪がますます広がっていきますよう心からご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

川崎町長 原口 正弘

川崎町は、本町の中央を南から北に中元寺川が流れており、川沿いには美しい田園風景が広がり、自然豊かな町です。この財産を守っていくために、「住みたい、住み続けたい川崎町」を目標に環境衛生の面から水質汚染防止の推進を掲げており、合併処理浄化槽の設置を推進することにより公共水域の水質汚濁を防止し、環境衛生の行き届いた美しいまちづくりに取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を始めとした水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がっていくことを祈念いたします。

せっけん使用運動への応援メッセージ

苅田町長 遠田 孝一

苅田町は、産業都市として発展してきましたが、白石海岸、平尾台、広谷湿原などの豊かな自然も有しています。

当町の市街地を流れる殿川では、住宅やマンションが立ち並ぶ住宅街にもかかわらず、多くのホテルを鑑賞することができます。以前は、河川工事や生活排水の影響でホテルの姿はほとんど見られなくなっていました。しかし、「殿川とホテルを守る会」が中心となり、地元の小学校と協力してホテルの幼虫を放流したり、観察会や清掃活動を行ったりした結果、再び多くのホテルが飛び交うようになりました。

貴会が推進する「せっけん使用運動」は、こうした水環境の改善に大きく貢献するものです。長年にわたる活動に敬意を表するとともに、水環境への関心がさらに広がり、活動の輪が大きくなることをお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」応援メッセージ

北九州市長 武内 和久

かつて深刻な公害を乗り越え、美しい空と海を取り戻した北九州市にとって、貴会の活動は、未来の世代に美しい地球を引き継ぐための重要な実践として、大変心強く感じます。

北九州市では、都市に近接した豊かな自然「アーバンネイチャー」を守り育むことで、生物多様性の保全と回復、いわゆるネイチャーポジティブに向けた取組を推進しています。北九州市が目指す「世界をリードするサステナブルシティ」の実現に向けて、共に歩みを進めてまいりましょう。

貴会の活動に敬意を表し、取組の輪がますます広がっていくことを心より祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

鞍手町長 岡崎 邦博

福岡県北部に位置する鞍手町は、町の東側を遠賀川が、中央部を東北に西川が流れ、豊かな自然と水辺の風景に恵まれた穏やかな町です。

本町では、公共下水道の利用を促進する整備や、家庭用小型浄化槽の設置に対する補助制度の実施、水洗化率の向上に向けた支援策、町内一斉清掃デーの開催、さらには事業所による定期的な水質検査など、さまざまな取り組みを通じて、住民・企業・行政が一体となって水環境の保護に力を注いでいます。

さらに、本町では令和7年4月1日に鞍手町ワンヘルス推進宣言を表明しており、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一体的に保全していくために取り組んでおり、水環境保全もその取り組みの一環としてますます推進していくこととしています。

長年にわたり「せっけん使用運動」を通じて水環境保全に尽力されてきた貴会のご功績に深く敬意を表しますとともに、この活動が今後ますます広がっていくことを心より願っております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

久留米市長 原口 新五

久留米市は、九州一の大河「筑後川」が流れ、「耳納連山」とともに緑豊かで美しい自然環境に恵まれたまちです。この環境を保全し、その恵みを享受し続けられる久留米市を目指し、生物多様性地域戦略「くるめ生きものプラン」を策定し、生物多様性の保全と自然環境の持続可能な利用の施策を推進しています。貴会の活動に敬意を表しますとともに、石けん運動等を通じて、今後も水環境が持続的に守られていくことをご期待申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

桂川町長 井上 利一

桂川町は、福岡県の中央部、筑豊地域の南端部に位置しており、6世紀に造られた国の特別史跡「王塚古墳」を擁し「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」を基本理念として、人と自然が共生する街づくりを推進しています。

町内には穂波川や泉河内川などが流れており、人々の営みを支えています。本町では、様々な環境施策に取り組んでおります。中でも、水環境保全につきましては、一般家庭の合併処理浄化槽設置費の助成を行い、貴重な環境資源を守り、それを次世代へと引き継いでいく取り組みを進めています。

貴会の「せっけん使用運動」による水環境保全の活動が、環境問題全体に対する人々の意識の向上に大きく貢献されておりますことに深く敬意を表しますとともに、今後のますますのご活躍を心からご祈念申し上げます。

せっけん使用運動応援メッセージ

上毛町長 坪根 秀介

上毛町は福岡県の最東端に位置しており、東は大分県との境界部を流れる山国川、南は山々に囲まれた自然豊かな町です。一部地域では、ほたるの里として、毎年たくさんのほたるを観察することができるスポットがあります。そんな豊かな水環境を守るためにも様々な環境保全に関する取組を実施しています。

貴会の「せっけん使用運動」に対し深く敬意を表すとともに、この取り組みのさらなる広がりを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

古賀市長 田辺 一城

古賀市は、緑豊かな山々や、白砂青松の美しい海岸線を有する海、さらにこの海にそそぐ大根川、蜚が舞う豊かな自然に恵まれたまちです。本市では、「ゼロカーボンシティの実現」、「ワンヘルスの推進」という2つの大きな柱を掲げ、持続可能で豊かな環境の保全と継承に取り組んでいます。

次代を担う子どもたちに美しい自然をつなぎ、豊かな循環型社会の実現をめざす貴会の取組は、本市のめざす姿である「未来の地球のために、日々の暮らしのなかでできることを考え、行動し、持続可能で豊かな環境を次の世代に引き継ぐまち」に通じるものがあります。貴会の長年の取組に心から敬意を表しますとともに、多くの方々の環境意識の向上につながることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

新宮町長 桐島 光昭

新宮町は、豊かな自然と歴史、そして住みやすい環境に恵まれており、多くの方々に選ばれる町となるよう、日々、様々な施策を実施しております。

本年も、「2050年二酸化炭素排出量ゼロ」を目指した「新宮町ゼロカーボンシティ宣言」を基に、環境施策に取り組んでまいります。

貴会の「せっけん運動ネットワーク」をはじめ、多くの環境保全運動に長年取り組んでおられますことに敬意を表しますとともに活動の輪がより一層広がりますよう祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

添田町長 寺西 明男

添田町は、日本三大修験山のひとつ英彦山を中心に四季折々の美しい自然豊かな町です。町内には、英彦山を源流とした町の中央を流れる彦山川、東側を流れる今川、西南端の町境を源流とし西側を流れる中元寺川などがあり、山間地より流下する清流となって流域地域の貴重な水資源を生み出しています。

本町では、この貴重な水資源を次世代に引き継ぐため、「みんなでまちづくり」を合言葉に、地域一体での清掃活動や浄化槽設置の普及・推進などの取り組みや啓発活動を実施しています。

貴会の「せっけん使用運動」の取り組みが、多くの方々の環境意識の向上や水環境保全に貢献されておられますことに深く敬意を表しますとともに、より一層の活動の広がりをご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

田川市長 村上 卓哉

田川市は、豊かな自然に囲まれ、緑豊かな山々から「彦山川」がまちを潤す魅力あふれる都市です。

本市では、毎年5月、県五大祭りのひとつ「風治八幡宮川渡り神幸祭」が彦山川で繰り広げられ、県内外から多くの観光客が訪れます。山笠が川を渡る勇壮なまつりとして、「水」は欠くことのできない要素となっています。

今後も自然や水環境を次世代へ引き継ぎ、持続可能な田川市を目指します。

貴会が「水環境」を守り、「美しい自然」をつなぐ循環型社会の実現を目指す取り組みに敬意を表しますとともに、この運動の輪がさらに広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

太宰府市長 楠田 大蔵

元号令和発祥の地である太宰府市は、「令和の都だざいふ」として、持続可能な、住まう人も訪れる人もともに楽しみ、慶び合えるまちづくりを推進しています。

市内を流れる御笠川は、市民団体が主体となり清掃活動など水環境保全の取り組みがなされ、生きものが住みやすく人が親しみやすい美しい水辺づくりを進めています。

貴会の「せっけん使用運動」をはじめ長年取り組まれています水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますことをお祈り申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

大刀洗町長 中山 哲志

大刀洗町は、令和7年3月で町制施行70周年を迎えました。福岡県の中南域を占める筑後平野の北東部、筑後川の中流域に位置し、農業を中心に発展してきました。

本町では「第5次大刀洗町総合計画」を令和元年度よりスタートし、「町民が美しい自然環境と衛生的な環境の中で暮らすこと」を目指し、環境保全の取組や啓発活動を実施しております。

今年45年目を迎えた貴会の「せっけん使用運動」による水環境保全の取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

筑後市長 西田 正治

筑後市は、福岡県南部に位置し、矢部川から流れる美しい水と緑に恵まれた魅力あふれるまちです。

例年5月の「川と水を守る運動」では、市民・事業者と行政が一丸となり、河川や水路の清掃に取り組んでいます。新たに、清掃活動「ちっごクリーンアップ大作戦」を開始し、豊かな自然と水環境を次世代へと引き継ぐために尽力して参ります。

貴会の長年の取り組みに敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍を心より祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

筑紫野市長 平井 一三

筑紫野市は、福岡県の中央部、やや西よりに位置し、中央部には分水嶺を抱え、御笠川・那珂川水系は北流し博多湾へ、宝満川水系は南流し有明海へそれぞれ注ぐ、水と緑の豊かなまちです。

本市では、「第三次筑紫野市環境基本計画」の見直しを令和6年度に実施しました。「みんなでつくる みどり輝くふるさと筑紫野」を目指し、水と緑の豊かな自然を後世に受け継ぐために、豊かな自然と生物多様性の保全や地球温暖化への対策、良好な生活環境の形成などの取組を進めています。

貴会が長年にわたり取り組まれている活動に心から敬意を表しますとともに、更なるご活躍を祈念いたします

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

築上町長 新川 久三

築上町は福岡県東部に位置しており、南側は大分県に隣接し山間部が広がります。そこを源とする多くの河川が北の平野を潤しながら、周防灘に注ぎます。

本町では、公共下水道の整備や浄化槽の設置補助、浄化槽汚泥や汲み取りし尿の肥料化の取り組みにより水環境保全を推進しています。

貴組合の「せっけん使用運動」を通じた水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、持続可能な未来に向けて、この取り組みのさらなる広がりを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

東峰村長 眞田 秀樹

きれいな川に、森閑とした山々。澄んだ空に瞬く星と地上でやさしく光るホタル。東峰村は、そんな自然の生命力に満ち溢れています。また小石原ダムの水源地の村としても水環境の保全は重要な課題と考えております。貴団体の長年にわたる「せっけん使用運動」に深く敬意を表すとともに今後のさらなる発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ寄稿文

那珂川市長 武末 茂喜

那珂川市は、名前のとおり那珂川が市の中央を南北に貫流し、北部の市街地と南部の自然豊かな環境が近接するバランスの取れたまちです。

本市は、令和6年3月に第3次那珂川市環境基本計画を策定し、目指す環境像「水と緑を活かし 次代に引き継ぐまち なかがわ」の実現に向け、市民や関係団体・事業者の皆様と協働で取り組みを進めております。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍を心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

中間市長 福田 健次

中間市では、「人、水、緑、みんなでつたえよう なかま」を環境像に掲げ、5分野で環境施策を推進しています。庁舎では無添加せっけんを使用し、環境負荷の低減に努めています。

貴会が「せっけん使用運動」をはじめ環境保全運動に長年取り組んでおられますことに深く敬意を表しますとともに、更なるご活躍をご期待申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

直方市長 大塚 進弘

直方市は、福智山や遠賀川、彦山川など水と緑の自然に恵まれたまちです。第3次直方市環境基本計画では「自然環境・生活環境の保全」を掲げ、取り組みを推進しています。水環境保全の取り組みとして、遠賀川一斉清掃を実施し、毎年たくさんの市民・企業の方に参加いただいています。今後も市・市民・企業が一体となって取り組むことで、未来の子どもたちに美しい自然環境と安心・安全な暮らしをつないでまいります。

貴会の取り組みに敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

2025 せっけん使用運動への応援首長メッセージ

久山町長 西村 勝

久山町は、豊かな森林と蛍飛ぶ清流が暮らしの身近にある町です。

本町では、2022年に「カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブ」を宣言し、生態系も含めた環境保全のモデル構築に向けて産官学民連携により各種取り組みを推進しています。今年度は、バイオ炭を活用した環境負荷低減や食の安全に関する水田実証を開始しました。

貴会の長年にわたる「せっけん使用運動」に敬意を表するとともに、緑ある未来に共に挑戦してまいります。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

広川町長 氷室 健太郎

広川町は、「世代を超えて住み心地の良い、温もりと笑顔あふれるまち」をめざして、脱炭素社会の実現に向け、意識の啓発とともに住民・事業者・行政の「オール広川」で取り組んでおります。初夏に蛍が舞う美しい自然が残っている広川の貴重な水環境を未来へつなぐため、「せっけん使用運動」の取り組みに賛同し、本活動の輪がより一層広がりますことを心より祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

福岡市長 高島 宗一郎

福岡市は、海に育まれた歴史や文化、豊かな自然環境と、充実した都市機能が調和したコンパクトな都市です。

この豊かな自然環境から受ける恩恵を将来にわたって享受するため、生物多様性の確保などに取り組んでいます。

その一環として、令和7年1月にWebサイト「生物多様性ふくおかセンター」を開設しました。生物多様性について楽しく知識を深めることができるコラムの提供や、身近な生きものを探すオンライン参加型イベント「ふくおかいきもの調査隊」の開催などを通じて、生物多様性を保全していく重要性を社会に浸透させたいと考えております。

長年にわたり水環境保全活動にご尽力されている貴会に深い敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

福智町長 黒土 孝司

福智町は福岡県の中部から北東よりに位置しており、町の中央部を流れる彦山川と中元寺川、標高901メートルの秀麗な福智山など、豊かな自然に彩られながら、これらの魅力を生かしたまちづくりを展開しています。

本町では、環境衛生の面から水質汚染防止の推進を掲げており、合併処理浄化槽の設置を推進することにより公共水域の水質汚泥を防止し、環境衛生の行き届いた環境づくりに取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「水質環境保全に対するせっけん使用運動」に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

福津市長 福井 崇郎

福津市は、東部を山、北西部を海に囲まれ、海岸一帯と宮地嶽神社周辺の山林は、玄海国定公園に指定され、風光明媚な自然景観と都市的な生活環境が調和したまちです。

令和元年度「SDGs 未来都市」に選出され、令和4年度「ゼロカーボンシティ福津」を宣言しました。市民や企業などさまざまな主体が一体となり、全市環境美化運動や海岸のラブアース・クリーンアップ、干潟や川の保全活動などふるさとの美しい自然を守り、次世代につないでいくための活動に取り組んでいます。

長年、水環境を守る活動を続ける貴会に敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展を心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

豊前市長 西元 健

豊前市は、緑豊かな山々や、四季の恵みを与えてくれる豊前海。その両方から恩恵を受けている自治体があります。

だからこそ、恵まれた水環境を未来に引き継ぐため市民全員で配慮しながら自然と豊前市の魅力を磨いていかなければならないと思っております。

貴会の長年にわたる水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに今後もますますの活動の輪が広がりますこと祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

水巻町長 美浦 喜明

水巻町は、遠賀川流域北部に位置する自治体です。町内には、遠賀川をはじめ、堀川や曲川などが流れ、住民の生活、文化と深い結びつきを持っています。この豊かな水環境の保全のために、便利さのみを優先しない地球にやさしい生活様式に取り組み、資源循環型社会の実現を推進しているところです。

貴団体の長年に渡る「せっけん使用運動」に深い敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

みやこ町長 内田 直志

まずはじめに、長年の貴会の水環境保全へのご尽力に敬意を表し感謝申し上げます。

みやこ町は福岡県北東部に位置し、豊かな自然に恵まれた町です。2023年12月に「ワンヘルス推進宣言」を表明し、持続可能で健康な環境と社会の構築を目指しています。現在、町役場では環境負荷軽減のため、無添加せっけんの使用などの取り組みを積極的に進めています。

この7月のシャボン玉月間を機に、せっけんを使う暮らしへの理解がますます広がることを願っています。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

みやま市長 松嶋 盛人

みやま市は、福岡県の南部に位置し、矢部川をはじめ多くの河川・山々、有明海により育まれるまちです。令和3年に「ワンヘルス推進宣言」を表明し、重要施策と位置づけ「人と動物の健康および環境の健全性はひとつ」という理念のもと、豊かな自然に根ざす持続可能なまちづくりを目指しています。

貴会の長年の取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後もこの活動がますます広がっていきますよう心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

宮若市長 塩川 秀敏

宮若市は、福岡県北部に位置し、犬鳴川と八木山川が流れる豊かな水と緑のまちです。

本市では、第2次宮若市環境基本計画において、「水質保全対策の推進」を重点的に取り組む施策に位置付けており、水の循環を健全な状態で保つために、水質保全に取り組んでおります。

貴会の長年の「せっけん使用運動」に敬意を表しますとともに、力を合わせて運動を推進してまいりましょう。

R7宗像市「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」応援メッセージ

宗像市長 伊豆 美沙子

宗像市は、世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を擁する、豊かな自然と文化を誇るまちです。“Save the Sea”（海を守ろう）を合言葉に、未来の子どもたちに美しい海を引き継ぐため、海の環境保全活動に取り組んでいます。

無添加せっけんを使用した排水による水質改善の実証や、給食廃油を活用した「エコロ館せっけん」の普及活動もその一環です。

貴会の長年にわたる環境保全の取り組みに深く共感し、「シャボン玉月間」をきっかけにその輪がより一層広がっていきますことを心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」応援メッセージ

柳川市長 松永 久

柳川市は今年で柳川市・大和町・三橋町の合併から20周年を迎えました。また、福岡県南部に位置し、筑後川、矢部川という一級河川が流れ、有明海に面しています。

市内には約930kmに及ぶ掘割がめぐり、独特な景観を醸し出し、特に水郷柳川の川下りは、四季折々の風情があり観光客に楽しんでいただいています。

市民生活、農漁業、観光などすべてにおいて良好な水資源が欠かせない、「柳川市掘割を守り育てる条例」も制定するなど市が一体となって水環境を保全し、掘割を活かしたまちづくりを進めており、豊かな水と暮らしが未来へと繋がってほしいと願っています。

貴会の長年に渡る水環境保全に対する取組に深く敬意を表しますとともに、今後とも貴会の取組がさらに発展し、活動の輪が広がりますよう心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

八女市長 簗原 悠太郎

八女市は福岡県南部に位置し、高級茶葉である「八女茶」の主産地であり、茶畑と豊かな自然が広がる魅力的なまちです。

本市では、令和7年4月に『八女市ゼロカーボンシティ宣言』を行いました。市民・事業者・行政が一体となり、2050年カーボンニュートラルの達成に向けた取組みを進め、美しい八女を次世代へと継ぐ取組みを進めてまいります。

貴会の環境保全への貢献に敬意を表し、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

行橋市長 工藤 政宏

「子どもたちに積極的に投資していく」一昨年1月に宣言しました。

本市はサステナブルなまちをめざし、ごみ減量プロジェクト「その1gを削り出せ!」を展開しています。また、豪雨や酷暑、障がいの有無等に関わらず、子どもたちが安心して遊べるよう、令和8年度に室内型子どもの遊び場をオープンします。

私たちの使命は子どもたちの未来を守ること。持続可能な社会の実現に向け活動する「せっけん運動」を心から応援しています。

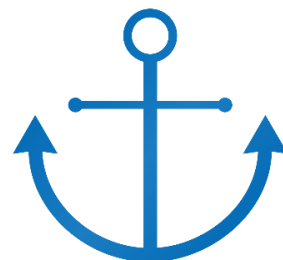
せっけん使用運動応援メッセージ

吉富町長 花畑 明

吉富町は、大分県との県境に位置し、北を周防灘、東西には山国川、佐井川が流れ、豊かな水資源に恵まれた美しい町です。

「九州で一番小さな町」でありながら「脱炭素日本一のまち」を目指し、EV車の導入や次世代太陽光発電装置の検討など、SDGs未来都市として地球環境にやさしい取組みを進めています。特に、海岸清掃ボランティア活動には、人口の約1割の方が参加してくださっており、住民の皆様にも環境保全の意識がしっかり根付いていると感じています。

貴会の長年にわたる「せっけん使用運動」には心から敬意を表し、その素晴らしい活動がさらに多くの人々に広がっていきますよう、心よりお祈り申し上げます。



佐賀県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

有田町長 松尾 佳昭

日本磁器発祥の地として歴史と伝統が息づく有田町は、「日本棚田百選」に選ばれた“岳の棚田”や、「名水百選」や「水源の森百選」に選ばれた“竜門峡”をはじめ、豊かな自然景観に恵まれています。

この美しい水環境を後世に伝えるため、各地域の特性に合わせた公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽整備推進事業などを推進しております。

貴会の「せっけん運動」は、環境問題への人々の意識向上に大きく寄与されており、美しい水環境を次世代へと継承する大変有意義な活動であります。これまでの貴会の活動に深甚なる敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますことをお祈り申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

伊万里市長 深浦 弘信

伊万里市は、北部九州の西部に位置し、天然の良港伊万里湾を抱き、「鍋島藩窯 大川内山」をはじめとする歴史と風土に育まれた特色ある景観や、生きている化石と呼ばれる「カブトガニ」など希少な動植物が生息する伊万里湾など豊かな自然環境があります。

このような美しい自然を次代に引き継ぐため、市民、事業所、市が一体となって伊万里湾岸の清掃活動を行うなど水環境の保全にも取り組んでいます。

このような中、伊万里市は脱炭素社会を実現するため、令和7年3月には「ゼロカーボンシティ」を宣言し、市民、事業所、市民団体等と一体となって「人と自然を未来につなぐ自然共生都市 伊万里」の実現に向けて取組みを進めています。

貴会の長年に渡る活動に敬意を表しますとともに、水環境保全の活動の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

せっけん使用運動への応援首長メッセージ

上峰町長 武広 勇平

上峰町は、佐賀県東部に位置し、東脊振系を水源とする切通川が北から南に流れ、水と緑に恵まれた自然豊かな町です。この豊かな自然を未来の子どもたちに残していくため、各地区での清掃活動をはじめ、町内全域での美化活動を毎年実施しています。

本町ではこれからも町民・行政が一体となり、美化活動等を通して水環境保全の推進に努めて参ります。貴団体の長年にわたるせっけん使用運動を通しての環境保全の取り組みに深く敬意を表するとともに、活動の輪がさらに大きく広がりますことを心から祈念申し上げます。

せっけん使用運動への応援首長メッセージ

神埼市長 實松 尊徳

神埼市は、佐賀県中東部に位置し、北部の脊振山を源流とする筑後川水系の城原川、田手川が流れており、南部はこれらの河川が潤す肥沃な佐賀平野に田園地帯が開け、クリークが張り巡らされています。

この美しい河川、クリークなどの水環境を将来の子どもたちに残していくため、民間主体の水の郷再生プロジェクトや多くの市民が参加する水路の一斉清掃など、美しい自然環境を守っていく活動が実施されています。本市では、今後も市民、地域と一体となった環境保全の取り組みを進めてまいります。

貴会のこれまで長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。

せっけん使用運動への応援首長メッセージ

佐賀市長 坂井 英隆

佐賀市は、北部には緑豊かな脊振山地の山並み、南部には、渡り鳥であるシギ・チドリ類の渡来数日本一を誇るラムサール条約湿地「東よか干潟」、そして、嘉瀬川や筑後川が流れ、縦横にクリークが巡る佐賀平野が広がる自然豊かなまちです。

このかけがえのない自然環境を未来の世代に引き継ぐために、本市では、多くの市民が参加する河川清掃や、子ども達が生き物や自然に親しむことを通した環境教育などに取り組んでいます。

これからも市民、市民活動団体、事業者等の皆様と一緒に環境保全の取組を進めてまいります。貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪が今後さらに拡大することを心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鳥栖市長 向門 慶人

鳥栖市は、北に九千部山の雄大な山並み、南に悠然と流れる筑後川、その間になだらかな丘陵地帯と田園地帯が広がる自然環境に恵まれた都市です。この豊かな自然環境を守るため、河川の清掃や生き物や自然に親しむ活動など様々な取り組みを行っています。

令和6年度からはNPO法人海さくらと日本財団が中心となって展開する「LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト」に、鳥栖市・佐賀県・サガン鳥栖の全国初の自治体・Jクラブ協働で参加し、「海にごみは行かせない」を合言葉に、ホームゲーム開催時に行う清掃活動を通じて海洋ごみ対策に取り組んでいます。今後とも市民・地域・事業者などの皆様と一体となり、水環境保全の取り組みをすすめてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全の取組みへ深い敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

みやき町長 岡 毅

みやき町は、北部九州の中央に位置しており、脊振山系に源を発した寒水川、切通川などが、なだらかな丘陵地帯と田園地帯を流れて筑後川に注いでおり、水に恵まれた自然豊かな町です。

本町は、環境保全に対する意識を高めるとともに、この自然豊かな環境を次世代へつなげるよう努めており、貴会と共に活動の輪が今後も大きく広がりますことを心よりご祈念申し上げます。



長崎県

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

雲仙市長 金澤 秀三郎

雲仙市は、昭和9年に日本で最初の国立公園として指定を受け、令和6年3月に90周年を迎えた「雲仙天草国立公園」を有し、雲仙岳の温泉や湧水、川の清流は農業や住民の暮らしを支え、自然と共生する文化を育んでいます。

本市環境基本計画では「ゼロカーボンが実現し、豊かな自然に囲まれ、真に安心して快適な環境で過ごせるまち うんぜん」を環境像として掲げ、その実現に向けて市民・事業者・行政が連携して環境保全活動に取り組んでいます。

そのような中、せっけんの普及活動等を通じて、水環境保全に長年取り組まれている貴会の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

大村市長 園田 裕史

大村市は、波静かで湖のような景観を持つ大村湾を有し、スナメリやカブトガニなど貴重な生物が生息する豊かな自然に恵まれたまちです。

自然と共生する持続可能なまちを目指し、市民、事業者、行政が一体となり、水環境保全活動に取り組んでいます。

企業やボランティア団体と協働による大村湾沿岸一斉清掃や市民大清掃をはじめ、子ども向け体験型イベントのリバーウォッチング、大村湾ウォッチングなどを実施しています。また令和4年度より、水質浄化、脱炭素社会の実現を目的とした大村湾SDGsプロジェクト事業を実施しています。

貴会のこれまでの活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展と更なるご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

佐世保市長 宮島 大典

佐世保市は、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定を受けた九十九島湾や、リアス海岸と大小の島々からなる西海国立公園九十九島など、豊かな自然に囲まれた街です。

このかけがえのない佐世保市の豊かな自然環境を持続可能なものとするため、現在佐世保市は、西海国立公園の一部である俵ヶ浦半島全体を自然観光公園化することを目指して取り組んでおります。また、市を挙げたカーボンニュートラルの推進に向けて、「ゼロカーボンシティSASEBOアクションプラン」の策定を進めています。

長きにわたる貴会の水環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

島原市長 古川 隆三郎

島原市は長崎県の南東部に位置し、西は雲仙普賢岳、東に有明海を望む風光明媚なまちです。

市内には70か所を超える地点で水が湧き出ており、豊かな水は市民の生活を潤すだけでなく農業にも活用され、農作物の一大生産地となっています。

近年、水質の悪化や湧水量の減少など水を取り巻く環境は日々変化しています。この水と緑あふれる豊かな自然環境を後世に引き継ぐため、市民・事業者・行政が一体となり環境保全に取り組んでまいります。

貴会が長年取り組まれている水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展、ご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

時津町長 山上 広信

時津町は長崎県南部に位置しており、町の中心部では国道206号と国道207号が交差し、内陸交通の要衝の地として賑わう一方、大村湾に面し、鳴鼓岳や崎野自然公園などの山々に囲まれた自然豊かな町です。

本町では、この豊かな自然を次世代へ引き継いでいくため、町内一斉清掃をはじめ、漁業組合などの地域団体と協働で海岸清掃を行うとともに、大村湾へ流入する5河川の水質調査を毎年実施し、自然環境の保全に取り組んでいます。

このように自然環境を大切にする本町にとっても、美しい自然を次世代へ引き継ぐための「せっけん運動」は大変意義深いことであります。貴会がこれまで取り組んできた活動に敬意を表し、今後益々活動の輪が広がることを祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

長崎市長 鈴木 史朗

長崎市は、自然豊かな環境と異国情緒豊かな街並みが魅力の街です。

本市では、「豊かな環境を守り活かし、みんなで切り開く」をテーマに、長崎市第三次環境基本計画を策定し、市民・事業者・行政が一丸となって「人と自然と文化が輝き続けるまち」の実現をめざしています。

毎年5月には、市内河川80箇所のホタル飛翔調査を行い、市民が初夏の風物詩を楽しめるよう、広くお知らせしています。

また、夏休みには、親子環境教室を開催し、親子で海や川、山の自然に親しむ機会を設けるなど、自然豊かな環境を未来へ引き継ぐ取組も進めています。

貴会の長年に渡る活動に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

長与町長 吉田 慎一

長与町は、町の中心を走る長与川沿いと丘陵に立ち並ぶ団地、さらにその周りを山々と大村湾に囲まれ、特産品のみかんをはじめ、いちじく、オリーブ、レモンなどが栽培される自然豊かな町です。

令和3年度からは、第10次総合計画がスタートし、「住みたい・住み続けたい・住んでよかったと思われる」「幸福度日本一のまち」をテーマとしたまちづくりを進めています。町民が一丸となって取り組む町民一斉清掃をはじめ、大村湾一斉清掃や長与川清掃といった活動を通して、豊かな自然環境や自然景観を町の財産として保全しております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取り組みに深く敬意を表しますとともに、益々の御発展を祈念申し上げます

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

南島原市長 松本 政博

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」の開催を心よりお祝い申し上げます。今年は「考えよう！流した水のその先を～せっけんを使って地球を元気に～」が合言葉とお聞きしています。

南島原市は、令和3年12月に「南島原市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、自然環境と共生するまちづくりを目指し、市民や事業者等と連携した行動実践に取り組んでいます。

そのようななか、石けんは環境に優しい洗剤であり、海や川への負担を軽減する重要な役割を果たします。

未来の子供達に美しい自然を残すため、日々の選択が環境への影響を左右することを皆様方と共に考えていきたいと思います。皆様方のご参加とご協力を心よりお願い申し上げます。

熊本県

シャボン玉月間によせて

阿蘇市長 松嶋 和子

阿蘇市は、世界最大級のカルデラを有する雄大な自然景観、伸びやかに広がる田園風景、阿蘇神社などの歴史遺産や暮らしに根付いた文化・伝承等、数々の優れた資源に恵まれた地域です。

本市では、より良い水環境を守るため、合併処理浄化槽への転換を促進すると共に、河川の定期的な水質検査を実施しています。

阿蘇地域は、「九州の水がめ」と称されるほど九州の主な河川の源流域です。この豊かな水資源を将来にわたり安心して活用できるよう守ることは、源流域に暮らす私たちの使命であり、今後も環境保全活動に取り組んでまいります。

貴会の取り組みが、美しい自然を未来世代に引き継ぐ礎となり、今後も益々発展されることを祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

天草市長 馬場 昭治

天草市は、雲仙天草国立公園や日本初の海中公園である牛深海域公園に指定され、イルカやアマクササンショウウオなど多種多様な生物が生息する水辺環境にも恵まれた自然豊かな地域です。

これらは、市民が共有する地域の財産として後世に引き継いでいく必要があります。現在「第3次天草市環境基本計画」の策定を進めており、自然の恵みを持続的に活用しながら市民が安全で快適に暮らせる持続可能な循環型社会の実現を目指します。

貴会の「せっけん運動」は、市民が日々の生活の中で簡単に取り組める環境保全活動ではないかと思います。この取り組みが水資源や環境の保全を考えるきっかけとなり、活動の輪がより一層広がりますことを心からご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

荒尾市長 浅田 敏彦

荒尾市は、東に小岱山、西にラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟がある自然豊かなまちです。

荒尾干潟の美しい景観と豊かな自然を次の世代に伝えるため、荒尾干潟の学習拠点である荒尾干潟水鳥・湿地センターから干潟の情報発信や地域の方々とともに清掃活動をおこなっております。また、生活排水等で美しい干潟の姿を失わないために、浄化槽設置の補助なども行っております。

我々の生活に欠かせない水環境の中で、貴会のせっけんを使用する取り組みは素晴らしい取り組みであると考えております。また、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表すとともに、今後の更なる発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけん運動ネットワーク機関誌」に寄稿する首長メッセージ

宇城市長 末松 直洋

宇城市は、熊本県のほぼ中央に位置し、美しい田園風景や不知火海の文化に彩られた自然景観をはじめ、初夏には市内各所にてホテルの乱舞が見られるなど、清らかな水辺環境も残る自然豊かな地域です。

この豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐため、2022年に「第2次宇城市環境基本計画」の中間見直しを行い、水環境対策として、合併処理浄化槽設置補助や地下水及び河川の定期的な水質検査を行っています。

また、環境月間である6月には「市民環境美化運動」として、市内全域で道路や河川のごみ拾いや除草作業を実施しています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表するとともに、活動の輪がより一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

宇土市長 元松 茂樹

宇土市は、「九州のどまんなか」に位置しており、本市の西に面する有明海では海苔の養殖が盛んに行われ、日本名水百選にも選定された「轟水源」などがある豊かな自然と水資源に恵まれたまちです。

このかけがえのない自然の恵みを未来へつなぐため、宇土市では、第4次宇土市環境基本計画に基づき、日頃から有明海の干潟を守り、轟水源をはじめとする水環境の保全活動を市民と共に進めています。

貴会の「せっけん運動」が、私たちの共有財産である「水」を大切にすることを育み、水環境の保全に貢献されていることに深く敬意を表しますとともに、今後もこの活動がますます発展していきますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大津町長 金田 英樹

大津町は、世界有数のカルデラを有する阿蘇の玄関口として、豊かな水資源や田園地帯、美しい森林に囲まれた自然豊かな町です。町のすべての水源は、大自然にはぐくまれた良質な地下水を豊富に蓄えた地下水プールによって賄われています。

本町では豊かな水環境を守るため、住宅への雨水貯留タンクや浸透ます設置への助成、転作前や稲刈り後の冬場の水田に水を張る湛水事業への協力を行うなど、年間を通じて地下水涵養の取り組みを行っています。

貴会の長年にわたるせっけんの利用を通じた水環境保全活動に対し敬意を表しますとともに、貴会の益々の発展と環境問題への関心及び保全活動の輪が一層広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

嘉島町長 鍋田 平

嘉島町は、矢形川・御船川・緑川・加勢川の各河川に囲まれ、「平成の名水百選」に選定された「六嘉湧水群・浮島」をはじめとした一大湧水群が形成されており、水資源に恵まれた町です。本町では、豊富な水資源を保全するための取り組みとして、地下水位及び湧水量調査の継続的な実施、雨水利用の促進、町内一斉清掃活動などを行っております。

このような取り組みの中で、貴会の「せっけん運動」はとても意義のある活動だと考えており、本町においても、町広報誌やホームページへの掲載を通してこの活動を推進していきます。

貴会の長年にわたる水環境保全への貢献に敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

上天草市長 堀江 隆臣

上天草市は、熊本県の南西に位置し、有明海と八代海に囲まれ、大小の島々が浮かぶ風光明媚なところであり、白嶽をはじめとする九州自然歩道からの眺望な景勝地は四季折々に美しい自然が訪れる人々を魅了するまちです。

本市では、美しい海や海岸等の自然や景観の保全を維持するため、行政活動のほか、市民等が自らの生活環境の保全活動に積極的に参画するように、「環境の日」の一斉清掃やボランティア団体の海岸清掃活動を支援し、美しい自然を次世代へ継承することに努めています。

また、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となり、二酸化炭素排出量の削減やごみの減量化など、環境負荷軽減の取組の実践に取り組んでいます。

貴会の「せっけん運動」を通じた、長きに渡る水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

菊池市長 江頭 実

菊池市は、菊池溪谷や菊池温泉など、豊かな自然環境に恵まれた都市です。豊富な水資源が育んだ肥沃な大地を活かし、農林畜産業を基幹産業としており、畜産業においては西日本有数の産出額を誇っています。

本市では河川監視活動や水質検査に取り組んでおり、子ども達にも地球温暖化を防止する環境教育を進めております。環境王国やSDGs未来都市にも認定されており、この先人からつながれた豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、今後もカーボンニュートラルや地域の活性化の実現に向けて取り組みを進めてまいります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後の活動が、より良好な環境の創出につながりますようご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

菊陽町長 吉本 孝寿

菊陽町は阿蘇から流れる白川の中流域に位置し、阿蘇山の噴火で堆積した水を浸透しやすい土台により、地下には豊富な地下水が存在する水環境に恵まれた町です。水資源の恩恵を受け本町では多様な農産物が栽培され、また多数の半導体企業が立地しております。

この安全で良質な水環境を保全するため町民の皆様にご協力をいただき、河川の清掃活動を行ったり、節水意識の高揚に努める為雨水浸透枳や雨水タンクの購入には補助金を交付しています。今後も水のありがたさを認識し、熊本の宝である「地下水」の保全に取り組んで参ります。

最後になりますが、貴会の活動の輪がこれからも広がり、益々ご発展されますよう心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

玉東町長 前田 移津行

玉東町は、熊本県北に位置する人口5千人程の町です。温州みかんをはじめとするフルーツの栽培が盛んで、特に“幻のすもも”と呼ばれる「ハニーローザ」は糖度が高く美味として人気を博しています。

町では、2022年に「2050年ゼロカーボンシティ」の宣言を行い、町民と共同で廃油回収等に取り組んでいます。また、水質汚染の原因となる生活排水対策として合併浄化槽の普及等、持続可能な未来に向けて様々な環境保全の取組を推進しています。

水は命の源です。貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表するとともに、今後とも活動の輪がますます広がりますことを祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

熊本市長 大西 一史

熊本市は、74万市民の水道水源の100%を地下水で賄う、「世界に誇る地下水都市」です。本市では、この豊かな地下水を後世へ引き継いでいくため、長年にわたり、市民や事業者の皆様、そして行政が一丸となり地下水保全活動に取り組んでいます。

2024年5月にインドネシアのバリで開催された「第10回世界水フォーラム」では、こうした取組を世界に向けて発表し、高い評価をいただきました。本市では、引き続き、地下水保全に全力で取り組むとともに、その魅力を国内外へ広く発信してまいります。

貴会の水環境保全への取組を通して、より多くの皆様が環境保全に関心を持ち、活動の輪が更に広がりますことを心から祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

合志市長 荒木 義行

せっけんの利用促進を通じ、環境を守る取組を推進される貴団体に敬意を表します。

さて、本市には、北に菊池川の支流である上生川や塩浸川、南には坪井川支流の堀川が流れており、廃油せっけんのPRや河川清掃活動などによる水環境の保全に取り組んでいるところです。

また、塩浸川では例年ホタルの飛翔が見られております。

このように、豊かな水環境に恵まれており、これを次世代へ繋げていくことが私たちの使命であると考えています。

今後とも、貴団体の活動の輪がますます広がり、「せっけん運動」がさらに発展されますよう心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

玉名市長 藏原 隆浩

石けんの利用促進運動を通じ、美しい環境づくりに努めておられます貴団体の活動に心から敬意を表します。

玉名市では、天水地区に石けん加工施設を設置しています。この石けん加工施設は、一般の方も利用可能であり、廃油石けん作りなどが行われています。施設を利用していただくことを通じて、水環境の大切さをより身近に感じてもらうことができると考えています。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」を通して一人ひとりが環境を意識し、暮らしを見なおすきっかけとなることを願っています。

今後も貴団体のより一層のご活躍に心からご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

長洲町長 田成 修一

長洲町は熊本県北西部に位置し、有明海に面した自然豊かで、造船業やサッシ業等の企業を有する工業の町であり、全国有数の金魚の町でもあります。

この自然と産業が融和した環境を未来へ残すため、当町では、福岡大学と熊本北部漁協と連携して干潟再生への取り組みを行うなど、有明海などの水質保全を図っております。また下水道普及率は県内有数の約96%であり、生活排水の適正な処理による、保健・衛生の向上に努めております。

貴会が推進されておりますせっけん運動は、大変有意義な活動だと認識しております。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展とご活躍を心より祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

和水町長 石原 佳幸

和水町は、菊池川と緑の山々、江田船山古墳や田中城跡などの歴史的資源を有しています。また、初夏には町内の各所でホタルを鑑賞することができる豊かな自然に恵まれた町です。

このふるさとを次世代の子ども達に大切に受け継ぐため、町内一斉清掃や河川清掃等の環境活動には町全体で取り組んでおり、和水町の自然や環境に感謝し、体感することを目的とする「山太郎祭」を開催しています。

このような中、貴会の「せっけん運動」は、身近な環境活動として大変有意義であり、この運動の輪が一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

南関町長 佐藤 安彦

石けんの利用促進運動を通じ、豊かな水環境を保全する活動に努められておられます貴団体の活動に心からの敬意を表します。

南関町は福岡県と熊本県の境に位置しており、町を走る関川は福岡県に入ると諏訪川と名前を変えながら荒尾市・大牟田市を通じ有明海へと流れており、そんな関川の周辺をはじめ様々な場所でホタルの飛び交う姿を見ることができる町です。当町ではこの豊かな水環境を守り続けるために、住民と共同で河川パトロールや河川の一斉清掃をし、また、環境学習や水生生物教室といった水環境の大切さを学ぶ機会を作る取り組みを行っています。

今後もより多くの方々に、活動の輪が広がっていくことを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」への町長メッセージ

氷川町長 藤本 一臣

氷川町は、熊本県の中央部に位置し、中山間地域から平野部には町名の由来にもなっている清流氷川が流れており、豊かな水資源の恩恵を受けて発展して参りました。

この豊かな水資源を次世代に引き継ぐための取り組みの一つとして、EM 発酵液の普及・啓発活動に取り組んでおり、町内の全小・中学校を始め、地区の老人会や子ども会等の地域団体や農家でも使用され、町全体で水環境の保全を図っているところです。

当町の下水道普及率は88.2%と高い水準にあり、下水道対象区域外でも、合併処理浄化槽設置補助等の活用による生活排水対策を推進し、水環境の保全に取り組んで参ります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取り組みに深く敬意を表すとともに、貴会の益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月シャボン玉月間」に寄せて

益城町長 西村 博則

熊本県のほぼ中央に位置する益城町は、豊かな水と緑に恵まれた町です。町内を流れる木山川、赤井川などは緑川水系に属し、豊かな水資源を有明海へと繋いでいます。

この美しい水環境は、私たちの生活の基盤であり、未来へと繋いでいくべき貴重な財産です。益城町では、この水環境を保全することを重要な責務と捉え、第6次総合計画において自然環境の保全と活用に対する意識向上を掲げ、豊かな自然を次世代へ継承し、町民が安全で安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいます。

こうした中で、貴団体の「水環境保全活動」への取組は大変意義深いものであり、長年にわたる取組に敬意を表しますとともに、益々のご発展を心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月シャボン玉月間」に寄せて

南阿蘇村長 太田 吉浩

日頃より、地球環境に優しいせっけん使用の普及をはじめとする、水環境保全活動に対して、敬意を表します。

さて、南阿蘇村は、県北東部に位置し豊かな自然に恵まれた農村です。環境省の「名水百選」に選定された白川水源などの湧水群は、村の財産であり誇りです。

村としても豊かな自然環境を維持し、住みよい魅力ある郷土を目指し次世代に引き継ぐため、行政をはじめ住民、事業者が共に力を合わせて環境保全に取り組んでいます。

特に、“九州の水ガメ”として地下水の保全には、注力しているところです。その中で、阿蘇地域の草原維持に努めるとともに、農業集落排水処理施設や合併浄化槽施設の推進など「地下水の安定化との自然環境との共生」に取り組んで参ります。

結びに、貴会の益々のご発展と水環境保全の意識向

上の取り組みが全世帯に広がることを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

南小国町長 高橋 周二

南小国町は、熊本県の東北部に位置し、九州最大の河川である筑後川の源流が流れる自然に恵まれた町です。

今年の「シャボン玉月間」は、「考えよう！流した水のその先を～せっけんを使って地球を元気に～」を合言葉に活動されると聞き及んでおります。

本町におきましては、環境にやさしい暮らしに貢献するため、ひいては未来を担う世代が水環境に不安なく生きることができるよう、河川水の水質検査等により、水環境保全に努めているところです。

結びに、貴会の長きにわたる水環境保全活動に敬意を表すとともに、その活動を契機として、環境保全活動の環がさらに広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月シャボン玉月間」へのメッセージ

御船町長 藤木 正幸

御船町は、九州のほぼ中央に位置し、3つのインターチェンジを有する交通アクセスに優れた町です。また「くまもと名水100選」に選定された「吉無田水源」を有する自然豊かな町です。

この豊かな自然を未来に残すため、御船町では町内の小学生を対象に「わくわく環境教育教室」を実施し、ごみの処分・リサイクルの方法や、節水意識の向上への取組など環境保全について学習をする機会を設けています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動及び「シャボン玉月間」の取組を通して、環境問題への関心及び保全活動の輪が一層広がることを御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

八代市長 中村 博生

八代市は、九州のほぼ中央に位置しており、西には八代海に面し、東には緑豊かな九州山地が広がり、その間を日本三急流の一つである球磨川が流れている水と緑の豊かなまちです。

本市ではこの自然環境を次世代に引き継ぐため、八代市環境基本計画において、「人と自然が調和するまちやつしろ」を環境像と掲げ、市民一人ひとりが高い環境意識を持ち、実際に行動していくよう定めており、市や市民、事業者の皆様とともに、水環境保全の環境学習や環境美化活動、水質調査といった活動に取り組んでいます。

貴会の長きにわたる水環境保全活動に対し敬意を表しますとともに、このせっけん運動の輪がより一層広がりますことを心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

山鹿市長 早田 順一

山鹿市は豊かな水資源や緑深い山々に恵まれた自然環境、装飾古墳や豊前街道に代表される歴史環境に加え、各地で湧出する温泉、四季を彩る祭りといった生活環境等にみられるように誇るべき環境資源に恵まれています。

この豊かな環境の源は、市内中心部を流れる菊池川とその支流によるものであり、古代から続くストーリーは《米作り、二千年にわたる大地の記憶 ～菊池川流域「今昔『水稲』物語～」》として日本遺産にも登録されています。このような環境資源をより良い形で次世代に引き継ぐためにも、今後も生活排水対策や水環境を保全するための意識向上に努めてまいりたいと考えております。

貴会の取り組みに敬意を表しますとともに、せっけん運動の輪がより一層広まることを心より祈念いたします。

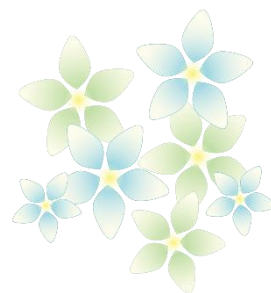
「シャボン玉月間」によせて

苓北町長 山崎 秀典

苓北町は、熊本県の南西部に点在する天草諸島のうち、最も大きな天草下島の北西端に位置しており、1956年には雲仙天草国立公園の指定を受けた自然豊かな風光明媚な地域です。

本町では、令和5年4月に苓北町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、同年11月には苓北町脱炭素宣言を行いました。町の豊かな自然資源を最大限活用し、地域の皆様の意識変容を促すことで2050年に脱炭素を実現することを目標に掲げました。

環境に配慮した持続可能な社会の実現は、本町においても貴会と志を同じくするものであります。貴会の今後ますますのご発展とご活躍を心よりご祈念申し上げます。



大分県

「シャボン玉月間」に寄せて

大分県知事 佐藤 樹一郎

大分県は、くじゅう山系などの緑豊かな山々から流れてくる清らかな水流により、大野川・筑後川などに豊富な水の恵みがもたらされています。

一方、家庭から排出される生活排水は、川や海など公共用水域の水質汚濁の要因のひとつとなっており、健全な水環境を保全するためには、生活排水を適正に処理することが極めて重要です。

県では「大分県生活排水処理施設整備構想2015」に基づき、市町村と連携して生活排水処理施設の整備を計画的に進めるとともに、川や海などの水質保全に向けた啓発活動にも力を入れています。

今後も、貴団体の長年にわたる水環境保全の取組の輪がさらに広がることを願っています。

「シャボン玉月間」によせて

宇佐市長 後藤 竜也

宇佐市は、緑濃い森林、黄金色に輝く宇佐平野、青く穏やかな豊前海、清らかな水が流れる駅館川など彩りのある自然とともに、今年は宇佐神宮御鎮座1300年を迎える歴史と文化に恵まれたまちです。

本市の豊かな自然環境の中には、絶滅危惧種であるオオサンショウウオやカブトガニなど希少な動植物が生息し、多様な生態系を維持しています。

このような彩りのある自然環境や生態系の維持に重要な水環境を保全するため、植林活動や稚魚の放流、海岸の清掃、廃食油の回収など様々な活動を市民・事業者と連携して取り組んでいます。

貴会の長年にわたる水環境保全の取組に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「シャボン玉月間」によせて

臼杵市長 西岡 隆

臼杵市は、大分県東南部に位置し、豊後水道に面しており、国宝臼杵石仏や城下町のたたずまいを今も残し、豊かな自然環境を活かした農業や漁業、醸造業が盛んなまちです。

風光明媚な素晴らしい環境を遺し、伝えていくことが持続可能な社会の実現に繋がると捉え、臼杵市環境基本計画に基づき、環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

2025年は、「リ・スタートうすき」をスローガンに掲げ、市政20周年という節目を契機に、これまでの歴史や伝統を土台に、未来に向けた挑戦に取り組んでいくところです。

貴会の長年にわたる水環境を守る活動に敬意を表しますとともに、今後、活動の輪がより一層広がりますよう心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

大分市長 足立 信也

大分市は、製造品出荷額等が九州1位を継続し、全国でも8位となる国内有数の産業都市です。一方で、豊かな自然にも恵まれており、私たちは地域経済の成長と環境の保全を両立させていかなければなりません。

本市では、「自然と共生する持続可能な環境都市おおい」を掲げ、環境汚染の規制を徹底し適切な指導に取り組むとともに家庭における生活排水対策などに取り組んでおります。

こうした中、せっけんの改良や普及を入り口とし、広く環境問題に目を向け取り組む貴会の活動は、美しい自然を次世代に引き継ぐ本市の取組に大きく寄与されるものと期待いたしております。今後も貴会の活動の輪がより一層広がることを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

杵築市長 永松 悟

杵築市は、別府湾に面する海岸地域から山間部に至る、多様な地形を誇る自然豊かな城下町です。

別府湾と近接する守江湾の干潟には生きた化石と呼ばれるカブトガニの生息地があり、河川環境の美化活動に取り組む市民団体が清掃活動などに取り組んでいます。

グリーンコープ生協おおいた様の進める「せっけん運動」は、本市でも日常生活の中で取り組める水環境保全運動として意義ある活動であると認識しております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表すとともに、今後も会の活動の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「7月 はシャボン玉月間」へのメッセージ

玖珠町長 宿利 政和

玖珠町は、筑後川の上流に位置する玖珠川水系をはじめ、山国川水系と駅館川水系の3つの水系を持っており、豊かな水環境を形成しています。

本町では、玖珠町第3次環境基本計画に基づき、町民・事業者・行政がそれぞれの立場の役割をこなすとともに、手を取り合って環境施策を展開しています。

また、環境保全団体の「メルヘンしゃぼん工房」では、食廃油をリサイクルして、環境にやさしい石けん作りを33年間続けており、啓発活動として、町内のスーパーなどで販売するなど、環境保全の取り組みを実践しています。

結びに、貴会の水環境を守る活動に敬意を表しますとともに「せっけん運動」の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

国東市長 松井 督治

国東市は、緑豊かな森林や白砂青松の美しい海岸など、豊かな自然に恵まれたまちです。この地域では、世界農業遺産に認定された『クスギ林とため池による循環型農林業』が伝統的に行われ、原木しいたけをはじめとした農林水産物や多様な生態系が育まれています。

令和6年にはSDGs未来都市として選定され、六郷満山文化や世界農業遺産等の地域資源を核に、歴史・文化や観光・産業、エネルギー・環境など、様々な分野で新たな価値や連携を生み出し、持続可能なまちづくりを推進しています。

貴会の長年にわたる水環境を守る活動に敬意を表すとともに、活動の輪が一層広がることを心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

九重町長 日野 康志

大分県の南西部に位置する九重町は、標高1,700m級のくじゅう連山に囲まれ、町の中央部を筑後川上流、玖珠川が東西に走り、町土の約半分が阿蘇くじゅう国立公園・耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。また、湿生希少種が見られるタデ原湿原は、ラムサール条約登録から今年で20年を迎え、一帯で行われる野焼きは自然環境保全活動として継続されています。

2026年開催予定の「全国草原サミット・シンポジウム」では、草原の価値や保全の重要性を伝え、豊かな自然環境を守り次世代に引き継ぐための契機としたいと考えています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表すとともに、今後一層、活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

佐伯市長 富高 国子

九州一広い面積を持つ佐伯市は、豊かな山々が育む清流が豊後水道に注ぎ込み、多様な海の幸をもたらす、「佐伯の殿様浦でもつ、浦の恵みは山でもつ」を体現するまちです。しかし、海洋プラスチックごみなど海の環境問題が、このかけがえのない恵みを脅かしています。私たちは次世代へこの恵みを引き継ぐため、これまででもごみ減量や資源リサイクルの推進、清掃活動など様々な環境保全に取り組んできました。

「せっけん運動」は、ふるさとの水環境ひいては豊かな海を守る大切な活動です。佐伯市はこれからも皆さんと共に、山と海のつながりを意識した豊かな暮らしを育むまちづくりを進めます。未来へ輝く佐伯のために、引き続きのご協力をお願いいたします。そして、この活動の輪がさらに広がることを期待しています。

シャボン玉月間によせて

竹田市長 土居 昌弘

竹田市は、大分県内を流れる大野川の源流に位置しており、南は祖母・傾山系、北はくじゅう山系に囲まれた自然豊かな地域です。それぞれの山々が育む湧水は日本名水百選にも選ばれ、その恵みを活かした農業や観光が基幹産業となっています。また、そこに息づく生き物は多様性に富み、国立公園内には絶滅危惧種をはじめ希少な動植物が生息しています。

この豊かな自然環境を守り、次の世代に引き継ぐために、環境を守る活動を一層推進していかなければならないと考えます。貴会のこれまでの活動に心から感謝を申し上げますとともに、活動の輪がさらに広がることを心底から念願申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて

津久見市長 石川 正史

津久見市は、豊後水道に面した津久見湾を囲うようにして伸びるリアス海岸と、山地斜面のみかん栽培の段々畑、市街地には、石灰の岩肌がむきだしになった採掘場跡や鉱山など独特な景観を有しています。

当市では、「第2次津久見市環境基本計画」において、「美しい津久見の環境を次世代につなぐまち」を望ましい環境像に掲げ、その実現に向けて、市民・事業者・行政が連携し環境保全に取り組んでいるところです。

貴会の長年の活動に敬意を表しますとともに、貴会が取り組む「せっけん運動」の輪が一層広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

中津市長 奥塚 正典

中津市は、大分県の北西部に位置し、耶馬溪の山々や山国川、中津干潟など、豊かな自然環境に恵まれています。これらの自然資源を守り、持続可能な社会を実現するため、「中津市環境基本計画」に基づき、市民・団体・事業者と連携して、自然環境の保護と水環境の保全に取り組んでいます。

特に水環境に関しては、市民参加型の清掃活動や環境学習を通じて、市民一人ひとりの意識向上を図るとともに、地域の生物多様性を守る活動も行っています。また、日常的な生活の中で環境負荷を軽減する取り組みも進めています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動のご尽力に深く敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて

日出町長 安部 徹也

日出町は、鹿鳴越連山を背にし、美しい海岸線の広がる別府湾に臨んでいる、海と山に囲まれた自然豊かな町です。特に水資源には大変恵まれており、町内各所で湧き出る湧水や地下水は、生活用水や農業用水として利用され、まちを支えているだけでなく、住む人に安らぎと癒しを提供しています。

この恵まれた水資源を将来に引き継いでいくため、地域・各種関係団体と連携し一体となって、自然と調和したまちづくりを進めているところです。

長年にわたる貴会のシャボン玉月間の活動に敬意を表しますとともに、今後もこの活動の輪が更に広がっていきますことを心よりご祈念申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて

日田市長 棕野 美智子

日田市は大分県の西部に位置し、周囲を阿蘇、くじゅう山系や英彦山系の美しい山々に囲まれた盆地のまちで、これらの山々で育まれた豊富な水に恵まれていることから「水郷（すいきょう）ひた」と呼ばれています。

本市は、この豊かな水資源を次世代に引き継いでいくため、令和3年に「水郷ひた河川を美しくする条例」を制定し、河川環境への市民意識向上に努めています。

今後も、本市の素晴らしい自然環境を守り活かすため、市・市民及び事業者等が互いに協力しながら環境保全活動に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることを心からご祈念申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて

姫島村長 大海 靖治

姫島村では、空き缶のポイ捨てを無くすための取り組みとして、昭和59年7月から現在まで缶飲料に10円の預かり金シールを貼り、空き缶をお店に持っていくと10円と交換できる「デポジットシステム」を実施しています。

「デポジットシステム」を継続してきたことにより、村民のポイ捨てに対しての意識変化が表れてきており、村内の空き缶のポイ捨ては減少してきております。

今後は、観光客への周知も行っていきたいと考えております。

これからも「デポジットシステム」を継続し、環境への負荷を軽減し、環境美化にも努めていきます。

「シャボン玉月間」によせて

豊後大野市長 川野 文敏

豊後大野市は、ユネスコエコパークに認定されている祖母傾山系に抱かれ、それらを源流とする大野川水系や、生息しているさまざまな動植物等、豊かな自然に囲まれています。また、9万年前の阿蘇火山噴火により形作られた滝や峡谷、発展した文化は、おおいた豊後大野ジオパークとしてユネスコエコパークとともに多くの人々に親しまれています。

本市では、豊かな自然環境の保全に努めるとともに、地域資源や地域の特性を生かした生活環境の整備を図り、「豊かな自然・地域を未来へつなげる」まちづくりに取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表し、「せっけん活動」の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

豊後高田市長 佐々木 敏夫

豊後高田市は、大分県の北東部に位置しており、国の登録記念物（名勝地関係）に指定された「真玉海岸」や、花とアートの岬「長崎鼻」などの美しい景観を持つ海岸があり、また国の重要文化的景観に選定された「田染荘小崎の農村景観」では、クヌギ林が適切に管理され、涵養された水源が水田農業や多様な生態系を育んでおり、里山と農村の美しい景観を形成しています。

この豊かで美しい自然を未来につなぐため、「第2次豊後高田市環境基本計画」に基づき、環境保全の取り組みを進めているところです。

貴会の水環境を守る活動に敬意を表しますとともに「せっけん運動」の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

別府市長 長野 恭紘

別府市は、阿蘇くじゅう国立公園に属する由布・鶴見岳を背後に別府湾へと広がる扇状地で、緑豊かな山々と波静かな別府湾に囲まれた風光明媚な日本有数の温泉地です。別府市の温泉は、源泉数 2,832 孔、湧出量は毎分 101,910 L にも及びます。

当市では、自然と共生し環境への負荷の少ない循環型社会の実現を目指し、環境保全に関する施策の総合的、計画的な推進を図るため、「別府市環境基本計画」を策定しています。「共生」「循環」「国際的取組」「参加」を4つの基本目標に掲げ、人と自然が共生するまちを目指して、多様な自然環境の保全を行うために多様な主体と連携し、かけがえない財産である自然環境の保全に向けた取り組みを推進しております。

貴会の長年の取り組みに敬意を表するとともに、今後も自然環境を保全する活動を主体として、貴会の益々のご発展と、「せっけん運動」の輪が一層広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

由布市長 相馬 尊重

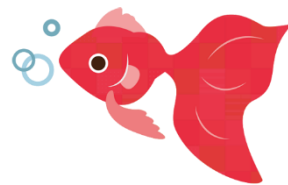
由布市は、日本名水百選の男池湧水群をはじめ、小田の池の湿原植生や由布川峡谷など、豊かな水と緑がもたらした優れた自然環境に囲まれ、様々な恵を受けています。

本市では、これまで関係者の皆様と連携し、水環境の保全と創造に向け取り組みを進めてまいりました。

今後も、由布市の財産である森や川を守り、後世に伝えながら、この地域が末永く続いていくための取り組みを進めていくことは、私どもの責務であります。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、一人ひとりの心がけによる自然環境保護活動として大変意義深く、心から敬意を表する次第です。

今後も、貴会が益々発展され、環境保全活動の輪がさらに広がっていくことを心からご期待申し上げます。



宮崎県

シャボン玉月間によせて

国富町長 日高 利夫

国富町は、宮崎県のほぼ中央部に位置し、町中心部の南側には清流本庄川、北側には山紫水明な法華嶽地域から流れ出る深年川のふたつの一級河川があり、清らかで豊富な水が人々の生活や産業を支えています。

この豊かな自然環境を守り、育み、そして後世に引き継ぐためには、私たち一人一人の日頃からの取り組みが大切です。

本町では、「河川をきれいにする条例」を制定し、公共下水道への推進や合併浄化槽設置推進などの生活排水対策を進めているほか、地域による河川・道路の清掃活動等を実施し、環境保全に努めています。

貴会の長年にわたる環境活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

小林市長 宮原 義久

小林市は、南西部には霧島連山が、北部には九州山地の山岳が連なり、緑豊かな森林や高原が開け、清らかな溪流美を誇る河川や湧水など、豊かな自然環境に恵まれています。

この恵まれた自然環境を未来世代へ引き継いでいくため、本市では、全国でも数少ない「水資源保全条例」を制定し、貴重な財産である水資源の保全に努めています。また、市民の皆様にも、家庭から出る廃食用油のリサイクル回収や、河川浄化推進員による河川パトロールなど、環境に配慮した取り組みにご協力いただいているところです。

長年にわたり、水環境の保全活動にご尽力されている貴会の「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

高原町長 高妻 経信

高原町は、宮崎県の南西部、霧島錦江湾国立公園を境に鹿児島県と接する静かな山あい位置しています。

天孫降臨・神武天皇ご生誕の地などの神話や伝説をはじめ多くの伝統文化が残り、霧島山から豊かな自然、豊富な湧水、温泉などの恩恵を受けながら発展してきた町であります。

本町では、「高原町地下水保全条例」の制定や「第4次高原町生活排水対策総合基本計画」を策定し、豊かな水環境を次世代に引き継ぐため、町民一体となって取り組んでいます。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、本活動の今後益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

日南市長 高橋 透

日南市は、風光明媚な日南海岸国定公園などを擁する、自然に溢れた街です。

本市では、「未来につなぐ恵み豊かな自然と人とが共生するまち にちなん」を目指して「第二次日南市環境基本計画」を策定しており、水質環境の保全に努めております。

また、令和4年に「日南市ゼロカーボンシティ」を宣言し、市域全体で地球温暖化対策の取り組みを推進しています。

豊かな自然環境を守り、次の世代に引き継いでいくためには、環境保全の意識が多くの人に広がっていくことが重要です。長年にわたって水環境の保全にご尽力されている貴会の「せっけん運動」に深い敬意を表しますとともに、今後の活動がますます広がりますよう、ご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

延岡市長 三浦 久知

延岡市は、九州屈指の工業都市でありながら、33年連続スギ生産日本一の宮崎県の中で最も森林面積の広い「森のまち」であり、その豊かな森に囲まれてユネスコエコパークの山々から市中心部に流れる五ヶ瀬川は、国土交通省から12年連続で全国トップクラスの水質として認められています。

この豊かな自然環境を将来にわたって守り続けるべく、多様な生物を育む森林・里山・水辺の保全や脱炭素のまちづくりに市民や事業者の皆様と一緒に取り組んでいます。

「せっけん運動」を通して水環境の保全に長年取り組む貴会に敬意を表しますとともに、皆様の更なる御発展を心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

三股町長 木佐貫 辰生

宮崎県の南西部に位置する三股町は、大淀川水系の沖水川が町の中央を流れる水環境に恵まれたまちです。

公共下水道などの整備や合併処理浄化槽普及促進による生活排水処理対策、町内を通る河川などの水質測定のほか、町民が一体となって河川周辺の清掃活動を行う「クリーンアップみまた」、児童向けの環境学習を実施するなど、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。

「花と緑と水のまち」をキャッチフレーズに美しい自然と調和した豊かな自然環境を未来へ引き継ぐため、カーボンニュートラルの取り組みも積極的に推進しています。

貴会の長年の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

都城市長 池田 宜永

霧島山系や鰐塚山系に囲まれた当市は、その中央を流れる大淀川とその支流を中心に、多様で豊かな自然環境を有しており、様々な種類の動植物が生息・生育しています。

そうした自然環境の恵みのおかげで、全国的にも高い評価を受けている農畜産物や焼酎等がうまれ、現在、当市の自慢できる逸品となっています。

当市では、この豊かな自然環境を次世代に繋げていくために、各種団体や事業者、行政が一体となった取組を全国に向けて発信した「都城市ゼロカーボンシティ宣言」を行うとともに、第2次都城市環境基本計画を策定して様々な施策を展開しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後も多くの方々にこの活動がより一層広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

宮崎市長 清山 知憲

宮崎市は、太陽と水と緑に囲まれた、自然豊かで温暖な都市です。

市の中心には、母なる川「大淀川」が流れ、市民生活と深い関係があり、また、本市発展に重要な役割を担ってきました。

本市では、市民や関係自治体と河川浄化対策に取り組み、子どもたちを対象に環境学習を実施するなど、あらゆる生命の源である「水」の恵みを将来につなぐことができるよう、水資源を守る取組を推進しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

鹿児島県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鹿児島県知事 塩田 康一

鹿児島県は、南北約 600 キロメートルに及ぶ広大な地域に、国内で初めて国立公園に指定された霧島、世界自然遺産の屋久島や奄美大島・徳之島、ラムサール条約湿地に登録されている藺牟田池、屋久島永田浜及び出水ツルの越冬地など、多様で豊かな自然を有しております。

このすばらしい自然環境を将来の世代に継承していくため、当県では、「県民の皆様と一緒に鹿児島の今と未来をつくる」ということを基本として、「誠実に」、「着実に」自然環境の保全及び適正利用、脱炭素社会の形成等に向けた取組を積極的に推進してまいります。

結びに、皆様の長年にわたる御活動に敬意を表しますとともに、今後ますますの御発展を期待しております。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大崎町長 東 靖弘

大崎町は鹿児島県の東南部に位置する人口約12,000人の町です。本町では「リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ」を合言葉に、町全体でごみを28品目に分別し、リサイクル率日本一16回を達成しています。

SDGsの理念のもと持続可能な町を目指し、環境にやさしい取り組みを実践しております。

本町では、一般家庭から使用済みの天ぷら油を回収し、再資源化を目的に、防腐剤・香料などを一切含まない無添加石鹸『菜の花エコ石けん「そおプ」』を販売しております。添加物を使用していないので自然にやさしく、排水も問題なく、人と環境にやさしい石鹸です。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後の「せっけん活動」の取組がより一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

鹿児島市長 下鶴 隆央

鹿児島市は、雄大な桜島や波静かな錦江湾、「平成の名水百選」に選定された甲突池を源流とする甲突川、「かごしま自然百選」の地域の身近な宝など、多様で豊かな自然に恵まれています。

このすばらしい自然環境を守り、育てていくこと、また、先人から引き継いだ豊かな環境をより良い状態で将来の世代に引き継いでいくことは、私たちの重要な責務であると考えており、本市では市民・事業者・行政などが連携・協働して保全活動等に取り組んでいるところです。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に対し敬意を表しますとともに、今後のますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

徳之島町長 高岡 秀規

徳之島は、世界自然遺産に登録された、かけがえのない自然を有する島です。自然にやさしいせっけんを使うことは美しい海や川を守る第一歩です。環境に配慮したせっけんを選ぶことで、水環境への負担を減らし、未来の世代へ清らかな自然を引き継ぐことが出来ます。日頃から水環境保全活動など環境保全に向けた施策を積極的に推進いたします。

みなさまの長年にわたるご活動に感謝申し上げますとともに、今後ますますのご発展を期待しております。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

日置市長 永山 由高

日置市は薩摩半島の中西部に位置し西部は東シナ海に面しており、日本三大砂丘吹上浜を保有しています。

ウミガメの産卵場所にもなる豊かな自然と環境の中、本市は自然環境を未来へ引き継ぐため、脱炭素社会の構築を目的とした、衣類や雑貨のリサイクル循環システムを導入しました。また、家庭から排出される生ごみのリサイクル事業も取組開始から18年目を迎え、環境負荷の低減をより安定的に実現することで、地球温暖化防止に取り組んでいます。

これからも市民の皆様とともに資源循環社会の構築に向けて活動を継続してまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表しますと共に今後ますますの御発展を祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

南さつま市長 本坊 輝雄

南さつま市は、薩摩半島の南西部に位置し、南側及び西側は東シナ海に面し、東側には霊峰金峰山を有しています。この金峰山から流れる清涼な湧き水は麓の田畑を潤し、本土一早く収穫される超早場米「金峰コシヒカリ」を生んでいます。

本市は、この素晴らしい自然環境を後世に引き継いでいくために、「南さつま市環境基本計画」に基づき、市民・事業者・市が一体となった良好な水環境保全のための取組を進めてまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の活動の輪が今後ますます広がりますことをご祈念申し上げます。

今年も私たちの配達トラックはマグネット・マスクをつけて

シャボン玉月間を地域にアピールしました。

※マスクには、非塩ビ素材を使用しています。



「せっけん使おう！シャボン玉月間」に
下記自治体から後援・協賛をいただきました。

協 賛

【埼玉県】 小鹿野町、皆野町

後 援

【北海道】 北海道、厚岸町、石狩市、岩見沢市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、釧路市、釧路町、札幌市、当別町、中標津町、長沼町、南幌町、古平町

【宮城県】 宮城県、石巻市、岩沼市、大崎市、大郷町、大衡村、女川町、加美町、栗原市、気仙沼市、塩竈市、七ヶ浜町、仙台市、大和町、多賀城市、富谷市、登米市、名取市、東松島市、松島町、丸森町、美里町、南三陸町、山元町、涌谷町、亘理町

【埼玉県】 桶川市、小鹿野町、小川町、越生町、川越市、鴻巣市、秩父市、鶴ヶ島市、長瀨町、滑川町、新座市、羽生市、東秩父村、ふじみの市、皆野町、毛呂山町、横瀬町、寄居町、和光市

【東京都】 狛江市、多摩市、三鷹市

【神奈川県】 神奈川県、小田原市、開成町、寒川町、逗子市、茅ヶ崎市、中井町、葉山町、藤沢市、南足柄市、山北町

【大阪府】 河内長野市

【福岡県】 大川市、大牟田市、川崎町、鞍手町、築上町、福智町、豊前市、水巻町、みやこ町